取扱説明書について

この度は、マツダ純正ナビゲーションをお買い上げいただき、ありがとうございます。

マツダ純正品番と取扱説明書の品番について、ご案内いたします。

お間違えのないようにしてください。

Ｚ９Ｋ３ Ｖ６ ６５０ ⇒ ＫＸＭ－５０５Ｗ

※ＳＫＸ－８０５、ＫＸＭ－５０５Ｗ２ はマツダ純正用品として
設定しておりません。

株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

SKX-S805/KXM-E505W/KXM-E505W2　AV Navigation System

KENWOOD

SKX-S805
KXM-E505W
KXM-E505W2

AV Navigation System

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

© 2020 JVCKENWOOD Corporation

B5A-3664-00(J)

目次

はじめに

安全上のご注意.....7
使用上のご注意.....10
簡単機能ガイド.....12
ナビゲーション機能.....12
ドライブに役立つ交通情報.....12
音楽や映像を楽しむ.....13
情報確認や各種設定の変更.....13
本書の読みかた.....14
本書の構成.....14
本書の表記.....15

基本操作

各部の名称とはたらき.....16
本機のフロントパネルについて.....17
基本操作.....18
電源を入れる / 切る.....18
電源オン.....18
電源オフ.....18
タッチパネルの基本操作.....18
フロントパネルの角度を調整する（KXM-E505W/KXM-E505W2 のみ）.....18
視野角を調整する.....19
本機の画面 / リストの操作.....19
ホーム画面での操作.....20
マイメニューを使う.....21
マイメニューを表示する.....21
ショートカットボタンを割り当てる.....21
特別メモリ地点の編集をする.....22
車両メンテナンスを設定する.....22
サブメニューを使う.....23
サブメニューを表示する.....23
アンテナを伸ばす / アンテナをしまう.....23
画面表示を消す.....23
画面の明るさ.....23
ユーザーを切り替える.....24
システム設定から切り替える.....24
ユーザー名を編集する.....24
文字入力のしかた.....25
入力形式を切り替える.....25
文字の種類を切り替える.....25
キーボード形式で文字を入力する.....25
テンキー形式で文字を入力する.....26

ナビゲーション

地図の見かたと操作.....27
現在地図画面の見かた.....27
ランドマークの情報を見る.....28
地図の縮尺を変える.....28
市街地図について.....29
地図の表示方法を切り替える.....29
地図を 2 画面表示にする.....30
情報表示切替エリアの表示項目.....31
地図をスクロールする.....32
スクロールしたときの地図表示.....32
マップクリップを利用する.....33
ショートカットボタンを使う.....34
周辺検索と周辺情報を取得する.....35
ナビゲーションの流れ.....36
自宅を登録する / 自宅に帰る.....37
自宅を登録する.....37
自宅を変更する.....38
自宅へ帰る.....38
行き先を探す.....39
検索画面での営業時間外表示について.....39
名称から探す.....39
エリアを指定して検索する.....40
ジャンルで絞り込む.....41
ジャンルから探す.....42
登録地点から探す.....43
住所から探す.....44
履歴から探す.....44
履歴を削除する.....44
電話番号・マップコード・郵便番号で探す.....45

NaviCon で探す 46
本機とスマートフォンを接続する 46
NaviCon からナビの地図表示を操作する 46
目的地を設定する 46
NaviCon 友達マップ機能を使う 46
提携駐車場を行き先に設定する 48
ルートの探索と案内 49
ルートの探索と案内を開始する 49
目的地に設定してルートを探索する 49
ルートの探索条件を選択して案内を開始する 49
VICS によるルート探索 50
複数の到着地点情報があったとき 50
ルート案内画面について 51
一般道路でのルート案内 51
高速道路でのルート案内 52
案内ポイントでの割り込み表示 53
ここです案内表示 53
交差点案内図の表示 53
高速道分岐イラストの表示 53
ETC レーン表示 54
案内先読みガイド表示 54
音声案内について 55
逆走注意喚起について 56
逆走検知について 57
ルートを再探索する 57
ルートを編集する 58
経由地を追加する 58
目的地・経由地の順番を入れ替える 58
目的地・経由地を削除する 59
利用するインターチェンジを変更する 59
変更したインターチェンジを元に戻す 60
走行中のルートを表示する 60
ルート全体を表示する 60
目的地を表示する 61
ルート案内を終了する 61
ルートから外れたときは 61
地点を登録する 62
地点を登録する 62
登録した地点をリストで見る 62
登録地点を編集する 63
グループを編集する 64
登録地点を削除する 64

オーディオ・ビジュアル

AV の基本操作 65
ソースを切り替える 65
ソースをオフ（STANDBY）にする 65
現在地図画面から AV 画面を表示する 66
「K2テクノロジー」を使う 66
パッセンジャースリープ機能を使う 66
画質を調整する 67
映像の画面表示サイズを変更する 67
iPod の曲を再生する 68
iPod を取り外す 68
画面の見かたと操作 68
USB 機器 /SD カードのファイルを再生する 70
USB 機器を接続する 70
USB 機器を取り外す 70
SD カードを入れる / 出す 70
画面の見かたと操作 71
オーディオファイルの AV 画面 71
ビデオファイルの AV 画面 72
再生リストと再生モードについて 74
カテゴリーデータベースから曲またはビデオを再生する 74
カテゴリーデータベースを作成する 74
カテゴリーモードで再生する 75
音楽 CD を SD カードに録音する 76
録音設定をする 76
録音する 77
録音したデータを再生する 78
録音データのタイトルを編集する 79
タイトルを消去する 80
アルバムアートワークとして画像を表示させる 80
アートワークを削除する 81
録音データを削除する 81
楽曲情報を取得する 82
タイトルを消去する 83
マルチ AV ブラウザを使う 84
画面の見かたと操作 84
リストから曲またはビデオを再生する 85

CD・オーディオファイルディスクを再生する.....86
ディスクを入れる / 出す.....86
ディスクを取り出す.....86
ディスクを取り出せないときは.....86
画面の見かたと操作.....87
DVD を再生する.....88
画面の見かたと操作（DVD ビデオ /DVD-VR）.....88
DVD ビデオを再生する.....88
DVD-VR を再生する.....89
DVD ディスクメニューを操作する.....90
カーソルで操作する.....90
ディスクメニューを直接操作する.....91
DVD の設定をする.....91
地デジを視聴する（SKX-S805/KXM-E505W のみ）.....92
画面の見かたと操作.....92
プリセットモードを切り替える.....93
放送局を登録（プリセット）する.....93
番組表を見る.....94
番組表の見かたと操作.....94
緊急警報放送を表示する.....95
中継局 / 系列局をサーチする.....95
地デジの設定をする.....95
AM または FM を聴く.....96
画面の見かたと操作.....96
プリセットモードを切り替える.....96
エリアモードの放送局をリストから選局する.....96
放送局を登録（プリセット）する.....97
交通情報を受信する.....97
画面の見かたと操作.....97
「SMART USEN」を使う.....98
準備する.....98
本機とスマートフォンを接続する.....98
画面の見かたと操作.....98
チャンネルを選ぶ.....99
チャンネル名を検索する.....99
再生中のチャンネルをお気に入りに登録する.....99
お気に入りのチャンネルを選ぶ.....100

情報・設定

情報・設定画面について.....101
VICS 情報を見る.....101
VICS 情報とは.....101
VICS 情報の内容と種類.....101
VICS 情報の提供方法.....101
VICS 情報利用上のご注意.....101
地図に表示される VICS 情報.....102
地図表示型（レベル 3）情報の表示.....102
地図上の VICS 情報を見る.....103
ETC2.0 割り込み表示.....103
VICS 文字 / 図形情報を見る.....104
FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示.....104
ETC2.0 割り込み情報.....104
VICS 局の選局方法を切り替える.....104
自動選局に設定する.....104
手動選局に設定する.....105
VICS 情報の表示設定をする.....105
地図上の VICS 表示方法を設定する.....106
ECO 情報を確認する.....107
ECO 情報を見る.....107
詳細情報を見る.....107
ECO レシオについて.....107
ナビゲーションの設定をする.....108
地図表示を設定する.....110
自車の現在位置を修正する.....111
走行軌跡表示を設定する.....111
走行軌跡を消去する.....111
地図に表示するランドマークを設定する.....112
ルート探索の条件を設定する（マイルートアジャスター）.....112
サウンドの設定をする.....114
車両タイプを設定する.....114
スピーカー構成を設定する.....115
リスニングを設定する.....116
リスニングポジションを微調整する.....116
フロントフォーカスの微調整をする.....117
設定した値を初期設定に戻す.....117
プリセットイコライザーを設定する.....117
ユーザーイコライザーを調整する.....118
調整したイコライザーカーブを保存する.....118
音響効果を設定する.....119
ソースの音量レベルを設定する.....119

システムの設定をする.....120
システムを初期化する..... 121
設定を SD カードに保存する..... 121
設定データを本機に読み込む.....122
ゴールオートボリュームを設定する..... 122
暗証番号を設定する..... 122
暗証番号を変更する.....123
暗証番号を解除する.....123
外部機器の設定をする 123
接続状態を確認する.....124
バージョンを確認する.....125
地図更新について.....126
開通した道路情報の更新について..... 126
地図を更新する..... 126
「パソコンからダウンロードで地図更新」の場合.....126
モデル名と製造番号を確認する 126

Bluetooth

Bluetooth 機器の登録と設定.....127
本機に Bluetooth 機器を登録する..... 127
オートペアリング機能で登録する 128
Bluetooth の設定をする..... 128
Bluetooth 機器の使用する機能を変更する....129
登録した機器を削除する..... 130
PIN コードを変更する..... 130
本機のデバイス名を変更する 130
ハンズフリーを使う.....131
電話メニュー画面を表示する 131
電話メニュー画面の見かたと操作..... 131
ハンズフリーで電話を受ける / 切る..... 132
プリセットダイヤルを使う 132
プリセットダイヤルから電話をかける.....132
プリセットダイヤルに電話番号を登録する.....132
プリセットダイヤルの登録を削除する.....133
履歴から電話をかける..... 133
電話帳から電話をかける 134
PBAP 対応機器の電話帳を登録する..... 134
電話帳を削除する 135
ダイヤルして電話をかける 135
地点情報から電話をかける 135
リダイヤルで電話をかける 136
音声認識機能で電話をかける 136
Bluetooth オーディオ機器を再生する...136
画面の見かたと操作..... 136

スマートフォン連携

スマートフォン連携について 138
NaviCon.....138
KENWOOD Drive Info. 138
SMART USEN.....138
KENWOOD Music Info. 138
KENWOOD Drive Info. を使う.....139
KENWOOD Drive Info. を使うための準備..... 139
行き先を検索する..... 139
ガソリン価格で検索する.....139
施設名称をフリーワード検索する 140
天気予報を見る..... 140
開通予定情報 / お知らせメッセージ..... 141

オプション

ドライブレコーダーの接続設定をする...142
ナビ連動タイプドライブレコーダーを使う 142
録画について 143
常時録画.....143
急加速 / 急減速感知録画.....143
手動録画.....143
駐車録画.....143
静止画.....143
ドライブレコーダーメニューを表示する 144
ドライブレコーダーの映像を表示する..... 144
ドライブレコーダーの操作ボタンを使う.....144
画面の見かたと操作.....144
録画ファイルを再生する 145
動画ファイル画面の見かたと操作 146
静止画ファイル画面の見かたと操作.....146
ファイルを保存フォルダへ移動する..... 147
ファイルを削除する..... 147
ドライブレコーダーの設定をする..... 148
microSD カードをフォーマットする 150
加速度センサーを最適化する 150

ナビ接続タイプドライブレコーダーを使う 151
ドライブレコーダーの映像を表示する 151
画質を調整する 151
バックアイカメラシステムを使う 152
バックアイカメラシステムを設定する 152
セレクトビューバックアイカメラを使う 153
画質を調整する 153
バックアイカメラを使う 153
画面の操作 153
画質を調整する 154
ETC 車載器 /ETC2.0 車載器を使う ... 155
ETC 情報について 155
ETC2.0 情報について 155
ITS スポットとは 155
ETC 予告アンテナについて 155
アップリンクとは 155
VICS 機能を利用する 156
ETC2.0 車載器の接続設定をする 156
ETC に関する設定をする 156
ETC の案内出力を設定する 156
ETC の料金表示を設定する 156
ETC2.0 に関する設定をする 156
ETC 履歴 / 車載器情報を見る 157
ステアリングリモコンを使う 158
ステアリングリモコンについて 158
独自に機能を割り当てる 159
ステアリングリモコンキーの割り当てを変更 / 初期化する 161
後席モニターを使う 161
後席モニターに表示できる映像について 161
故障かなと思ったら 180
主な仕様 192
特許権 / 著作権 / 商標など 194
索引 197
保証とアフターサービス 199

付録

自車位置の測位精度について 162
地図記号の凡例 164
地図データベースについて 166
ソフトウェア使用許諾契約書 168
VICS について 170
メディアおよびファイルについて 172
Bluetooth について 178
iPod について 179

本機のサポート情報を役立てよう！

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報や地図更新など本機の最新情報を掲載しています。
https://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/ で型名を選択してください。

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

● 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

● お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

⚠	注意（しなければならない）の内容です。
⃠	禁止（してはいけない）の内容です。
❗	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

⚠警告

⃠

本機は DC12V ⊖ アース車以外で使用しない
火災や故障の原因になります。DC24V 車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。

フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

❗

取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をすると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売会社にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする
火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの ⊖ 端子を外す
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め･浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

必ず付属の部品や指定の部品を使用する
機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する
断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する
被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（パーキングブレーキ）コードは正しく配線する
正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く
あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

自動車のコンソールに取り付ける
本機の使用中または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない
機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない
機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

機器を取り外すときは、機器の温度を確認して取り外す
長時間の使用などにより機器が熱くなりやけどなどの原因となることがあります。

コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について

⚠警告

分解・修理および改造はしない
分解･修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない
車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない
金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない
画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない
必ず安全な場所に車を停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない
落雷による感電の原因となります。

ルート案内中でも実際の交通規制に従って走行する
ナビゲーションのルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制と反することがあり、交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売会社、またはお近くのサービス窓口に依頼してください。

⚠注意

本機を車載用以外で使用しない
発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない
モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

⚠警告

異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売会社かサービス窓口に相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

安全走行のために

本製品は、目的地までの道のりを、曲がり角ごとに案内をして誘導します。ご使用になる前に必ず、取扱説明書や注意事項などをよく読み、正しく理解して使用してください。
安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキを引いてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

本機の異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かなと思ったら」（➜ P.180）を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、お買い上げの販売会社またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。
汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
傷が付いたり文字が消えることがあります。

フィルムアンテナのお手入れ

- フロントウィンドウの内側を清掃する際には、フィルムアンテナを柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布を固くしぼり、軽く拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどはご使用にならないでください。
- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。

オートアンテナ（電動アンテナ装備車）の操作について

車両側のアンテナコントロール端子と本機のアンテナコントロール（ANT CONT）端子を接続しているときは、本機の電源をオンにするとオートアンテナが伸びます。天井の低い駐車場に入る場合などオートアンテナを下げたいときは、オートアンテナをしまってください。（➜ P.23）

モニター画面について

- 画面部をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面部に強い衝撃を加えないでください。故障の原因になります。
- 画面部に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいことがあります。
- 偏光サングラスを使用すると、視認性が低下する場合があります。

ナビゲーションについて

- 本機のナビゲーション機能は地図と音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。本機はあくまで走行の参考として、ルート案内時でも走行中は必ず道路標識など実際の交通規制に従って走行してください。
- 初めてご使用になるとき、または長期間ご使用にならなかったときは、現在地が正しく位置表示されない場合があります。しばらくするとGPSの測位により正しく表示されるようになります。
- 走行中は、安全のため、一部を除く細街路＊は表示されません。ただし、以下の場合は走行中も細街路が表示されます。
  - 細街路を走行中の現在地図画面
  - 市街地図を表示しているとき
  - マップマッチングしていないとき
  - 駐停車中

  ＊：細街路とは、幅員5.5m未満の道路のことをいいます。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、販売会社へ連絡してください。

フロントパネルの安全装置について

パネルの隙間にコードなどの異物を挟んで閉じたときは、安全装置がはたらき、フロントパネルの動作が停止します。この場合は異物を取り除いてから、再度操作してください。

本機に記録された個人情報について

本機を譲渡したり、売却したりする場合は、本機に記録された情報（例:登録地点や検索履歴等）を、必ずお客様自身によってデータを消去し、確認してください。
個人情報の消去は、システムを初期化する（➜ P.121）/ 暗証番号を解除する（➜ P.123）/ 録音データを削除する（➜ P.81）で行うことができます。
なお、次のデータや設定は 121 ページの「システムを初期化する」では消去できません。個別に消去 / 解除してください。

- 暗証番号の解除
- SD カードに録音したデータ

当社では未消去のデータの流出による損害等について、一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

本機での個人情報を含む検索データの取り扱いについて

当社は、同データに収録された個人情報をその機能の実現のみに使用し、第三者へは開示しません。
該当する個人情報の開示、訂正、削除などをご希望のお客様は、以下の窓口までご連絡ください。
ご本人の確認および所定の手続きを経た後、対応が可能となる次回製品より、該当する情報の削除などを行います。
JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-977-846
（ディーラーオプション専用窓口）
FAX 045-450-2308
住所 〒 221-0022
神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜 9:30 ～ 18:00
（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。
したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- 分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

- 本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

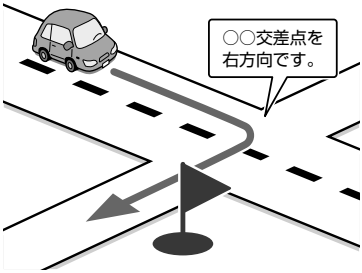
2.4 FH 1

2.4： 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。
FH： FH-SS 変調方式を表します。
1： 電波与干渉距離は 10m です。
□□□：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10 m です。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
  - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
  - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

簡単機能ガイド

ナビゲーション機能



■ 目的地検索画面

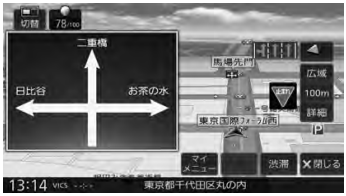
施設の名称やジャンル、住所など、多彩な検索方法から行き先を探すことができます。
(➜ P.39)

● ルート探索・編集

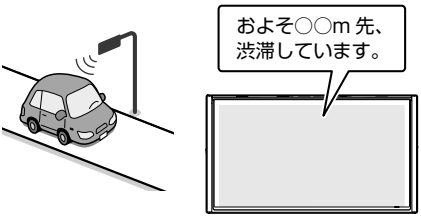
行き先を設定すると、最適なルートが探索されます。優先する道路や距離別のルートを選んだり、経由地を追加することもできます。
(➜ P.49)

● ルート案内

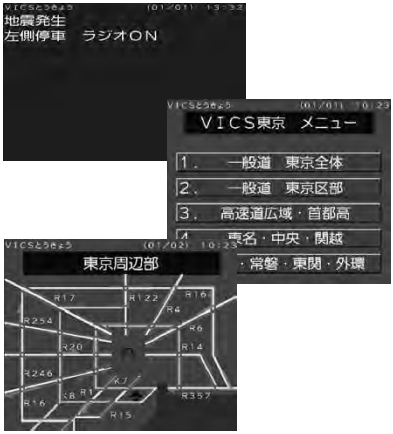
行き先までのルートのほか、方面看板や交差点のレーン情報などをイラストや音声でお知らせします。(➜ P.51)



ドライブに役立つ交通情報



VICS 情報を受信して、渋滞や規制など、さまざまな交通情報をアイコンや音声でお知らせします。(➜ P.101)
また、別売の ETC 車載器や ETC2.0 車載器を接続すると、ETC の利用料金をお知らせすることもできます。
(➜ P.157)



音楽や映像を楽しむ

いろいろなメディアで音楽や映像をお楽しみいただけます。

■ ソース切替画面（➜ P.65）

iPod

USB

SD

マルチ AV ブラウザ

DISC

地デジ（SKX-S805/KXM-E505W のみ）

FM

AM

Bluetooth AUDIO

SMART USEN

交通情報

STANDBY

情報確認や各種設定の変更

情報・設定画面では、ECO 情報や接続状態を確認できます。
また、本機のさまざまな設定をお好みにあわせて設定し直すことができます。

■ 情報・設定画面（➜ P.101）

● ナビゲーション設定

地図に表示する情報や、案内の方法などを設定します。（➜ P.108）

● サウンド設定

車内の音響効果や音質などを設定します。（➜ P.114）

● システム設定

車両やシステム全般の設定を行います。（➜ P.120）

● 外部機器設定

Bluetooth、外部機器などの接続設定を行います。（➜ P.123）

● 登録地点編集

登録した地点の名称や電話番号などを編集します。（➜ P.63）

本書の読みかた

この取扱説明書の構成と、表記方法について説明します。

本書の構成

はじめに	安全上のご注意や使用上のご注意など、はじめにお読みいただきたいことが記載されています。（➜ P.7）
基本操作	各部の名称や画面の切り替えかたなど、本機の基本的な操作方法について説明しています。（➜ P.16）
ナビゲーション	地図の表示や操作、行き先の探しかたやルート案内など、カーナビゲーション（以降、「ナビ」）の操作方法について説明しています。（➜ P.27）
オーディオ・ビジュアル	オーディオ・ビジュアル（以降、「AV」）の操作方法について説明しています。（➜ P.65）
情報・設定	VICS 情報、ECO 情報などの情報について、および本機のシステム設定、サウンド設定などについて説明しています。（➜ P.101）
Bluetooth	携帯電話やスマートフォン、オーディオプレーヤーを Bluetooth で接続したときの操作方法について説明しています。（➜ P.127）
スマートフォン連携	スマートフォンと連携して使うことのできる便利な機能について説明しています。（➜ P.138）
オプション	ETC 車載器やドライブレコーダー、バックアイカメラなどの別売品を接続したときの操作方法について説明しています。（➜ P.142）
付録	関連する資料やトラブルシューティングを掲載しています。（➜ P.162）

- 本書の画面や操作例は、操作説明用に作成したものです。仕様変更などにより、本書の内容と実際の画面が異なる場合があります。
- 本書では、主に SKX-S805 の画面で説明しています。そのため、ご使用の機種によっては表示されないボタンや画面が説明の中に出てくることがあります。

本書の表記

インデックス：
章の内容を示すインデックスです。

フロントパネルのキー名称：
本書ではフロントパネルのキーを次のように表記しています。

HOME → 【HOME】

ボタン名：
本書では、文字のあるボタンを次のように表記しています。

→ ［ソース切替］

文字が記載されていないボタンは、本機で表示されるアイコンを掲載しています。

AV の基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 【HOME】を押して［ソース切替］をタッチする

AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順：
下で説明する操作の前に、ここに記載されている操作を行います。

ここまでの手順
ソースを AM または FM に切り替える（➜ P.66）

参照ページ：
参照ページのページ番号です。

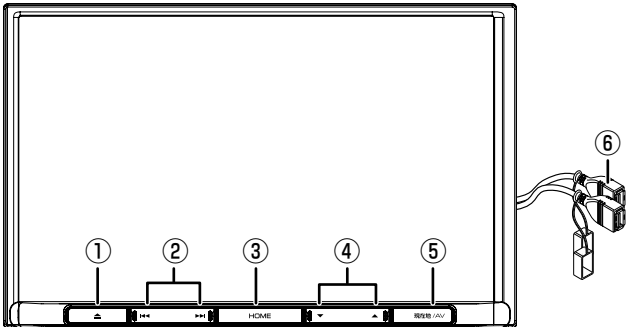
補足：
手順の補足説明や制限事項などについて説明しています。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

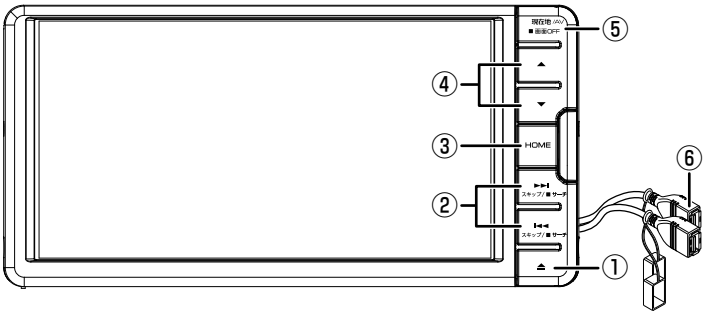
※ 上記はサンプルページです。本書の実際のページとは異なる場合があります。

各部の名称とはたらき

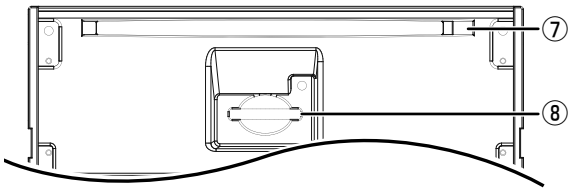
SKX-S805



KXM-E505W/KXM-E505W2



パネルオープン時



① 【 ⏏ 】(オープンキー)
フロントパネルの角度調整やディスク、SD カードの出し入れを行うためのメニューを表示します。

② 【 ⏮ 】/【 ⏭ 】(スキップ / サーチキー)
- FM/AM/
地デジ(SKX-S805/KXM-E505W のみ):
放送局を切り替えます。
FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。
- 音楽再生 / ビデオ再生:
前または次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。
押し続けると、早戻し / 早送りします。
- SMART USEN:
お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。

③ 【HOME】
- ホーム画面を表示します。
- 押し続けると、スマートフォン(Bluetooth 接続中)の音声認識機能が起動します。

④ 【▼】/【▲】(音量キー)
- AV の音量を調整 (0 ~ 40) します。
- ハンズフリー電話中は、着信音量と受話音量を調整 (0 ~ 40) します。

- 【▲】を押し続けると、連続して音量値が 15 まで上がります。
- ナビゲーションの音声案内中に音声案内の音量を音量キーで調整できるように設定できます。
- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、外部機器設定でも調整できます。
- 案内音声の音量は、ナビ設定でも調整できます。(➜ P.108)
- ハンズフリー電話中の音量調整をしないように設定することもできます。(➜ P.128)

⑤ 【現在地 /AV】
- 現在地図画面を表示します。
- 現在地図画面表示中に押すと選択しているソースの AV 画面を表示します。
- 押し続けると、画面の表示がオフになります。

⑥ USB 端子
USB 機器または iPod/iPhone を接続します。

⑦ ディスク挿入口
ディスクを挿入します。

⑧ SD カード挿入口
SD カードを挿入します。

本機のフロントパネルについて

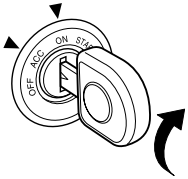
- フロントパネルを閉じているときにパネルに触れると、再度フロントパネルが開きます。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ(ACC オフ)にするとフロントパネルは自動的に閉じます。ただし、排出したディスクが残っている、または SD カードが正しく奥まで差し込まれていないときは開いたままとなります。
- フロントパネルオープン中に電源をオフ(ACC オフ)にするとフロントパネルは自動的に閉じますが、このときにフロントパネルに触れてもフロントパネルは開きません。

基本操作

電源を入れる / 切る

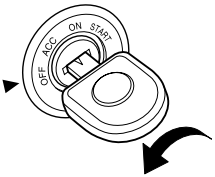
電源オン

車両のイグニッションキーを「ACC」または「ON」にすると、本機の電源がオンになります。



電源オフ

車両のイグニッションキーを「OFF」にすると、本機の電源がオフになります。



- 取り付け後に初めて電源をオンにしたときや、バッテリーを交換した場合などには、GPS の測位に時間がかかるため、現在地付近の地図の表示に多少時間がかかります。
- 使用状況や電源電圧の変動などによっても、GPS の測位に時間がかかります。
- ルート案内の途中で電源をオフにしてもルートは消去されません。次に電源をオンにしたときには、現在地からの続きを案内します。
- 録音中は電源をオフにしないでください。録音を停止してから電源をオフにしてください。

タッチパネルの基本操作

■ タッチする

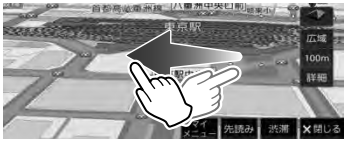
指先で画面を押します。

■ ドラッグする

指先で画面を押さえながら動かします。

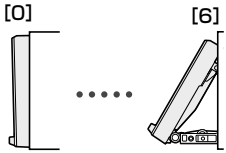
■ フリックする

指先で画面の上を素早くはらいます。



フロントパネルの角度を調整する（KXM-E505W/KXM-E505W2 のみ）

光の反射などで画面が見づらい場合などに、ドライビングポジションから見やすいようにフロントパネルの角度を調整できます。
角度を調整しても見づらい場合は視野角を調整してください。



1 【⏏】（オープンキー）を押す

2 チルト [0] ～ [6] をタッチする

- フロントパネルの角度が“0”以外に設定されていても、電源オフ時には“0”の位置に戻ります。再度電源をオンにしたときには、フロントパネルは設定されている角度になります。

視野角を調整する

マイナスの値に設定するほど、画面がより白みがかって見えます。

1 【⏏】（オープンキー）を押す

2 視野角 [− 3] ～ [0] をタッチする

SKX-S805

KXM-E505W/KXM-E505W2

本機の画面 / リストの操作

■ 前の画面に戻る

［戻る］をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

■ 項目が無効のとき

選択できない項目は、タッチしても操作することはできません。

■ リストの操作

リストでは、上下にスクロールして見たい項目を表示します。
リストのスクロールには、次の 2 つの方法があります。

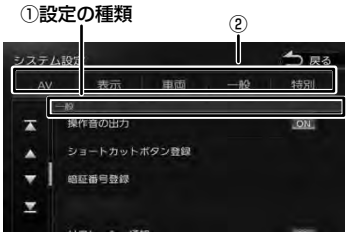
- **スクロールしたい方向にリストをドラッグまたはフリックする**
  ドラッグまたはフリックした方向にリストがスクロールします。
  フリックしたときは、スクロール中のリストをタッチすると、スクロールを止めることができます。

- **リストをページ送りする**
  送りたい方向の ▲ または ▼ をタッチします。

▲ または ▼ をタッチするとリストの最初または最後を表示します。

■ 設定画面

設定画面は、設定の種類ごとにまとめてリストで表示されます。
リストをスクロールして目的の設定の種類①を探し、項目をタッチして決定します。
②をタッチするとそれぞれの設定項目の先頭を表示します。



ホーム画面での操作

ホーム画面は、本機を使うためのスタート地点です。ここからさまざまな機能にアクセスします。
ホーム画面は、フロントパネルにある【HOME】を押すと、いつでも表示できます。

ソース切替画面 (➜ P.65)

AV ソースを切り替える画面を表示します。

マイメニュー画面 (➜ P.21)

よく使う AV ソースやショートカットボタンなどを表示します。

ホーム画面

ルート編集画面を表示します。
(➜ P.58)

目的地検索画面 (➜ P.39)

施設の名称やジャンル、住所など、いろいろな検索方法で行き先を検索できます。

情報・設定画面 (➜ P.101)

ECO、VICS の情報や、ナビ、システム、サウンドなどを設定します。

ドライブレコーダー画面 (➜ P.142)

本機にナビ連動タイプドライブレコーダー（別売品）やナビ接続タイプドライブレコーダー（別売品）が設定されていると、このボタンが表示されます。

サブメニュー (➜ P.23)

画面の明るさ調整や、画面をオフ、ユーザーを切り替えるボタンなどを表示します。

電話メニュー画面 (➜ P.131)

電話（Bluetooth ハンズフリー）メニュー画面を表示します。

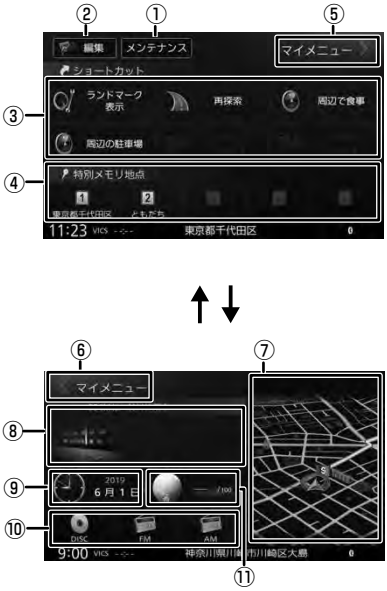
マイメニューを使う

マイメニューは、よく使う AV ソースやショートカットボタン、特別メモリ地点などを表示して使うことができます。
また、エンジンオイルなどの車両メンテナンスについても設定することができます。

マイメニューを表示する

1 【 HOME 】を押して [マイメニュー] をタッチする

マイメニューが表示されます。
マイメニューは２画面あります。
⑤［マイメニュー＞＞］と⑥［＜＜マイメニュー］で切り替えます。



① 車両メンテナンスの設定画面を表示します。
② ③、④、⑩を編集する画面を表示します。
③ 機能ショートカットボタン
④ 特別メモリ地点ボタン
⑤ / ⑥ マイメニュー画面を切り替えます。
⑦ 現在地図を表示します。ルート案内中は次の案内ポイントまでの距離と交差点名称も表示されます。
⑧ 選択しているソースの AV 画面を表示します。
⑨ 日付と時刻を表示します。タッチすると１か月分のカレンダーを表示します。
⑩ よく使う AV ソースを３つまで割り当てることができます。（マイソース）
⑪ ECO 情報を表示します。ルート案内中はタッチするたびに ECO 情報と目的地までのおおよその距離 / 到着予想時刻に切り替わります。

ショートカットボタンを割り当てる

マイメニュー画面の機能ショートカットボタンに本機の機能を割り当てます。また、マイソースに AV ソースを割り当てます。

1 [編集] をタッチする

2 機能ショートカットボタン、またはマイソースの割り当てたいボタンをタッチする

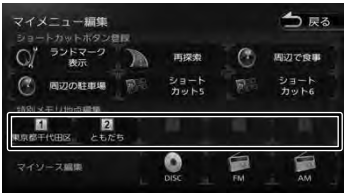
3 リストから機能または AV ソースを選ぶ

特別メモリ地点の編集をする

特別メモリ地点を登録している（➜ P.62）と、ここから名称や電話番号を編集することができます。

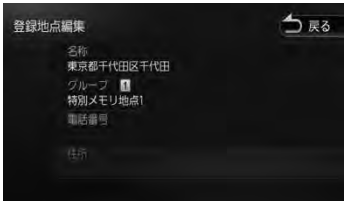
1 [編集] をタッチする

2 編集する特別メモリ地点のボタンをタッチする



3 地点を編集する

地点の名称や電話番号、グループを編集できます。



編集については 63 ページをご覧ください。

車両メンテナンスを設定する

1 [メンテナンス] をタッチする

2 設定する項目をタッチする

3 各項目の設定をする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
お知らせ設定	ON/OFF*	以下の設定した項目をお知らせするかしないかを設定します。
通知年月日	年月日 / 未設定 *	交換日などを設定します。
通知開始設定	なし */ 3 日前から / 7 日前から	お知らせを開始する日を設定します。
通知開始距離	*** km/ 未設定 *	何 km 走行したらお知らせするかを設定します。
通知まであと	お知らせするまでの残りの距離を表示します。	
メンテナンス名称	「お好み 1」、「お好み 2」でお知らせする名称を設定します。 文字入力については 25 ページをご覧ください。	
設定消去	設定内容を消去します。タッチするとメッセージが表示されます。[はい] をタッチすると設定を消去します。	

*：お買い上げ時の設定です。

- [通知開始距離] は「バッテリー交換」、「車検」、「法定点検」、「お好み 1」、「お好み 2」では設定できません。
- [メンテナンス名称] は「お好み 1」、「お好み 2」のみ設定できます。
- 設定した日、距離などになると本機を起動したときに画面でお知らせします。
  ※ 表示された画面の [今後表示しない] をタッチすると次回起動時からはお知らせしません。（“お知らせ設定” しないになります）
- お知らせするメンテナンス時期と実際のメンテナンス時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス情報で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 新たにメンテナンス情報を設定したい場合は、必ず [設定消去] をタッチしてください。
- メンテナンス情報は、GPS からの日付情報と車速信号を使用します。

サブメニューを使う

本機の画面の明るさ、画面表示のオフやユーザーを切り替えるボタンなどが表示されます。

サブメニューを表示する

1 【 HOME 】を押して [サブメニュー] をタッチする

サブメニューが表示されます。

- サブメニューを閉じるには、もう一度［サブメニュー］をタッチします。

アンテナを伸ばす / アンテナをしまう

オートアンテナの設定を「あり」にしている場合（➜ P.120）、オートアンテナを伸ばしたりしまったりできます。

[アンテナを伸ばす]：
アンテナを伸ばします。

[アンテナをしまう]：
アンテナが収納されます。

- この機能は、オートアンテナ車に本機のオートアンテナコントロールを接続しているときに働きます。
- アンテナをしまうと FM VICS の受信状態が悪くなることがあります。

画面表示を消す

本機を使用しないときなどに、[画面オフ] をタッチして画面表示を消します。
画面をオンにするには画面をタッチします。

- 【現在地 / A V】を押し続けても画面をオフにできます。
- 画面表示を消しているときに本機の電源をオフにしても、次に電源をオンにしたときには、画面表示はオンになります。
- バックアイカメラが接続されている場合は、画面表示のオフ中にシフトレバーを「R」に入れると、バックアイカメラの画面が表示されます。
- 画面表示を消しているときに別の画面を表示すると画面オフは解除されます。
- 画面表示を消しているときに時計を表示しないように設定できます。
（➜ P.120）

画面の明るさ

本機の画面の明るさ（－ 4 ～ +4）を
－ または ＋ をタッチして調整します。

- DVD ビデオや地デジ（SKX-S805/KXM-E505W のみ）の映像の明るさは、AV 画面の［映像調整］の「ブライトネス」で調整します。（➜ P.67）

ユーザーを切り替える

本機は２ユーザー分の設定を保持し、切り替えることができます。

■ 切り替わる項目

- 音量設定（音声案内、着信、受話、Bluetooth の音質調整のマイクゲイン）
- 地図表示の設定（地図の向き、縮尺、ランドマーク）
- ユーザー登録地点
- 目的地検索履歴
- マイルートアジャスター

1 【 HOME 】を押して [サブメニュー] をタッチする

2 [ユーザー] をタッチする

タッチするたびにユーザーが切り替わります。切り替わる項目の設定を変えると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

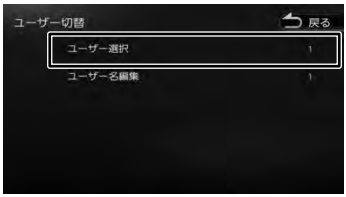
- ユーザーの切替はシステム設定で切り替えることもできます。

システム設定から切り替える

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして［システム］をタッチする

2 [特別] をタッチして、[ユーザー切替] をタッチする

3 [ユーザー選択] をタッチする

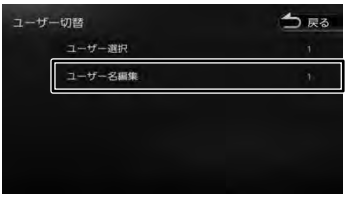


4 ユーザーを選ぶ

選択したユーザーの設定に切り替わります。設定を変えると、選択中のユーザーの設定として自動的に保存されます。

ユーザー名を編集する

1 ［ユーザー名編集］をタッチする



2 名前を編集する

この画面でユーザーの名称を編集することができます。

3 ［決定］をタッチする

- 文字の入力方法は 25 ページをご覧ください。

文字入力のしかた

入力形式を切り替える

文字の入力形式をキーボード形式と携帯電話のようなテンキー形式に切り替えます。

1 [入力切替] をタッチする

文字の種類を切り替える

入力する文字の種類（ひらがな、カタカナ、英数字、記号）を切り替えます。

1 切り替える文字の種類をタッチする

[切替]：
タッチするたびに、かな（ひらがな）/ カナ（カタカナ）/ 英数字 / 記号に切り替わります。

[小文字]：
小文字に切り替わります。

[半角]：
半角英数文字または半角記号に切り替わります。

キーボード形式で文字を入力する

画面のキーボードを使って文字を入力します。
ひらがな、カタカナ入力の場合は、漢字に変換することもできます。

1 文字を選んでタッチする

2 変換する場合は、[変換] をタッチする

[無変換]：
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

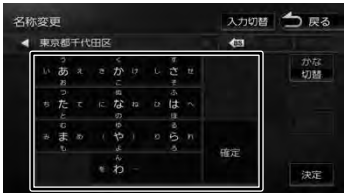
3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

4 [決定] をタッチする

テンキー形式で文字を入力する

1 文字を選んでタッチする



■ フリック入力

例：「い」を入力する場合
[あ] をタッチして左側にはらいます。

例：「あい」を入力する場合
[あ] をタッチします。
その後、[あ] をタッチして左側にはらいます。

■ トグル入力

例：「い」を入力する場合
[あ] を素早く 2 回タッチします。

例：「あい」を入力する場合
[あ] をタッチします。
その後、[あ] を素早く 2 回タッチします。

[確定]：
入力した文字を確定します。

2 変換する場合は、[変換] をタッチする

[無変換]：
文字を変換せず、入力した状態で確定します。

3 変換候補リストから単語を選んでタッチする

文字の変換結果が確定されます。

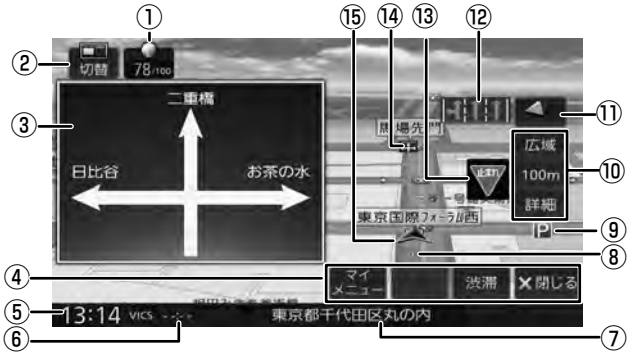
4 [決定] をタッチする

- ◀ または ▶ をタッチして消去したい文字の右側にカーソルを移動して BS をタッチすると一文字を消すことができます。
- BS をタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。
- 名称検索の名称入力は、[確定] をタッチして決定してください。

地図の見かたと操作

現在地図画面の見かた

現在地図画面以外を表示しているときにフロントパネルの【現在地 /AV】を押すと、現在地周辺の地図が表示されます（現在地図画面）。



① **エコ情報**
エコ情報を点数で表示します。

② **[切替]**
タッチすると地図 2 画面表示の設定画面が表示されます。

③ **方面看板**
方面看板情報がある交差点に近づくと表示されます。タッチすると表示を消します。
表示しないように設定することもできます。
（➜ P.109）

④ **ショートカットボタン**
タッチすると、ボタンに割り当てられた機能が実行されます。ボタンの表示する数は「表示 S」と「表示 L」で異なります。詳細は 34 ページをご覧ください。

⑤ **時計**
現在の時刻が 24 時間表記で表示されます。
本機は GPS 電波を利用して自動で時刻を調整します。

⑥ **VICS 情報提供時刻**
VICS 情報の提供時刻が表示されます。

⑦ **現在地情報**
現在の自車位置の情報が表示されます。

⑧ **走行軌跡**
これまでの走行軌跡が水色の点で表示されます。走行軌跡は表示しないように設定できます。（➜ P.111）
また、走行軌跡のデータを消去することもできます。（➜ P.111）

⑨ **ランドマーク**
目印となる施設がマークで地図上に表示されます。表示するランドマークを設定することができます。（➜ P.108）

⑩ **［広域］/［詳細］**
タッチすると、地図の縮尺を変えることができます。（➜ P.28）
ボタンの間に地図の縮尺が表示されます。
縮尺表示をタッチするとスライダーバーが表示され縮尺を変えることができます。（➜ P.29）

⑪ **（コンパスボタン）**
地図の方位が表示されます。
タッチすると、地図の向きと 2D/3D 表示を切り替えることができます。（➜ P.29）

⑫ **レーン情報**
次の交差点のレーン情報が表示されます。
表示しないように設定することもできます。
（➜ P.109）

⑬ **（一時停止表示）/ （日没ライト案内と警告表示）**
一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンが表示されます。表示しないように設定することもできます。（➜ P.109）
日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告が表示されます。表示しないように設定することもできます。（➜ P.121）

⑭ **案内地点**
：方面看板の案内地点が表示されます。
：レーン情報の案内地点が表示されます。表示しないように設定することもできます。（➜ P.109）

つづく➜

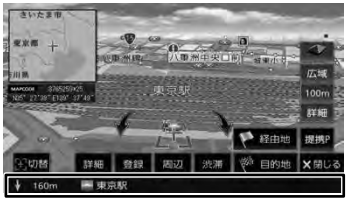
⑮ **自車マーク**

タッチすると自車マークの周りの地図が拡大して表示されます。(ワンタッチルーペ機能)(➜ P.28) ワンタッチルーペは、表示しないように設定することもできます。(➜ P.108)

- 細街路(幅員 5.5 m 未満の道路)は、駐停車中または細街路の走行中に表示されます。市街地図(➜ P.29)の表示中は、常に細街路が表示されます。
- 地図2画面表示中と案内情報表示中はワンタッチルーペ機能(➜ P.28)は使用できません。

ランドマークの情報を見る

1 情報を表示したいランドマークのアイコンをタッチする



施設名と現在地への距離と方向(矢印)が表示されます。

さらに詳細な情報を見るには、[詳細] をタッチします。詳細情報については、33 ページをご覧ください。

- 複数のランドマークが重なっている場合は、[切替] をタッチすると、表示するランドマークの情報を切り替えることができます。
- ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニエンスストア / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示します。
- 地図の向きが 3D ビューの場合、タッチした場所が画面の中央からずれたところにスクロールすることがあります。

地図の縮尺を変える

1 [広域] または [詳細] をタッチする

それぞれのボタンをタッチし続けると、連続して拡大または縮小されます。

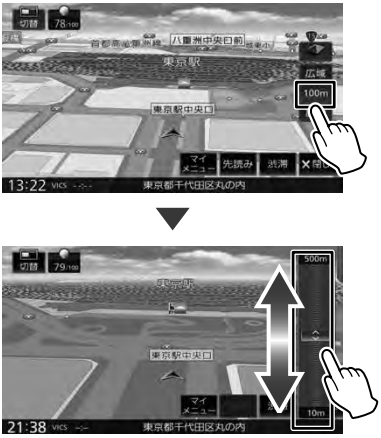
■ 自車位置の周りを拡大表示する(現在地図画面のみ)

縮尺が 65m 以上 650m 未満のときに、自車マークをタッチすると自車位置の周りの地図が拡大して表示されます。(ワンタッチルーペ)
ワンタッチルーペの表示をタッチすると解除されます。

ワンタッチルーペを表示するかしないかを設定することができます。(➜ P.108)

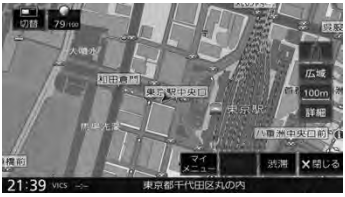
■ **スライダーバーで縮尺を変える**

1 **縮尺表示をタッチして、タッチしたままスライダーバーのつまみを上下にドラッグする**



市街地図について

市街地図は、縮尺が 100m 以下のスケールで表示されます。ナビ設定の「市街地図の表示縮尺」を「50m 以下」にすると、50m 以下のスケールで表示できます。設定については 108 ページをご覧ください。



- 市街地図が収録されていない地域もあります。
- 市街地図では、道路によっては自車マークが道路の中央や右側に表示されることもあります。
- 現在地の地図画面の縮尺は記憶されます。このため、スクロール地図画面（➜ P.32）で縮尺を変えても、現在地の地図画面に戻ったときは、直前の現在地の地図画面と同じ縮尺で表示されます。
- 走行中は、連続スクロール、スライダーバーでの縮尺変更と、画面を直接タッチして拡大 / 縮小することはできません。

地図の表示方法を切り替える

1 **地図画面のコンパスボタンをタッチする**

タッチするごとに地図の表示方法（向き、2D/3D 表示）が切り替わります。

（3D ビュー）

進行方向が画面の上方向になる向きで、3D 地図が表示されます。

市街地図（➜ P.29）では、スケールを 50m 以下にしていると、周囲の建物を再現した詳細なバーチャル 3D マップが表示されます。

（ノースアップ）

2D 地図の北が画面の上方向になるように表示されます。

（ヘディングアップ）

2D 地図で進行方向が画面の上方向になるように表示されます。

- 地図の向きは、ナビ設定で切り替えることもできます。（➜ P.108）
- 地域によっては、バーチャル 3D マップを表示できない場所があります。

地図を 2 画面表示にする

現在地図画面の上に地図、選択しているソースの AV 画面または INFO 画面を表示することができます。

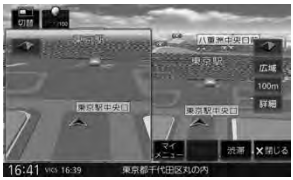
1 [切替] をタッチする

2 表示したい項目をタッチする

[地図]：
現在地図画面が表示されます。

[地図＆地図小]、[地図＆地図中]：
現在地図画面に地図小画面または、地図中画面を表示します。

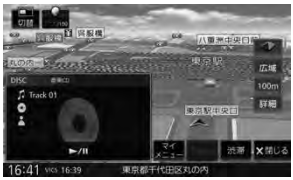
地図小画面



地図中画面

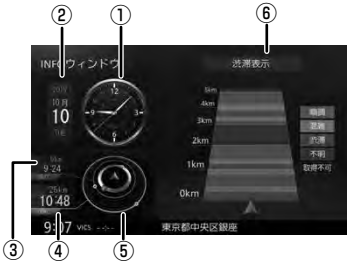
[地図＆ AV 小]、[地図＆ AV 中]：
現在地図画面に AV 小画面または、AV 中画面を表示します。

AV 小画面

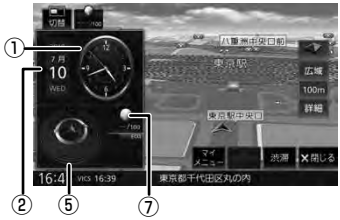


AV 中画面

[INFO]：
INFO ウィンドウを全画面で表示します。



[地図＆ INFO 小]：
現在地図画面に INFO 小画面を表示します。



[地図＆ INFO 中]：
現在地図画面に INFO 中画面を表示します。

① **時計**：現在時刻を表示します。

② **カレンダー**：
カレンダーを表示します。タッチすると 1 か月分のカレンダーを表示します。

③ **次の経由地までのおおよその距離と到着時刻**

④ **目的地までの距離と到着時刻**

⑤ **目的地、経由地、自車の方向などを表示**

⑥ **情報表示切替エリア：**
渋滞情報、速度履歴、再生中の曲情報や次の曲情報などが表示されます。

⑦ **ECO 情報：**
ECO ドライブ評点を表示します。

⑧ **天気予報：**
カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」と連携しているときに天気予報を表示します。
詳細は 140 ページをご覧ください。

情報表示切替エリアの表示項目

INFO ウィンドウの情報表示切替エリア（⑥）に表示される項目は以下になります。
表示は、10 秒（お買い上げ時の設定）ごとに自動で切り替わります。切り替え時間の設定については 109 ページをご覧ください。

■ 渋滞表示

現在地から一般道では最長 5 km 先、高速道路では最長 20km 先までの渋滞情報を色で表示します。

・ルート案内中は、一般道または高速道の距離制限以内に目的地がある場合は目的地までの渋滞情報を色で表示します。

・ルート案内をしていないときは、走行中の道路で道なりと判断した地点までを表示します。

■ 速度履歴

速度履歴とエコドライブ評価を表示します。
グラフは、30 秒ごとの平均速度履歴を色で表示します。緑：0 ～ 50km/h、黄：50 ～ 80km/h、赤：80km/h ～

■ 交差点案内（ルート案内中のみ）

ルート案内中は交差点の曲がる方向と案内ポイントまでのおおよその距離が表示されます。

■ ゴール（ルート）情報（ルート案内中のみ）

現在地からゴール（目的地）までのルート情報を表示します。

■ 高速道路施設情報

高速道路を走行中は、現在地より先の IC/JCT、サービスエリアまたはパーキングエリアまでのおおよその距離と到着予想時刻や各施設の情報を表示します。

■ 天気予報

天気予報を表示させるには、カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」が必要です。（➜ P.139）
現在地の天気予報を表示します。自宅を登録していると自宅付近の天気予報も表示します。

ルート案内中は、現在地、経由地（経由地を設定している場合）、目的地の天気予報を表示します。

■ AV ビジュアライザ

現在受信中の放送局や、再生中の曲の情報などを表示します。
アナライザー表示と波紋表示があります。

アナライザー表示

波紋表示

- 選択中のソースの受信状態や再生状態により、表示可能な情報が変わります。
- 映像ソース再生中は映像は表示されません。

地図をスクロールする

地図のスクロールには、次の方法があります。

■ ドラッグスクロール

指の動きに合わせて地図がスクロールします。

■ フリックスクロール

フリックした方向に地図がスクロールします。

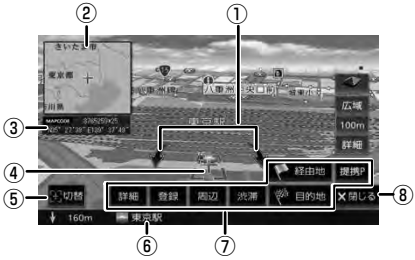
■ ポイントスクロール

地図をタッチすると、タッチした場所が画面の中央に表示されるように地図がスクロールします。タッチし続けると、タッチしている方向に連続してスクロールします。

スクロールした後に【現在地 /AV】を押すと、現在地図画面に戻ります。

- 走行中は、連続ポイントスクロール、ドラッグスクロールはできません。

スクロールしたときの地図表示



① **地図回転ボタン：**
3D ビュー表示のときに表示されます。タッチするとカーソルを中心に地図を回転できます。

② **フライビューマップ：**
スクロールした地点を広域地図で表示します。フライビューマップは表示しないように設定することもできます。（➜ P.108）

③ **マップコードと緯度・経度表示：**
マップコードと緯度・経度をそれぞれ表示できます。（➜ P.108）

④ **（カーソル）：**
地図画面の中心点に表示されます。

⑤ **[切替]：**
同じ地点に複数の地点情報があるとタッチすることができます。タッチするたびに地点情報の表示が切り替わります。

⑥ **地点情報：**
カーソルの位置の地点情報（住所や名称など）と現在地への距離と方向（矢印）が表示されます。

⑦ **[提携 P]：**
カーソルのあるランドマークに提携駐車場があるとタッチすることができます。タッチすると提携駐車場を目的地に設定できます。

[目的地] / [経由地]（経由地は目的地を設定しているときのみ表示）：
この地点を目的地 / 経由地に設定します。

[渋滞]：
VICS 情報画面が表示されます。

[周辺]：
周辺の施設を検索します。検索画面では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。（➜ P.39）

[登録]：
この地点を登録します。

[詳細]：
地点詳細情報画面を表示します。
スマートフォンで QR コードを読み取ると、MapFan のサイトに接続し、地点情報や目的地までのルートなどを表示することができます。詳しくは、33 ページをご覧ください。

⑧ **[閉じる]：**
⑦の表示を消して、[表示] に切り替わります。

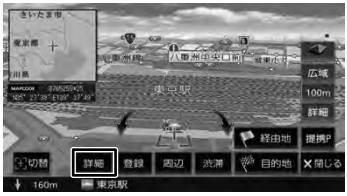
- 施設名や住所、電話番号などの詳細情報は、本機のデータベースから取得できた場合に表示されます。表示される内容は、取得できた情報によって異なります。
- 走行中は詳細情報の名称のみ表示されます。

マップクリップを利用する

マップクリップは、QR コード（2 次元バーコード）に変換した地点情報を、スマートフォンで読み取って地図を表示する MapFan のサービスです。

- スマートフォンに表示した地図周辺のさまざまなスポットを検索することができます。
- 地図を表示するには、QR コードを読み取るアプリケーションが必要です。
- 地図の縮尺変更や移動は無料です。（通信料、パケット料はお客様負担となります。）
- 「マップクリップ」のサービスは、予告なく変更、中断、中止される場合があります。

1 地点詳細情報画面を表示したい地点を表示して、[詳細] をタッチする



2 QR コードを表示して、スマートフォンで読み取る

（地点地図）：
カーソルのある地点の位置を QR コードで表示します。

（地点地図＋現在地）：
カーソルのある地点と現在地からのルート情報を QR コードで表示します。

（地点地図＋目的地）：
カーソルのある地点と目的地からのルート情報を QR コードで表示します。

▼

QR コードを読み取ると MapFan のサイトに接続し、検索した地点の地図が表示されます。

ショートカットボタンを使う

現在地図画面にショートカットボタンが表示されます。ショートカットボタンは「表示 S」と「表示 L」と「表示なし」があります。

■ ショートカット L ボタンを表示時

① **[自宅]：**
自宅へ帰るルートを探索します。(➜ P.38)
自宅を登録していない場合は自宅を登録することができます。

② **[周辺]：**
現在地の周辺にある施設の検索や、地点情報を表示します。検索した施設を目的地に設定することもできます。
検索画面では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。
(➜ P.39)

③ **[マイメニュー]：**
マイメニューを表示します。(➜ P.21)

④ **[先読み]：**
ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。(➜ P.54)

⑤ **[渋滞]：**
VICS 情報画面が表示されます。

⑥ **[表示 S]：**
ショートカット S ボタンを表示します。

■ ショートカット S ボタンを表示時

① **[マイメニュー]：**
マイメニューを表示します。(➜ P.21)

② **[先読み]：**
ルート案内中にタッチすると案内先読みガイドを表示します。(➜ P.54)

③ **[渋滞]：**
VICS 情報画面が表示されます。

④ **[閉じる]：**
ショートカットボタンの表示を閉じます。

■ ショートカットボタンを閉じた時

① **[表示 L]：**
ショートカット L ボタンを表示します。

周辺検索と周辺情報を取得する

現在地の周辺の施設を検索します。

1 ［周辺］をタッチする

2 ［周辺検索］をタッチする

タッチするとジャンルリストが表示されます。検索したいジャンルをタッチしてください。
ジャンルを絞り込んだ後の操作は、42 ページの手順 4 からご覧ください。

■ 周辺地点情報を取得する

カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Drive Info.」と連携していると「ガソリン価格」、「天気予報」の情報を表示します。詳細は 139 ページの「KENWOOD Drive Info. を使う」をご覧ください。

ナビゲーションの流れ

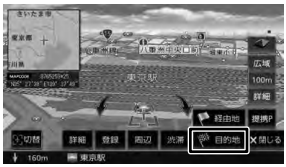
① 行き先を探す

目的地検索画面から

名称やジャンルなど、さまざまな方法で行き先を探します。(➜ P.39)

地図画面から

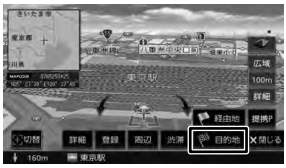
地図をスクロールして行きたい場所を探し(➜ P.32)、［目的地］をタッチします。



② 行き先に設定する

［目的地］をタッチする

探した場所が目的地に設定され、ルートが探索されます。(➜ P.49)



- 経由地は、目的地を設定した後に設定することができます。(➜ P.58)

③ ルートを設定する

ルートを確認・編集する

探索したルートの確認や、他のルートの探索を行います。(➜ P.58)

［推奨］/［距離］/［高速］/［一般］/［高速 / 距離］：
指定した条件でルートを探索します。(➜ P.49)

［ルート情報］：
選択したルートの情報を確認します。(➜ P.60)

入/沖留 / 横浜駅西口：
利用するインターチェンジを変更します。(➜ P.59)
有料道路を使用するときに表示されます。

④ 案内を開始する

［案内開始］をタッチする

ルート案内が始まります。

ルート案内を開始した後は

- **経由地の設定・入れ替え**
  途中で立ち寄りたい場所を設定したり、立ち寄る順番を変更できます。(➜ P.58)
- **案内終了**
  ルート案内を中止します。(➜ P.61)

自宅を登録する / 自宅に帰る

自宅を登録する

自宅を登録すると、お出かけ先から自宅までのルート案内を簡単に始めることができます。

1 【HOME】を押して [目的地検索] をタッチする

2 ［自宅］をタッチする

確認メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

4 自宅の検索方法をタッチする

ここでは住所で説明します。
住所以外の検索方法については「行き先を探す」（➜ P.39）をご覧ください。

5 画面に従って自宅の住所を入力する

6 ［自宅に設定する］をタッチする

7 ［決定］をタッチする

この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 25 ページをご覧ください。

- 自宅の名称と電話番号は、後からでも編集・登録することができます。（➜ P.63）
- 自宅を登録していない場合は、現在地図画面の［自宅］からも登録することができます。（➜ P.34）

自宅を変更する

1 **新しく自宅に登録する地点を検索して [登録] をタッチする**

2 **[自宅] をタッチする**

確認メッセージが表示されます。

3 **[はい] をタッチする**

4 **[決定] をタッチする**

この画面で自宅の名称を編集することができます。文字の入力方法は 25 ページをご覧ください。

- 先に自宅として登録されていた地点は、[未分類] グループに変更されます。

自宅へ帰る

本機に登録した自宅までのルート案内を開始します。

1 **現在地図画面で [自宅] をタッチする**

[自宅] が表示されていないときは [表示 L] ボタンを表示してください。(➜ P.34)

確認メッセージが表示されます。

2 **[はい] をタッチする**

3 **[案内開始] をタッチする**

自宅へのルート案内が開始されます。(➜ P.49)

- 目的地検索画面の [自宅] をタッチして、ルート案内を開始することもできます。(➜ P.39)

行き先を探す

本機の「目的地検索」画面に表示されるさまざまな方法を使って、行き先（目的地）や立ち寄りたい場所（経由地）を探すことができます。

1 【HOME】を押して [目的地検索] をタッチする

2 検索方法を選択する

[名称]：
施設の名称やキーワードで行き先を探します。エリアやジャンルで絞り込むこともできます。（➜ P.39）

[ジャンル]：
食事やショッピングなど、ジャンルで行き先を探します。（➜ P.42）

[登録地点]：
本機に登録した場所（登録地点）から行き先を探します。（➜ P.43）

[自宅]：
現在地から自宅に帰るルートを探索して、ルート案内を開始します。（➜ P.49）
自宅が未登録の場合はメッセージが表示され自宅を登録することができます。登録方法については 37 ページをご覧ください。

[住所]：
住所から目的地を探します。（➜ P.44）

[履歴]：
いままでにルートを探索した行き先から探します。（➜ P.44）

[電話番号]：
電話番号を入力して行き先を探します。（➜ P.45）

[マップコード]：
マップコードを入力して行き先を探します。（➜ P.45）

[郵便番号]：
郵便番号を入力して行き先を探します。（➜ P.45）

検索画面での営業時間外表示について

目的地検索の周辺検索、ジャンル検索、名称検索、電話番号検索、提携駐車場検索では、検索した施設が営業時間外の場合「！」マークを表示します。

- 営業時間外表示ができるジャンルは、駐車場、コンビニエンスストア、ガソリンスタンド、ファミリーレストラン、ファーストフード、回転寿司です。
- 隔週定休日、不定期な休日や営業時間には対応していません。また実際の営業時間とは異なる場合があります。
- 営業時間のデータがない施設の場合は、営業時間外の「！」マークを表示できません。
- 実際の営業時間は各施設に問い合わせてください。

名称から探す

会社や店舗などの施設名（読みがな）から行き先を探します。

1 ［名称］をタッチする

2 施設の名前を入力して、［検索］をタッチする

[フリーワード]：
フリーワード検索ができます。フリーワード検索をするには、「KENWOOD Drive Info.」が必要です。詳細は 139 ページをご覧ください。

- 施設名の入力時に、「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は省略できます。清音で入力してください。また、「っ」（促音）や「ゃ」「ゅ」「ょ」など（拗音）は、通常の文字で入力してください。

つづく➜

- 文字を入力するたびに、「完全一致」または「部分一致」に該当する件数が表示されます。部分一致件数が５件以下になると、自動的に手順３の画面が表示されます。

3 行き先をタッチする

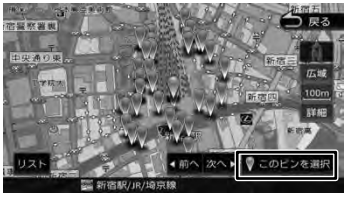
[エリア指定]：
さらに指定したエリアで検索します。（➜ P.40）

[ジャンルで絞り込む]：
さらにジャンルで絞り込みます。（➜ P.41）

[名称順]：
検索結果を名称順で表示します。

[距離順]：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［このピンを選択］をタッチする



[リスト]：
リストから施設を選ぶことができます。

▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➜ P.49）

- ピンは手順３で指定した行き先を含めて 50 件まで表示します。指定する施設を変更したい場合は、[前へ] または [次へ] をタッチするかピンを直接タッチすると、施設を切り替えることができます。
- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。（➜ P.39）

エリアを指定して検索する

検索結果を指定したエリアでさらに検索することができます。

1 「名称から探す」（➜ P.39）の手順３で［エリア指定］をタッチする

2 指定したい項目をタッチする

[地域を指定]：
地域（都道府県から）を入力して検索します。

[地図から指定]：
地図をスクロールして場所を指定します。

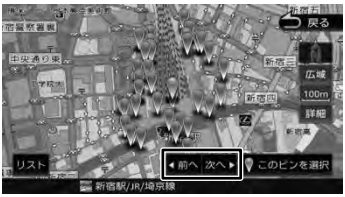
[現在地周辺] / [目的地周辺] / [経由地（1 ～ 5）周辺]：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

- ［目的地周辺］/［経由地（1 ～ 5）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。

3 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

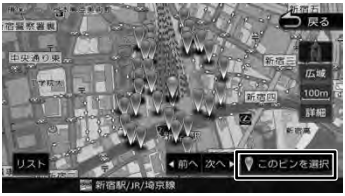
施設が 1 件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順 4 に進んでください。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

4 ［このピンを選択］をタッチする



［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➜ P.49）

ジャンルで絞り込む

検索結果を指定したジャンル（施設の種類）でさらに絞り込むことができます。

1 「名称から探す」（➜ P.39）の手順 3 で［ジャンルで絞り込む］をタッチする

2 ジャンル名をタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

3 目的の施設を選ぶ

［エリア指定］：
さらに指定したエリアで検索します。（➜ P.40）

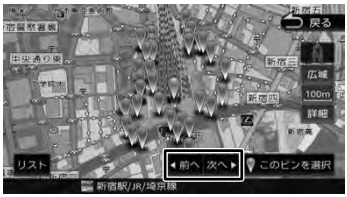
［名称順］：
検索結果を名称順で表示します。

［距離順］：
検索結果を距離順で表示します。

4 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順 5 に進んでください。

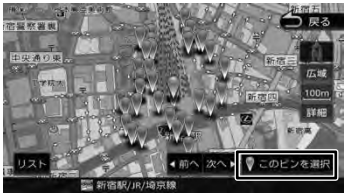


［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

つづく➜

5 ［このピンを選択］をタッチする



▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➜ P.49）

ジャンルから探す

食事やショッピングなど、目的のジャンルから行き先を探します。

1 ［ジャンル］をタッチする

2 ジャンル名をタッチする

さらにジャンルの分類がある場合は、絞り込むことができます。

［全て検索］：
選択したジャンルすべて（下層の分類も含む）で検索します。

3 指定したい項目をタッチする

［地域を指定］：
地域（都道府県から）を入力して検索します。

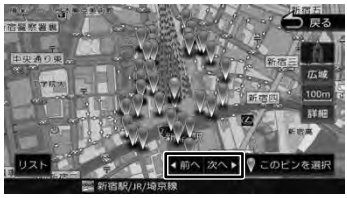
［地図から指定］：
地図をスクロールして場所を指定します。

［ルート周辺］：
ルート前方にある施設を表示します。

［現在地周辺］/［目的地周辺］/［経由地（1 ～ 5）周辺］：
指定した地点の周辺地図が表示されます。

4 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

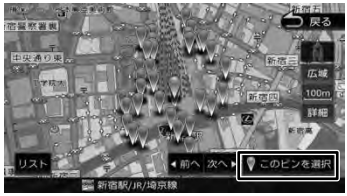
［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。
施設が 1 件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順 5 に進んでください。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

5 ［このピンを選択］をタッチする



▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➜ P.49）

- 手順 3 の［ルート周辺］は現在地周辺の半径 10km 以内でルート前方両側にある施設を検索します。（最大 50 件）その他は指定した地点を中心とした半径 50km 以内で検索します。（最大 50 件）
- ［ルート周辺］検索をしたときに、一般道のルート周辺に高速道路、有料道路の施設が表示されることがあります。

- 手順3の［目的地周辺］/［ルート周辺］/［経由地（1 ～ 5）周辺］は、目的地または経由地を設定している場合のみ表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。(➜ P.39)

登録地点から探す

ナビに登録した地点から行き先を探します。

- 事前に本機に地点を登録してください。地点の登録方法は 62 ページをご覧ください。
- 登録地点の編集については、63 ページをご覧ください。

1 ［登録地点］をタッチする

2 グループ名をタッチする

3 登録地点をタッチする

▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。(➜ P.49)

住所から探す

住所から行き先を探します。

1 ［住所］をタッチする

2 画面に従って行き先にしたい住所を選ぶ

リストの最初に現在地周辺の都道府県が４つまで表示されています。

▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➜ P.49）

- 番地の入力画面では、丁目、番、号は、“-”でつないで一度に入力することができます。
- ［あ］～［わ］をタッチすると表示中のリストを頭出しします。
- ［代表地点］をタッチするとそれぞれの代表地点を地図で表示します。

履歴から探す

いままでにルートを探索した行き先から探します。

1 ［履歴］をタッチする

2 検索履歴をタッチする

▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➜ P.49）

- 目的地または経由地として設定した場所が履歴に保存されます。
- 検索履歴は 50 か所まで保存されます。50 か所を超えると、古いものから自動的に削除されます。

履歴を削除する

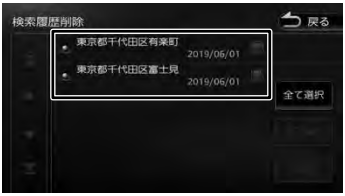
履歴地点を削除します。

- 削除した履歴地点は元に戻せません。削除する履歴を間違えないように操作してください。

1 検索履歴画面で［削除］をタッチする

2 削除する履歴地点をタッチする

履歴は複数選択することもできます。選択した項目はチェックが付きます。



[全て選択]：
リスト内のすべての地点を選択します。

[全て解除]：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

3 [削除] をタッチして、[はい] をタッチする

電話番号・マップコード・郵便番号で探す

電話番号、マップコード、郵便番号から行き先を探します。

1 [電話番号]、[マップコード] または [郵便番号] をタッチする

2 番号を入力して [検索] をタッチする

電話番号、郵便番号のハイフンは入力しません。

BS：
カーソルの前にある文字を消去します。

▼

[目的地] をタッチすると、ルートの探索が始まります。(➜ P.49)

- 電話番号および郵便番号は、全桁を入力すると自動的に地点検索が開始されます。[検索] をタッチする必要はありません。
- 電話番号検索で指定した番号に該当する施設がない場合は、局番が使用されている地域の地図が表示されます。
  局番でも見つからなかった場合は、「入力した電話番号の施設がありません。」というメッセージが表示されます。
- 一部の場所では、一つの電話番号に複数の地点が登録されているとリスト選択画面が表示されます。その場合はリストから場所を選ぶと地図が表示されます。
- 一部の施設では、ピンポイントで場所を指定できない場合があります。その場合は「ピンポイント検索データがありませんでした。付近の地図を表示します。」と表示し、付近の地図が表示されます。
- 電話番号検索では一部の施設で営業時間外の場合、アイコンに「！」マークが表示されます。(➜ P.39)
- 個人宅を電話番号で検索すると、個人宅の名字の入力が必要になります。名字の読みを入力して [検索] をタッチします。
- 郵便番号で検索した場合は、郵便番号が使用されている地域の地図が表示されます。
- 指定した番号に該当する施設がない場合は、メッセージが表示されます。
- マップコードに関する情報は、マップコードのホームページ（http://www.e-mapcode.com/）をご覧ください。
- 電話番号検索で電話番号を入力するときは、国番号の入力は必要ありません。

NaviCon で探す

「NaviCon」では、地点や店舗を検索して登録しておくことができます。登録した地点を「NaviCon」から本機に送信することもできます。
ほかにも、NaviCon には次の機能があります。

- NaviCon は、他のスマートフォンアプリと連携することができ、他のアプリで検索した地点情報や店舗情報を NaviCon に取り込むことができます。連携できるアプリの種類や NaviCon の操作については下記の URL をご覧ください。
  https://navicon.com/user/support/
- スマートフォンの連絡先等に登録されている住所情報を「NaviCon」に取り込み、地点情報を NaviCon で目的地に設定できます。
- 他の NaviCon ユーザーに、地点情報をメールまたは SMS で送信することができます。
- 他の NaviCon ユーザーからの地点情報を受信することができます。
- 友達マップ機能に対応しています。

・「NaviCon」アプリのバージョンによっては一部機能が動作しない（友達マップが表示できないなど）場合があります。「NaviCon」アプリは最新のバージョンでご使用ください。

本機とスマートフォンを接続する

1 App Store または Google Play から「NaviCon」をスマートフォンにダウンロードする

2 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。
接続ケーブルは iPhone に付属の接続ケーブルを使用します。また、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には登録が必要です。（➜ P.127）

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。（➜ P.127）

NaviCon からナビの地図表示を操作する

NaviCon の画面に表示している場所と同じ場所の地図を本機に表示することができます。
また、NaviCon 側で地図をスクロールすると本機の地図もスクロールされ、スクロールした地点の地図を表示します。さらに、地図を拡大 / 縮小すると、本機の地図も拡大 / 縮小されます。
なお、本機から NaviCon の地図表示を変えることはできません。

目的地を設定する

NaviCon で検索した地点の情報を本機に送信して、行き先として設定することができます。

1 「NaviCon」を起動する

2 「NaviCon」から本機に地点情報を送信する

送信方法については「NaviCon」のアプリの説明をご覧ください。

▼

送信された場所が本機に表示されます。

▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。（➜ P.49）

NaviCon 友達マップ機能を使う

友達マップ機能を使うと、本機の地図画面に友達の位置が表示されます。
また、表示された友達の位置を目的地に設定することができます。

■ ナビの友達マップ機能を ON にする

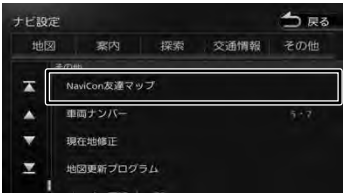
1 本機にスマートフォンを接続する

2 スマートフォンの「NaviCon」を起動する

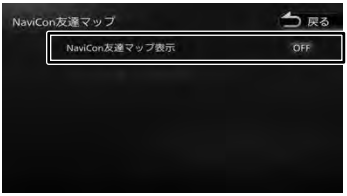
3 スマートフォンの「NaviCon」の友達マップ機能をオンにする

4 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [ナビ] をタッチする

5 ［その他］をタッチして、[NaviCon 友達マップ] をタッチする



6 [NaviCon 友達マップ表示] をタッチして ON にする



[OFF]:
友達マップ機能をオフにします。

▼

現在地図画面を表示すると友達アイコンが表示されます。

- 本機の友達マップ機能をオンに設定しても他のデバイスを接続したときは、設定が「OFF」になります。設定を「ON」にしたときと違う機器を使用する場合は設定を「ON」にし直してください。

■ 友達マップ機能のアイコンについて

友達マップ機能のアイコンが本機の画面に表示されます。

友達アイコン

緑色：友達の NaviCon と通信できています。
灰色：友達の NaviCon が通信できません。
最後に通信できた場所を表示しています。

本機との接続状態表示アイコン

緑色：
友達マップ機能が「ON」になっています。

黄色：
友達マップ機能は「ON」になっているが通信エラーが発生しています。

灰色：
友達マップ機能は「ON」になっているが通信できない状態になっています。

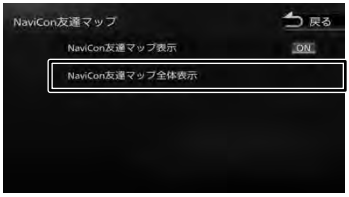
表示なし：
友達マップ機能が「OFF」になっています。

- 友達アイコンには NaviCon に登録しているニックネームを全角 3 文字まで表示します。
- 友達アイコンは 2.5km 以下のスケールで表示されます。

■ 友達の位置を全体表示する

友達の位置が自車位置から遠い場合や複数の友達と接続している場合など、地図画面に友達の位置が表示できないときに全体画面で位置を表示することができます。

1 NaviCon 友達マップ画面を表示して [NaviCon 友達マップ全体表示] をタッチする



▼

全体表示画面が表示されます。

■ **友達の位置を目的地に設定する**

1 NaviCon 友達マップ画面を表示して [NaviCon 友達マップ全体表示] をタッチする

▼

全体表示画面が表示されます。

複数の友達の位置情報を取得している場合は、[◀]、[▶]、[リスト] をタッチして友達を選ぶことができます。

2 [この友達を選択] をタッチする

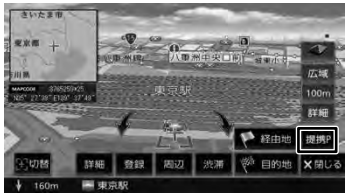
3 [目的地] をタッチする

ルートの探索が始まります。(➜ P.49)

提携駐車場を行き先に設定する

検索した施設に提携駐車場がある場合は、[提携 P] が表示されます。提携駐車場を目的地に変更することができます。

1 ［提携 P］をタッチする



2 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。

施設が 1 件のときは、［前へ］/［次へ］は表示されません。手順 3 に進んでください。

［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

3 ［このピンを選択］をタッチする

▼

［目的地］をタッチすると、ルートの探索が始まります。(➜ P.49)

ルートの探索と案内

本機のナビゲーション機能は地図と音声で案内するものですが、道路の状況や本機の精度により、まれに不適切な案内をすることがあります。
本機はあくまで走行の参考として、ルート案内時でも走行中は必ず道路標識など実際の交通規制に従って走行してください。

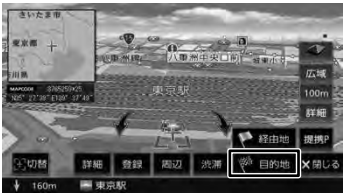
ルートの探索と案内を開始する

検索した場所を行き先（目的地）に設定して、ルートの探索と案内を開始します。距離や高速道路優先など、探索条件を指定することもできます。

目的地に設定してルートを探索する

ここまでの手順 ➤ 行き先を検索して、地点情報画面を表示する

1 ［目的地］をタッチする



表示している地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。
すでに目的地が設定されているときは、以前の目的地が削除され、新しい目的地に変更されます。

- 経由地を設定する場合は 58 ページをご覧ください。
- 「一般道に目的地（経由地）を設定します。よろしいですか？」と表示されたときは、
  ［はい］：一般道を目的地（経由地）に設定します。
  ［いいえ］：高速・有料道路を目的地（経由地）に設定します。
- 「この施設には複数の到着地点情報があります。到着地点を選択しますか？」と表示されたときは、50 ページをご覧ください。

ルートの探索条件を選択して案内を開始する

1 ルートの探索条件をタッチする

目的地までの所要時間と距離が表示されます。有料道路を通る条件の場合は、料金、および最初と最後の IC 名が表示されます。

［推奨］：
本機が推奨するルートです。

［距離］：
走行距離ができるだけ短くなるルートです。ただし、最短距離にならない場合があります。

［高速］：
高速道路（有料道路）を優先的に通るルートです。

［一般］：
一般道路を優先的に通るルートです。
一般道だけで目的地に到達できない場合は、高速道路 (有料道路) を通るルートになることがあります。

［高速 / 距離］：
高速道路（有料道路）を優先的に通り、一般道路では走行距離ができるだけ短くなるルートです。

［全行程］：
すべての条件でルートを探索します。各条件のルートを比較することができます。

［ルート情報］：
選択した探索条件のルート上にある施設や道路の名称、距離などの情報を表示します。

入神田橋 / 出あきる野 ：
利用するインターチェンジを変更します。（➜ P.59）有料道路を使用するときに表示されます。

つづく➜

［スケール調整］：
タッチすると地図を拡大、縮小、スクロールできます。［戻る］をタッチすると元の画面に戻ります。

［マイルートアジャスター］：
ルート探索の詳細条件を設定します。
マイルートアジャスター機能は、5 ルート（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）すべてに詳細条件が反映されます。
設定については 112 ページをご覧ください。

2 ［案内開始］をタッチする

ルート案内が開始されます。（➜ P.51）

- 表示される料金は、ETC 割引などの各種割引は考慮されません。
- フェリーを利用したルートを案内する場合は「所要時間」表示にフェリーアイコンが表示されます。
  フェリーアイコン：
- フェリーを利用したルートを案内する場合の「料金」表示には、フェリーの利用料は含まれていません。
- スマート IC を利用したルート案内をする場合は「料金」表示にスマート IC アイコンが表示されます。
  スマート IC アイコン：スマートIC
- 料金は、地図データベース作成当時のものです。料金改定などにより、実際の料金と異なる場合があります。
- 料金が不明な道路を経由した場合、「￥～以上」または「￥---」と表示される場合があります。
- 有料道路上に目的地を設定した場合、料金が表示されないことがあります。

VICS によるルート探索

■ 規制考慮探索

- VICS 規制情報 (通行止めなど) を受信している場合、規制を考慮したルートを探索します。
- ルート案内中に規制のある箇所に近づいたら、自動的に規制箇所を回避するルートが探索されます。

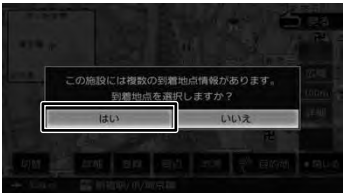
■ 渋滞考慮探索 (最適時間考慮探索)

- ルート案内中に渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。(最適時間考慮探索)

複数の到着地点情報があったとき

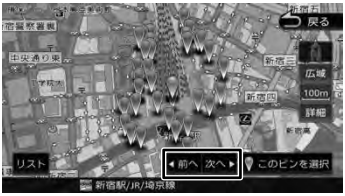
検索した施設に複数の到着地点情報がある場合は、到着地点を選ぶことができます。

1 ［はい］をタッチする



2 ［前へ］/［次へ］をタッチして、目的の施設を選ぶ

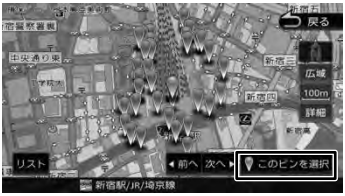
［前へ］/［次へ］をタッチするたびに施設情報が切り替わります。



［リスト］：
リストから施設を選ぶことができます。

- 地図をスクロールして［この地点を選択］をタッチすると、カーソルの位置を行き先に設定できます。

3 ［このピンを選択］をタッチする



▼

選択した地点が目的地に設定され、ルートの探索が始まります。（➜ P.49）

ルート案内画面について

ルート案内中は、案内ルートのほか、案内ポイントや交通情報など、さまざまな情報が地図に表示されます。

本機のルート案内と実際の交通規制が異なる場合があります。実際の交通規制に従って走行してください。

一般道路でのルート案内

一般道路でのルート案内には次の情報が表示されます。

① ◇案内ポイント

② 自車マーク

③ 案内ルート
目的地または経由地までのルートです。
道路の種類(一般道 / 高速道路 / 細街路)によって色分けして表示されます。

④ 次案内ポイント情報
次の案内ポイントの交差点名、距離、および進行方向が表示されます。交差点に名前がない場合は、交差点名は表示されません。

⑤ 次々案内ポイント情報
次案内ポイントからさらに次の案内ポイントが近い場合は、その案内ポイントの進行方向が表示されます。

⑥ レーン情報表示
(白色矢印):案内レーン
(水色矢印):推奨通過レーン

⑦ 到着予想時刻と距離
対象の行き先(次の経由地または目的地)への到着予想時刻と距離が表示されます。
経由地が設定されている場合は、このボタンをタッチするたびに対象の行き先が切り替わります。
到着予想時刻は交通状況などにより変わります。

高速道路でのルート案内

高速道路でのルート案内中は、自動的にハイウェイモード画面が表示されます。

① **ハイウェイモードボタン**
ハイウェイモード画面が表示されていないときにタッチすると、ハイウェイモード画面を表示します。

② **ハイウェイモード画面**
高速道路を走行中に、ルート上にある施設の情報を表示します。
ここです案内または高速分岐イラストが表示されます。

③ **施設名称 / 施設案内表示**
進行方向にあるインターチェンジ（IC）/ ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）、料金所の名称と距離、通過予想時刻、各施設の設備が表示されます。
SA・PA の場合は、タッチすると詳細情報が表示されます。
施設情報に表示される設備のマークは、最大４個です。

④ **交通情報表示**
施設間の交通情報が表示されます。
橙色：混雑
赤色：渋滞

⑤ **規制情報表示**
車線規制などの情報（VICS 情報規制表示）が３件までマークで表示されます。（➜ P.102）
マークをタッチすると詳細情報を表示します。
情報が複数あるときはリストが表示されます。
見たい情報をタッチすると詳細情報を表示します。

⑥ **スクロールボタン / 現区間**
ハイウェイモード画面内の施設情報をスクロールします。スクロールすると［現区間］ボタンが表示されます。［現区間］をタッチすると、施設情報が現在地に近い施設に戻ります。

⑦ **［閉じる］**
ハイウェイモード画面を閉じます。
①をタッチすると再度表示します。

⑧ **自車マーク**

⑨ **案内ルート**

- ハイウェイモード画面は、ルート案内中だけでなく、高速道路を走行中も表示されます。ただし、高速道路によってはハイウェイモード画面が表示されない場合があります。

案内ポイントでの割り込み表示

案内ポイントに近づくと、ここです案内、交差点案内図、高速道分岐イラストが表示されます。割り込み表示は、現在地図画面で表示されます。

割り込み表示は案内ポイントを通過すると自動的に消えます。通過前に消したいときは、割り込み表示をタッチしてください。
消した割り込み表示は、［案内図］をタッチするともう一度表示できます。

- AV 画面を表示しているときに割り込み表示があると、割り込み表示画面に切り替わります。
- 割り込み表示は表示しないように設定することができます。（➜ P.109）

ここです案内表示

案内する交差点の約 350m（高速道路は約 1.1km）手前に近づくと表示されます。

交差点案内図の表示

■ 交差点拡大図

約 200m（高速道路は約 800m）手前に近づくと表示されます。

■ リアル交差点イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

■ 空港構内案内

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

■ 側道分岐イラスト

イラスト情報がある場合、約 300m 手前に近づくと表示されます。

高速道分岐イラストの表示

高速道路では、分岐する案内ポイントに近づくと高速道分岐イラストが表示されます。
場所によっては、イラスト情報がない場合があります。その場合は表示されません。

■ 高速入口

都市高速道路入口の約 300m 手前で表示されます。

■ 分岐

出口やジャンクションの約 1km 手前で表示されます。

場所によっては、実際の看板をイメージしたイラストが表示されます。

■ 出口後分岐

出口分岐を通過後、約 1km 手前に近づくと表示されます。

■ 料金所後分岐

料金所を通過後に分岐がある場合に表示されます。

ETC レーン表示

出口または本線料金所に近づくと、料金所ゲートの ETC レーンが表示されます。

ETC レーンは、ルート案内していないときにも表示されます。場所によっては ETC レーン情報がない場合があります。その場合は表示されません。

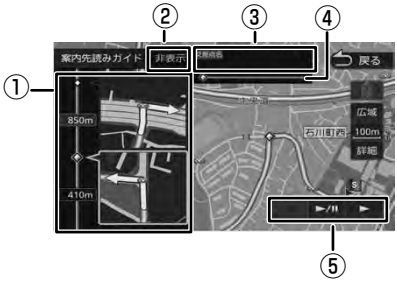
案内先読みガイド表示

ルート案内中に、次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントを見ることができます。

1 **[先読み] をタッチする**

▼

案内先読みガイドが表示されます。



① **案内先読みガイド**

画面下から上にスクロールすると次の案内ポイントから目的地までの最大 99 案内ポイントが 2 ポイントずつ表示されます。

② **[非表示]**

案内先読みガイドの表示を消します。消すと [非表示] は [表示] になります。[表示] をタッチするとガイドを表示します。

③ **交差点名**

①の案内ポイントに交差点名情報があるときに表示します。上段に①の上の交差点名、下段に①の下の交差点名を表示します。

④ **プログレスバー**

案内先読みガイド表示（最大 99）全体の、どのあたりのガイド表示かを表します。

⑤ **オンルートスクロール操作ボタン**

ボタン	説明
►	探索したルートに沿って、順方向へスクロールします。
◄	探索したルートに沿って、逆方向へスクロールします。
►/II	オンルートスクロール中にタッチすると一時停止します。一時停止中にタッチすると一時停止する前の状態に戻ってオンルートスクロールを再開します。

- オンルートスクロール中に地図の拡大、縮小または地図のスクロールをすると一時停止します。

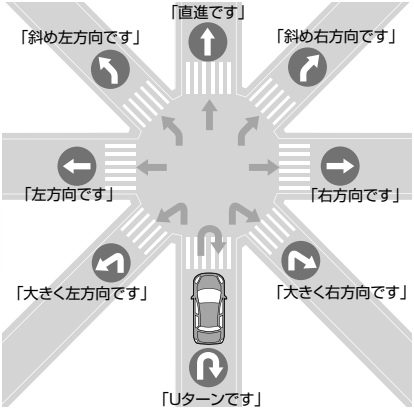
音声案内について

本機はルート案内情報、および走行状況に応じた道路情報の音声案内を行います。

- 音声案内の前には“ジャーン”と案内警告音が鳴ります。案内警告音は鳴らないように設定することができます。(➜ P.109)
- 音声案内の音量調整は 108 ページをご覧ください。
- 音声案内はフロントスピーカーのみ出力します。
- 音声案内時の AV 音量を設定することができます。(➜ P.120)
- ルート案内ポイントの直前では“ポンポン”と音が鳴ります。
- 音声案内は、案内の状況により情報があっても音声案内しない場合があります。

■ 進行方向の音声案内

交差点での進行方向は、次のように案内します。



- 本線を直進する場合でも、左または右に分岐路があると「斜め右方向です」または「斜め左方向です」とアナウンスされる場合があります。
- 道路の形状によっては、実際の進行方向が音声案内と異なる場合があります。

■ 規制考慮探索

規制を回避したルートを再探索したときは、「交通規制があります。新しいルートで案内します。」と案内します。

■ 渋滞回避探索

渋滞を回避してルートを再探索したときは、「交通情報が変わりました。新しいルートで案内します。」と案内します。渋滞回避の探索は設定があります。112 ページをご覧ください。

■ 合流 / 踏切 / 車線の音声案内

走行中の合流、踏切、車線状況に応じて、以下の音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。これらの音声出力の設定は変更することができます。(➜ P.109)

案内の種類	音声
合流案内	この先、左からの合流があります。
	この先、右からの合流があります。
	この先、合流があります。
踏切案内	この先、踏切です。
車線案内	この先、走行する車線にご注意ください。
	この先、走行する車線にご注意ください。左へお寄りください。*
	この先、走行する車線にご注意ください。右へお寄りください。*

(* ルート案内時のみ)

- 合流案内は首都高速などの都市高速のみで音声案内します。入口ランプから本線に合流する地点では音声案内をしません。
- 車線案内は、車線変更が必要なときに行います。道路情報によっては音声案内しない場合もあります。

■ 一時停止の音声案内

一時停止情報がある交差点の手前で、音声案内を行います。(➜ P.109)

音声
この先、一時停止です。

■ VICS 渋滞 /VICS 車線規制の音声案内

前方に VICS 渋滞情報、VICS 車線規制情報がある場合、状況に応じて、音声案内を行います (ルート案内中以外でも音声案内を行います)。

案内の種類	音声
VICS 渋滞案内	およそ○○ km/m 先、(交差点名) を先頭に、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、(交差点名) を先頭に、渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、○○ km/m 渋滞しています。
	およそ○○ km/m 先、渋滞しています。
VICS 車線規制	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。
	およそ○○ km/m 先、車線規制があります。左へお寄りください。

■ 盗難多発地点の音声案内

目的地や現在地付近で盗難が多い場合、音声案内を行います。（現在地付近については、ルート案内中以外でも音声案内を行います）
お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

目的地付近で盗難が多い地点

音声
目的地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

ACC OFF した付近で盗難が多い地点

音声
現在地付近で盗難が多発しています。ご注意ください。

■ リフレッシュ通知

運転開始（本機が電源オン状態のままで）から 90 分ごとに以下の音声案内を行います。

音声
そろそろ 90 分になります。休憩しませんか？

■ 日没ライト案内 / 警告音声案内

日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告を行います。（➜ P.121）

案内の種類	音声
ライト案内	そろそろ日没です。ライトをつけましょう。
ライト警告	無灯火です。ライトをつけてください。

■ スマートフォン置き忘れ警告音声案内

iPhone が USB 接続されているときに、本機の電源をオフにすると以下の音声案内を行います。

音声
携帯電話を忘れていませんか？

逆走注意喚起について

逆走注意喚起とは、インターチェンジ入口、サービスエリア、パーキングエリアなどで逆走（逆方向に車を走らせる）に対する注意を促す機能です。
高速道路 / 有料道路入口を走行しているときと、SA/PA で本機の電源をオフにしてオンにしたときに、画面表示と音声で注意喚起します。
お買い上げ時は注意喚起する設定になっています。注意喚起しないように設定することができます。（➜ P.109）

■ 画面表示

注意喚起は約 5 秒間表示します。
画面をタッチすると表示が消えます。

■ 音声案内

案内の種類	音声
逆走注意喚起	自動車専用道路に入ります。逆走にご注意ください。

- 下記のような条件の場合には、注意喚起しないまたは、タイミングがずれることがあります。また下記以外の状況でも注意喚起が正しく行われない場合があります。
  - 地図画面に表示されない道路や新設された道路、改修などにより形状が変わった道路を走行している場合。また道路だけでなく施設 (SA/PA など) の新設、移動、改修などによって走行する道路条件が変わってしまう場合も注意喚起が正しく行われない場合があります。
  - 高架橋下や高層ビル群地帯、トンネルなど GPS 信号が正しく受信できない場合
  - 旋回、切り返し、その他の走行条件などにより、ナビゲーションが正しい道路に自車位置を表示できない場合
  - サービスエリア、パーキングエリアで本機の電源をオンにしたときは、本機が起動するまで注意喚起しません。
  - 道路条件やインターチェンジの形状によっても案内タイミングが遅れる場合があります。
- 走行の際は、実際の道路状況を確認のうえ、安全に走行してください。

逆走検知について

本機は対象道路と対象エリアで逆走状態を検知すると、画面表示と音声で案内を行います。

■ 対象道路と対象エリア

対象道路種別

- 都市間高速道路
- 有料道路
- 都市高速道路 *

  * 都市高速道路は以下の道路です。
  - 首都高速道路
  - 阪神高速道路
  - 名古屋高速道路
  - 福岡高速道路
  - 北九州高速道路
  - 広島高速道路

対象エリア

- SA
  本線への合流 / 入口分岐付近
  （SA 内の分岐道路を除く）
- PA
  本線への合流 / 入口分岐付近
  （PA 内の分岐道路を除く）
- IC
  本線への合流 / ランプ合流付近
- JCT
  本線への合流 / ランプ合流付近
- スマート IC
  本線直結型（SA/PA 直結型を除く）

■ 画面表示

逆走中は以下の表示が表示されます。

[閉じる] をタッチすると表示が消えます。
【現在地 /AV】を押しても表示を消すことができます。

■ 音声案内

音声
逆走しています。

- 以下のような場合、逆走中でも案内しないことや、順走中に案内する場合があります。
  - GPS 信号を受信できない場合など、自車位置の誤差が大きい場合。
  - 複雑な走行規制、構造のインターチェンジ付近を走行している場合。
  - 地図データベースにはない道路や、形状が変更された道路を走行している場合。
- 案内は状況によって正しく行われないことがあります。
- 実際の道路状況を確認して、交通規制に従って走行してください。
- 逆走の案内は一般道では行われません。確認のうえ、安全に走行してください。

ルートを再探索する

現在地から、探索条件（推奨、距離、高速、一般、高速 / 距離）を変更して、ルートを再探索します。

1 【HOME】を押して［ルート］をタッチする

2 ［再探索］をタッチする

3 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

選択したルートでルート案内が開始されます。

- 乗降 IC を指定しているときは、ルートの種類を変更することができません。ルートの種類を変更して再探索したいときは乗降 IC の指定を解除してください。

ルートを編集する

経由地の追加や順番の入れ替え、削除など、ルートの編集ができます。

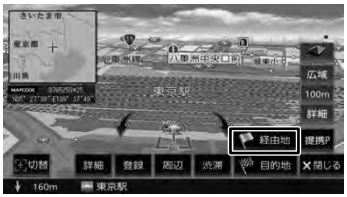
経由地を追加する

ルートの途中に立ち寄る地点（経由地）を追加します。経由地は 5 か所まで追加できます。

- 目的地が設定されていないときは経由地を設定できません。

ここまでの手順 ➤ 経由地にしたい行き先を検索する

1 ［経由地］をタッチする



2 経由地の挿入位置を確認し、［決定］をタッチする

ルートの探索が始まります。
挿入位置の変更や削除については 58 ページをご覧ください。

3 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

［到着順変更］：
到着順を編集することができます。編集操作は後述の「目的地・経由地の順番を入れ替える」をご覧ください。

▼

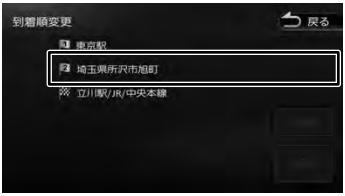
新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地の順番を入れ替える

行き先（目的地・経由地）の順番を変更します。目的地と経由地が設定されているときに順番を変更できます。

1 【HOME】を押して［ルート］をタッチして［到着順変更］をタッチする

2 順番を変更する行き先をタッチする



3 移動先の［挿入］をタッチする

4 ［再探索］をタッチする

［やり直す］：
到着順の編集を中止し、元の並び順に戻します。

5 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

目的地・経由地を削除する

- 削除した地点は元に戻せません。間違えのないように、慎重に操作してください。
- 目的地を削除すると、最後の経由地が目的地になります。

1 【HOME】を押して［ルート］をタッチして［到着順変更］をタッチする

2 削除する行き先をタッチする

3 ［削除］をタッチする

選択した行き先が削除されます。

4 ［再探索］をタッチする

5 探索条件を選んで［案内開始］をタッチする

新しいルートで案内が開始されます。

利用するインターチェンジを変更する

探索された入口または出口 IC（インターチェンジ）以外の IC を利用するように指定できます。

1 【HOME】を押して［ルート］をタッチして［再探索］をタッチする

2 変更したい入口または出口 IC をタッチする

3 入口または出口に指定する IC 名を地図に直接タッチして選ぶ

［切替］：
タッチした地点に複数の情報があった場合に表示されます。タッチするたびに情報が切り替わり、このボタンで選択することもできます。

- 変更したい IC を中心とした半径 40km 以内にある IC(最大 36 件まで) を選ぶことができます。

4 ［この IC に変更］をタッチして［はい］をタッチする

指定した IC を通過するルートが探索されます。

つづく➜

5 ［案内開始］をタッチする

- 手順 4 で違う路線または進行方向と逆方向の IC を選択していると、確認メッセージが表示されます。
- 経由地を設定しているときに、乗降 IC を指定しようとすると、確認メッセージが表示され、［はい］をタッチすると経由地が解除されます。
- 乗降 IC を指定しているときに、経由地を設定しようとすると確認メッセージが表示され、［はい］をタッチすると乗降 IC の指定が解除されます。
- 現在地と指定した IC の位置によっては、指定した IC が入口 / 出口にならないルートを探索する場合があります。
- 指定した IC 付近で本機の電源をオフ / オンした場合、IC の指定が解除される場合があります。

変更したインターチェンジを元に戻す

1 【HOME】を押して［ルート］をタッチして［再探索］をタッチする

2 ［IC 変更を解除］をタッチする

変更する前のインターチェンジを利用するルートで再探索します。

3 ［案内開始］をタッチする

走行中のルートを表示する

現在案内中のルートの全体地図や、ルート情報を表示します。また、ルートを走行したときのシミュレーションを確認できます。

ルート全体を表示する

ルート全体を地図画面で表示します。

1 【HOME】を押して［ルート］をタッチして［ルート表示］をタッチする

［ルート情報］：ルート上にあるインターチェンジ、ジャンクションや道路の名称、距離などの情報を表示します。

［デモ走行］：地図やルート、画面表示や音声でのルート案内を確認することができます。

［×1］/［×2］/［×3］：
デモ走行のスピードを変更できます。

［デモ終了］：デモ走行を終了します。

- デモ走行中の画面は、通常の走行中の画面と同様に地図の縮尺や向きなどを変えることができます。

目的地を表示する

目的地、経由地付近の地図画面を表示できます。

1 【HOME】を押して［ルート］をタッチして［目的地表示］をタッチする

2 表示する目的地または経由地をタッチする

経由地が設定されていないときは、リストは表示されません。

ルート案内を終了する

ルート案内を途中で終了します。

1 【HOME】を押して［ルート］をタッチして［案内終了］をタッチする

メッセージが表示されます。

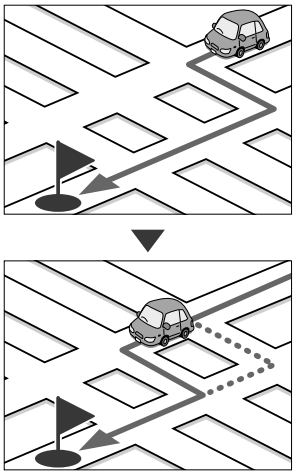
2 ［はい］をタッチする

ルート案内が終了し、現在地図画面が表示されます。

- ルート案内を終了しても、スタート地点、経由地、目的地の旗は消えません。旗を消したい場合は、新たにルート案内を開始するか、本機の電源を入れなおしてください。

ルートから外れたときは

案内中のルートから外れた場合、オートリルート機能によって自動的に新しいルートが探索され、案内が再開されます。ルートの再設定などの操作は必要ありません。



地点を登録する

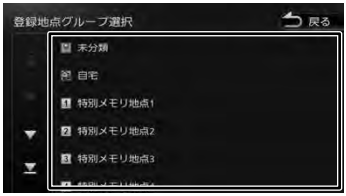
地点を登録する

地図のスクロールや目的地検索画面から探した地点を本機に登録します。
本機には 300 件まで地点を登録できます。

1 登録したい場所の地点情報画面を表示する

2 ［登録］をタッチする

3 登録するグループ名をタッチする



4 ［決定］をタッチする

この画面で登録する名称を編集することができます。文字の入力方法は 25 ページをご覧ください。

- 名称は、後からでも編集することができます。(➜ P.63)

登録した地点をリストで見る

本機に登録した場所をリストで確認します。

1 「目的地検索」画面の［登録地点］をタッチする

2 見たい地点情報のグループ名をタッチする

▼

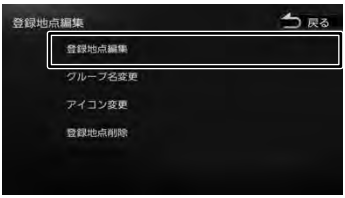
登録地点がリストで表示されます。

登録地点を編集する

本機に登録した地点の名称や電話番号、グループを編集できます。

1 【HOME】を押して［情報・設定］をタッチして［登録地点編集］をタッチする

2 ［登録地点編集］をタッチする



3 編集したい地点のグループ名をタッチする

4 編集したい地点をタッチする

5 編集したい項目をタッチして編集する

● **名称を編集する**

名称欄をタッチして名前を入力して［決定］をタッチします。

● **グループを変更する**

グループ欄をタッチして設定したいグループをタッチします。

● **電話番号を設定および変更する**

電話番号欄をタッチして電話番号を入力して［決定］をタッチします。

- 登録地点の住所は編集できません。
- 文字の入力方法については 25 ページをご覧ください。
- 電話番号は 15 文字まで入力できます。
- 電話番号のハイフン「－」は省略することもできます。
- 自宅が設定されているときに、別の地点をグループ変更で自宅に設定しようとすると確認メッセージが表示されます。
- 名称には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

グループを編集する

登録した地点のグループ（登録先）のグループ名とグループアイコンを編集できます。

- 「未分類」、「自宅」、「特別メモリ地点 1 ～ 5」のグループ名とグループアイコンの変更はできません。
- グループ名には、漢字、ひらがな、カタカナ、英数字、記号で 48 文字まで入力できます。

1 「登録地点を編集する」（➜ P.63）の手順2の画面を表示する

● **グループ名を編集する**

［グループ名変更］をタッチして編集したいグループをタッチします。グループ名を編集して［決定］をタッチします。

● **グループアイコンを変更する**

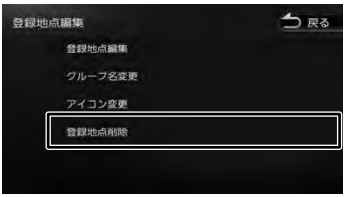
［アイコン変更］をタッチしてアイコンを変更したいグループをタッチします。
変更したいアイコンをタッチします。

登録地点を削除する

- 削除した登録地点を元に戻す方法はありません。間違えのないように、慎重に操作してください。

1 「登録地点を編集する」（➜ P.63）の手順2の画面を表示する

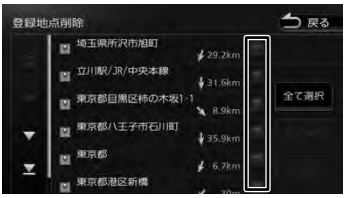
2 ［登録地点削除］をタッチする



3 削除したい地点のあるグループ名をタッチする

4 削除したい地点を選ぶ

複数の地点を選択することもできます。



［全て選択］：
リスト内のすべての地点を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての地点の選択を解除します。

5 ［削除］をタッチする

6 ［はい］をタッチする

選択した登録地点が削除されます。

AV の基本操作

ソースを切り替える

ソース切替画面でソース（音源）を切り替えます。

1 【HOME］を押して［ソース切替］をタッチする

ソース切替画面が表示されます。

2 切り替えたいソースをタッチする

[iPod]：
iPod の曲を再生します。（➜ P.68）

[USB]：
USB 機器のオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.70）

[SD]：
SD カードのオーディオ / ビデオファイルを再生します。（➜ P.70）

[マルチ AV ブラウザ]：
マルチ AV ブラウザソースは、USB 機器、SD カードにあるそれぞれの曲またはビデオを表示し、カテゴリーから選択して再生することができます。（➜ P.84）

[DISC]：
CD や DVD、オーディオファイルを保存した CD-R などのディスクを再生します。（➜ P.86）

[地デジ]：（SKX-S805/KXM-E505W のみ）
地上デジタル TV 放送を受信します。（➜ P.92）

[FM]：
FM ラジオ放送を受信します。（➜ P.96）

[AM]：
AM ラジオ放送を受信します。（➜ P.96）

[Bluetooth AUDIO]：
本機に接続した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを再生します。（➜ P.136）

[SMART USEN]：
カーナビ連携アプリケーション「SMART USEN」をインストールしたスマートフォンを接続すると本機でチャンネル選択などの操作をすることができます。（➜ P.98）

[交通情報]：
交通情報放送を受信します。（➜ P.97）

[STANDBY]：
ソースをすべてオフにします。

- DISC ソース以外は機器を接続したり、SD カードを挿入してもソースは自動で切り替わりません。

■ AV 画面からソース切替画面を表示する

AV 画面左上のソース名をタッチするとソース切替画面を表示します。

ソースをオフ（STANDBY）にする

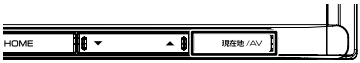
1 ソース切替画面で［STANDBY］をタッチする

- ソースをオンにするには、ソース切替画面でソースを選択します。

現在地図画面から AV 画面を表示する

1 【現在地 /AV】を押す

SKX-S805



KXM-E505W/KXM-E505W2

「K2テクノロジー」を使う

各ソースの AV画面に「K2テクノロジー」をオン /オフする [K2]ボタンがあります。
チェックを付けると、録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。
アナログソースにおいても「K2テクノロジー」のボタンがタッチできるようになっています。より高音質にお楽しみいただけるよう、本機ではすべてのソースで高解像度なデジタル処理をしています。「K2テクノロジー」をオンにすることにより、本来の音に復元することが可能となります。

- 「K2テクノロジー」は、株式会社 JVCケンウッドと株式会社 JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントが共同開発した、音源のデジタル化における高音質化情報処理技術です。時間軸上で変化する波形情報の解析技術などのオリジナルテクノロジーで、音楽制作のプロフェッショナルであるビクタースタジオのエンジニア達の音質評価をクリアし、限りなくオリジナルマスター音源の忠実な再生を目指した技術です。
- 「サウンド設定」の [音質・音場効果] でも設定できます。(➜ P.119)

パッセンジャースリープ機能を使う

助手席や後部座席の搭乗者が眠っているときに使用します。運転席以外の席では搭乗者がうるさく感じない音質にし、運転席では音像バランスを維持できる音になります。

- パッセンジャースリープ機能を使用するには、運転席の位置を 120 ページの「ハンドル」で設定する必要があります。
- 各ソースの AV 画面に「Pスリープ」をオン /オフするボタンがあります。チェックを付けると、パッセンジャースリープ機能がオンになります。

- パッセンジャースリープ機能がオン中は、サウンド設定を変更できません。(➜ P.114)

画質を調整する

画面に表示する映像の画質を調整します。

1 調整する映像ソース画面を表示する

2 [映像調整] をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

3 [−] または [＋] をタッチして各項目を調整する

コントラスト：
コントラストを調整します。
- [+]：コントラストが強くなります。
- [−]：コントラストが弱くなります。

ブライトネス：
明るさを調整します。
- [+]：明るくなります。
- [−]：暗くなります。

色の濃さ：
色の濃淡を調整します。
- [+]：色が濃くなります。
- [−]：色が淡くなります。

色合い (カメラ映像 / ドライブレコーダー映像のみ)：
色合いを［+］/［−］で調整します。

- 地図画面の画質は調整できません。
- ［非表示］をタッチすると、操作ボタンを消すことができます。
- カメラ映像の画質を調整しているときに［戻る］をタッチすると、カメラの操作画面に戻ります。

映像の画面表示サイズを変更する

画面に表示する映像のサイズを変更します。

- カメラ映像、地デジ（SKX-S805/KXM-E505W のみ）の映像またはドライブレコーダーの映像は、画面表示サイズの変更はできません。

1 サイズを変更する映像ソース画面を表示する

2 ［映像調整］をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

3 「アスペクト」の ◀ または ▶ をタッチして、サイズを調整する

レギュラー：
4:3 の比率で表示します。

フル：
画面いっぱいに表示します。

オリジナル：
映像の比率はそのままに、画面の縦か横いっぱいに表示します。

オート：
16:9 の映像はフルで、4:3 の映像はレギュラーで表示します。

つづく➜

■ **映像サイズイメージ**

	16：9 画像	4：3 画像	その他	
レギュラー				
フル				
オリジナル				
オート	4:3 画像はレギュラーに、16:9 画像はフルに自動的に切り替えます。			

- オリジナルは SD、USB、マルチ AV ブラウザソースのみ設定できます。
- オートは DVD 再生時のみです。

iPod の曲を再生する

- iPod ソース中にコントロールできるのは音楽再生のみです。ビデオの再生コントロールはできません。
- iPod ソースで iPod を再生するときの接続方法は、USB 接続または Bluetooth 接続です。USB 接続の場合は iPod/iPhone に付属の接続ケーブルで接続します。Bluetooth 接続の場合は Bluetooth の登録を行ってください。（➜ P.127）

- iPod 接続ケーブルを接続する USB ケーブルは、本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

iPod を取り外す

ソースを iPod 以外に切り替えてから、iPod を取り外します。
iPod ソースのまま取り外すと、iPod 内のデータが破損する場合があります。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを iPod に切り替える（➜ P.65）

- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

① 曲名
アルバム名
アーティスト名
アルバムアート画像

② 再生時間

③ 接続方法

④ シークバー

⑤ ランダム再生モード

⑥ リピート再生モード

⑦ 再生状態

⑧ 再生残り時間

⑨ 曲番号 / 全曲数

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(➜ P.66)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➜ P.66)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

▼

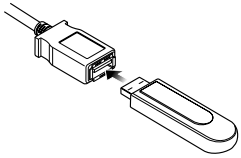
サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替] (Bluetooth 接続時のみ)	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
⤮	タッチするたびにシャッフル再生モードが切り替わります。 • ⤮ OFF： シャッフル再生モードを解除します。 • ⤮ 曲： リスト内の曲をシャッフル再生します。
⟲	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ⟲ OFF： リピート再生モードを解除します。 • ⟲ ALL： リスト内のすべての曲をくり返し再生します。 • ⟲ 1： 再生中の曲をくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

USB 機器 /SD カードのファイルを再生する

USB 機器を接続する



- 本機で再生できる USB 機器は 173 ページをご覧ください。「USB 機器使用上のご注意」もお読みください。
- 本機では USB ケーブルに USB ハブを接続して複数の USB 機器を接続することができます。USB ハブをご使用になる場合は 174 ページの「USB ハブの使用について」を必ずお読みください。
- 複数の USB 機器を接続した場合は、USB の AV 画面で再生する USB 機器を切り替えることができます。(➜ P.72、P.73)

- USB ケーブルは本機の背面から出ています。見当たらない場合は、グローブボックスなどに配線されていることがありますので、ご確認ください。

USB 機器を取り外す

ソースを USB 以外に切り替えてから、USB 機器を取り外します。
USB ソースのまま取り外すと、USB 機器内のデータが破損する場合があります。

SD カードを入れる / 出す

- 本機で再生できる SD カードは 173 ページの「本機で再生できる SD カード」をご覧ください。「SD カード使用上のご注意」もお読みください。

- フルオープンの状態で SD カードを挿入しても、フロントパネルは自動的に閉じません。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。
- SD カードが正しく挿入されていないとフロントパネルを閉じることができません。SD カードを奥まで差し込んでください。

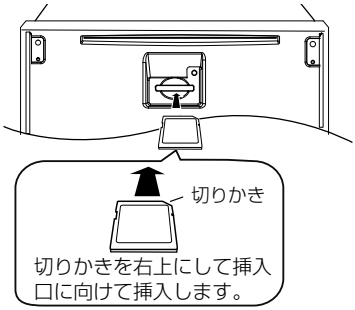
1 【 ⏏ 】(オープンキー) を押す

2 [フルオープン] をタッチする

フロントパネルが開きます。

3 SD カードを挿入口に入れる、または出す

入れるときは、SD カードが突き当たるまで奥に差し込んでください。
出すときは SD カードをいったん押し込んでから、つまんで引き出します。



4 音量以外のキーを押してパネルを閉じる

画面の見かたと操作

USB 機器または SD カードに保存されているオーディオファイル / ビデオファイルを再生します。

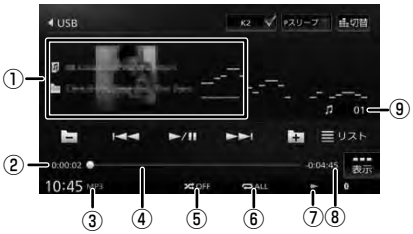
- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

ここまでの手順

ソースを USB または SD に切り替える（➜ P.65）

オーディオファイルの AV 画面

USB



SD

① 曲名（ファイル名）
アルバム名（フォルダ名）
アーティスト名
アルバムアート画像

② 再生時間

③ 音声形式

④ シークバー

⑤ ランダム再生モード

⑥ リピート再生モード

⑦ 再生状態表示

⑧ 再生残り時間

⑨ ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。（➜ P.66）
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➜ P.66）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
− / +	前または次フォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 • 再生リストについては 74 ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

▼

USB

SD

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
[デバイス切替]（USB のみ）	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリー DB 更新]	再生中の USB 機器または SD カードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。（➜ P.74）
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • OFF： ランダム再生モードを解除します。 • フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 • 曲（カテゴリーデータベース再生のみ）： 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 • 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 • フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ）： 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

ビデオファイルの AV 画面

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

▼

USB

SD

操作ボタンは一定の時間が過ぎると消えます。

画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **ファイル名**
　フォルダ名

② **再生時間**

③ **映像形式 / 音声形式**

④ **シークバー**

⑤ **ランダム再生モード**

⑥ **リピート再生モード**

⑦ **再生状態アイコン**

⑧ **再生残り時間**

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。 (➜ P.66)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➜ P.66)
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。 (➜ P.67)
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮/⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
−/+	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[リスト]	再生リストを表示します。 • 再生リストについては 74 ページをご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

▼

USB

SD

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

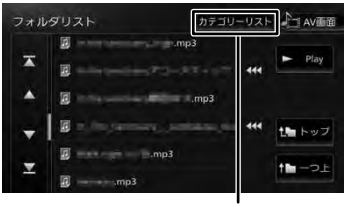
ボタン	説明
[デバイス切替] (USB のみ)	複数の USB 機器を接続しているときに、再生する USB 機器を切り替えます。
[カテゴリー DB 更新]	再生中の USB 機器または SD カードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。 (➜ P.74)
⤮	• ⤮ OFF : ランダム再生モードを解除します。 • ⤮ フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ）: 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをランダム再生します。 • ⤮ 曲（カテゴリーデータベース再生のみ）: 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
⟲	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ⟲ ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 • ⟲ 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。 • ⟲ フォルダ（パソコンで保存したファイル再生のみ）: 再生中のファイルが含まれるフォルダ内のすべてのファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

再生リストと再生モードについて

USB ソースおよび SD ソースの再生には以下の再生モードがあります。再生リストを表示して、モードのリストを切り替えるボタンをタッチするたびにリストが切り替わります。ただし、該当するデータがない場合は切り替わりません。

1 [リスト] をタッチする

2 モードを切り替えるボタンをタッチする



モードを切り替えるボタン

● 再生モード

再生リスト	再生モード
フォルダリスト	パソコンで保存したファイルをそのままの状態で再生します。 [トップ]、[一つ上] をタッチするとフォルダが表示されます。
カテゴリーリスト	本機でカテゴリーデータベースを作成した USB 機器または SD カードをカテゴリーから選んで再生します。 [トップ]、[一つ上] をタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。
録音データ (SD のみ)	本機で SD カードに録音したデータを再生します。 [トップ]、[一つ上] をタッチするとアーティスト、アルバムなどのカテゴリーが表示されます。

- カテゴリーデータベースモードは、データベースを作成する必要があります。(➜ P.74)
- SD カードに録音された録音データのカテゴリーデータベースは自動で作成、更新されます。

カテゴリーデータベースから曲またはビデオを再生する

リストから曲またはビデオを再生するときに、アルバム、アーティストなどタグ情報をもとにカテゴリーから曲またはビデオを再生できます。

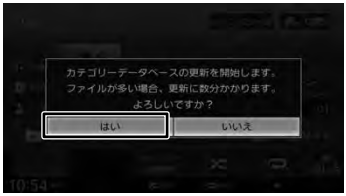
カテゴリーデータベースを作成する

- カテゴリーデータベースの作成、更新は、USB 機器、SD カードに入っているファイルの数によっては時間がかかる場合があります。
- カテゴリーデータベース作成、更新中は他の操作はできません。
- カテゴリーデータベースを更新すると、USB 機器または SD カードに _ContentsDB フォルダが作成されます。_ContentsDB フォルダ内にあるデータをパソコンなどで変更または削除しないでください。正しくファイルが再生できなくなります。
- カテゴリーデータベースは最大 15000 曲登録することができます。

1 サブ機能ボタンの [カテゴリー DB 更新] をタッチする

メッセージが表示されます。

2 [はい] をタッチする



カテゴリーデータベースが作成されます。

カテゴリーモードで再生する

1 [リスト] をタッチする

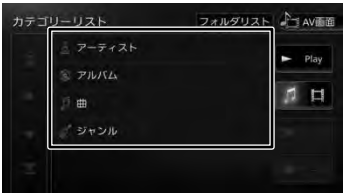
2 フォルダリスト画面の [カテゴリーリスト] をタッチする

3 (ビデオリスト)または (ミュージックリスト) を選ぶ

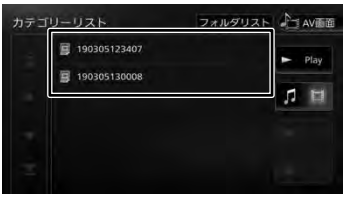
4 再生するファイルを選ぶ

■ 曲の場合

各カテゴリーから曲を選択します。



■ ビデオの場合



Play :
該当するリストの先頭ファイルから再生されます。

[トップ]：(ミュージックリストのみ)
一番上の階層のリストに移動します。

[一つ上]：(ミュージックリストのみ)
一つ上の階層のリストに移動します。

音楽 CD を SD カードに録音する

- 再生中の音楽 CD を SD カードに録音します。
- 録音中は、地デジ（SKX-S805/KXM-E505W のみ）と SD、マルチ AV ブラウザは選択することができません。
- 録音中に電源をオフにしないでください。ファイルが消えてしまったり、SD カードが破損するおそれがあります。電源をオフにしたい場合は、録音を中止してから行ってください。
- 録音中に録音を中断しても、それまでに録音を完了しているデータは保存されます。
- 録音ファイルは、次のように名前が付けられます。
  - タイトル名：_Track_（トラック番号）_（年）_（月日）_（時刻）
  - アルバム名:_Album_（年）_（月日）_（時刻）
  - アーティスト名:_Artist_(年)_(月日)_(時刻)

  なお、年（西暦）、月日、時刻（24 時制）は、その音楽 CD が初めて録音されたときの開始時点のものです。
- 楽曲情報は本機で編集することができます。また、カーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Music Info.」を使って楽曲情報を取得することもできます。(➜ P.138)
- 録音中は、「録音先」、「録音音質」は設定できません。

■ 録音可能曲数について

録音可能曲数は、録音品質によって異なります。

- SD カード（8GB の場合）：
  標準音質 … 約 2000 曲
  高音質 … 約 1000 曲

■ 録音可能アルバム数について

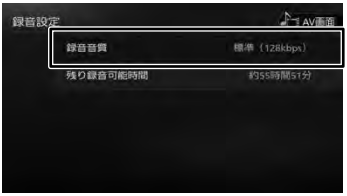
最大 999 枚録音できます。

録音設定をする

音楽 CD から録音するときの録音音質を設定します。

1 音楽 CD の AV 画面を表示して、サブ機能ボタンの［録音設定］をタッチする

2 [録音音質] をタッチする



3 録音音質を選択する

[標準　(128kbps)]：
標準の音質で録音します。

[高音質　(256kbps)]：
高音質で録音します。

録音する

音楽 CD を再生しながら、SD カードに最大約 4 倍速で録音します。

- 録音中にエンジンを切ったり、スタートしないでください。ファイルが消えてしまったり、SD カードが破損するおそれがあります。
- エンジンを切ったりスタートさせたいときは、録音を中止してください。
- SD カードが本機に挿入されていないと録音できません。

1 ソースを DISC に切り替えて、録音したい音楽 CD を再生する

2 [録音] をタッチする

CD 録音画面が表示されます。

3 録音する曲をタッチする

[全て選択] / [全て解除]：
録音する曲の選択を、すべて選択、解除できます。

4 [録音開始] をタッチする

確認メッセージが表示されます。

5 [はい] をタッチする

録音が開始されます。

[録音停止]：
録音を停止して、ディスクの 1 曲目から再生します。

▼

すべての録音が終了すると、[録音モード終了] ボタンが表示されます。[録音モード終了] をタッチして [はい] をタッチすると、ディスクの 1 曲目から再生されます。
録音データを再生するには、ソースを SD にします。

- 手順 3 で、すでに録音されている曲を選択すると、メッセージが表示され、録音データが上書きされます。
- 録音中に [リスト] をタッチすると、録音状況が次のアイコンで表示されます。
  - ：録音済みの曲
  - ：録音中の曲（赤）
  - ：録音予定の曲（エンジ）
  - ：録音予定がない曲（グレー）
  - ：エラーが発生して録音されなかった曲
- 録音中はプログレスバーを表示します。シークバーのような操作はできません。

録音したデータを再生する

ソース切替画面でSDを選択します。SDの録音データを再生する場合は、再生モードを「録音データ」にしてください。(➜ P.74)

- ジャンルの画像、アルバムアート画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。

ここまでの手順

ソースをSDに切り替える(➜ P.65)

① 曲名（ファイル名）
アルバム名（フォルダ名）
アーティスト名
アルバムアート画像

② 再生時間

③ シークバー

④ ランダム再生モード

⑤ リピート再生モード

⑥ 再生状態表示

⑦ 再生残り時間

⑧ ファイル番号

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。(➜ P.66)
[Pスリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➜ P.66)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮/⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生リストを表示します。 • 再生リストについては74ページの「再生リストと再生モードについて」をご覧ください。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

▼

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[タイトル編集]	録音データのタイトルを編集します。
[録音データ削除]	録音データを削除します。
[カテゴリーDB更新]	再生中のUSB機器またはSDカードの、カテゴリーデータベースの作成または更新をします。(➜ P.74)
⤮	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • ⤮ OFF： ランダム再生モードを解除します。 • ⤮ 曲： 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。
⟲	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ⟲ ALL: 再生中のリスト内のファイルをくり返し再生します。 • ⟲ 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

録音データのタイトルを編集する

SD カードに録音したデータのタイトル（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル、アルバムアートワーク）を編集します。

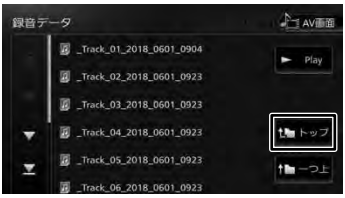
ここまでの手順

ソースを SD に切り替える（➜ P.65）

SD の録音データを再生する場合は、再生モードを「録音データ」にしてください。（➜ P.74）

1 ［リスト］をタッチする

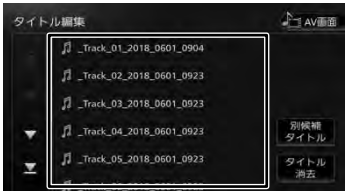
2 ［トップ］をタッチする



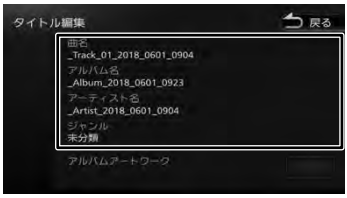
3 アルバム名をタッチして編集したい曲が含まれるアルバムを再生する

4 サブ機能ボタンの［タイトル編集］をタッチする

5 編集したい曲をタッチする



6 編集したい項目をタッチする



曲名：
文字入力の画面が表示されます。

アルバム名：
文字入力の画面が表示されます。
変更したアルバム名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。

アーティスト名：
文字入力の画面が表示されます。
編集すると確認メッセージが表示されます。
［はい］：
編集したアーティスト名は同一アルバム内のすべての曲に反映されます。
［いいえ］：
編集している曲のみに反映されます。

ジャンル：
リストから選択します。
選択すると確認メッセージが表示されます。
［はい］：
選択したジャンルは同一アルバム内のすべての曲に反映されます。
［いいえ］：
編集している曲のみに反映されます。

アルバムアートワーク：
録音データにお好みの画像をアートワークとして表示させることができます。

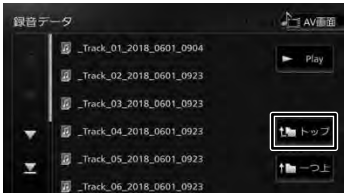
- 入力可能最大文字数は、曲名 / アルバム名 / アーティスト名とも 128 文字です。
- 文字入力については 25 ページをご覧ください。
- 手順 5 の［別候補タイトル］はカーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Music Info.」で使用します。（➜ P.138）

タイトルを消去する

編集したアルバム内すべてのタイトル（曲名、アルバム名、アーティスト名、ジャンル）を消去することができます。

1 ［リスト］をタッチする

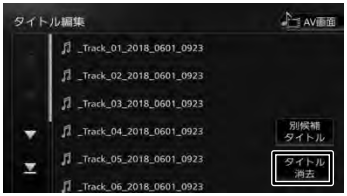
2 ［トップ］をタッチする



3 アルバム名をタッチしてタイトルを消去したいアルバムの曲を再生する

4 サブ機能ボタンの［タイトル編集］をタッチする

5 ［タイトル消去］をタッチする



確認メッセージが表示されます。

［はい］：
現在の曲を含むアルバム内すべてのタイトルを消去します。

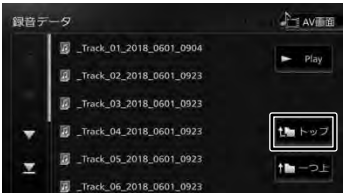
［いいえ］：
消去しません。

アルバムアートワークとして画像を表示させる

録音データを再生するときにアルバム単位で、SDカードまたはUSB機器に保存したお好みの画像ファイル（JPEGまたはPNGのデータサイズ650KB以下）をアートワークとして表示させることができます。

1 ［リスト］をタッチする

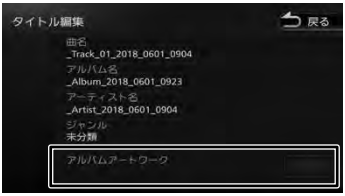
2 ［トップ］をタッチする



3 アートワーク画像を表示させたいアルバム名をタッチしてアルバムの曲を再生する

4 サブ機能ボタンの［タイトル編集］をタッチする

5 ［アルバムアートワーク］をタッチする



6 ［デバイス切替］をタッチして画像を保存しているデバイスを選択する

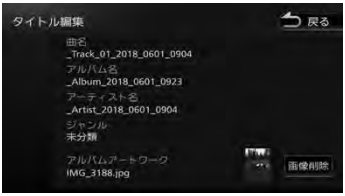
7 アートワークにしたい画像を選ぶ

▼

録音データの再生画面でアルバムアートワークが表示されるようになります。

アートワークを削除する

1 「アルバムアートワークとして画像を表示させる」（➜ P.80）の手順 5 まで操作する



2 ［画像削除］をタッチして、［はい］をタッチする

▼

アートワークが削除されます。

録音データを削除する

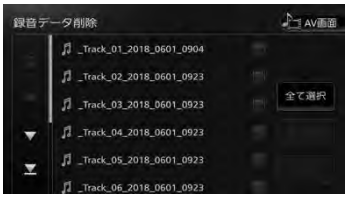
SD カードに録音したデータを削除します。
事前に SD カードの再生モードを「録音データ」に切り替えておいてください。（➜ P.74）

ここまでの手順

ソースを SD に切り替える（➜ P.65）

1 サブ機能ボタンの［録音データ削除］をタッチする

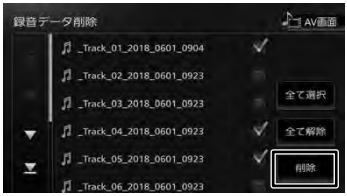
2 削除するデータを選んでタッチする



［全て選択］：
すべての曲を選択します。

［全て解除］：
すべての曲の選択を解除します。

3 ［削除］をタッチして、［はい］をタッチする



楽曲情報を取得する

音楽 CD を再生したとき、または録音したファイルに、iPhone または Android 対応のカーナビ連携アプリケーション「KENWOOD Music Info.」を使ってインターネット上にある楽曲情報データベースにアクセスし、楽曲情報を取得して表示することができます。

1 App Store または Google Play から「KENWOOD Music Info.」をスマートフォンにダウンロードする

2 ダウンロードした「KENWOOD Music Info.」アプリを起動する

利用規約の画面が表示されます。

3 画面をスクロールして利用規約を確認、同意の上［同意する］をタッチする

4 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

iPhone に付属の接続ケーブルを使用して本機の USB ケーブルに接続します。
また、Bluetooth で接続することもできます。
Bluetooth 接続には設定が必要です。
(➜ P.127)

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。
(➜ P.127)

- この機能をご使用の場合には、スマートフォンの通信料金が発生します。パケット定額料金プランをおすすめします。

音楽 CD の楽曲情報の場合は、スマートフォンが正しく接続できた時点でインターネット上にある楽曲情報データベースにアクセスし、挿入されている音楽 CD の情報が自動で表示されます。

録音したファイルの場合は、手順 5 に進んでください。
音楽 CD の場合は、楽曲情報を取得し直す場合や、自動で情報が表示されないときに手順 5 に進んで情報を取得してください。

5 ソースを切り替えて、AV 画面を表示する

音楽 CD の楽曲情報を取得するとき：
ソースを「DISC」に切り替え、AV 画面を表示して再生します。

録音した曲の楽曲情報を取得するとき：
ソースを「SD」に切り替え、AV 画面を表示し、再生モードを「録音データ」にして情報を取得したい曲を再生します。(➜ P.74)

6 ［表示］をタッチしてサブ機能ボタンを表示する

DISC

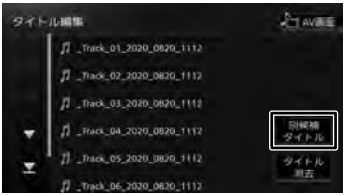
SD

7 DISC の場合は［タイトル検索］、SD（録音データ）の場合は、［タイトル編集］をタッチする

DISC

SD

8 ［別候補タイトル］をタッチする



9 ［楽曲情報取得］をタッチする

10 取得したい楽曲情報をタッチする

アルバム内の取得した楽曲情報が入ったリストが表示されます。

タイトルを消去する

取得した楽曲情報を消去することができます。

1 左記手順 8 のリスト表示画面で [タイトル消去] をタッチする

▼

確認メッセージが表示されます。

2 ［はい］をタッチする

現在の曲を含むアルバム内すべてのタイトルを消去します。

マルチ AV ブラウザを使う

画面の見かたと操作

マルチ AV ブラウザソースは、USB 器機、SD カードにあるそれぞれの曲またはビデオを表示し、カテゴリーから選択して再生することができます。

USB 機器と SD カードの曲またはビデオを再生するにはカテゴリーデータベースを作成する必要があります。カテゴリーデータベースの作成については 74 ページをご覧ください。

- カテゴリーデータベースを一度も作成していない USB 機器を接続または SD カードを挿入すると、「カテゴリーデータベースがありません。各ソース毎に作成してください。」と表示されます。
- アルバムアートの画像は、情報があるときに表示されます。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。

ここまでの手順

ソースをマルチ AV ブラウザに切り替える（➜ P.65）

① 曲名

アルバム名

アーティスト名

アルバムアート画像

② 再生時間

③ 音声形式または映像形式

④ シークバー

⑤ ランダム再生モード

⑥ リピート再生モード

⑦ 再生状態

⑧ 再生残り時間

⑨ 曲番号 / 全曲数

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。（➜ P.66）
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➜ P.66）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[トップ]	再生中のリストのトップを表示します。
[リスト]	再生中のリストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

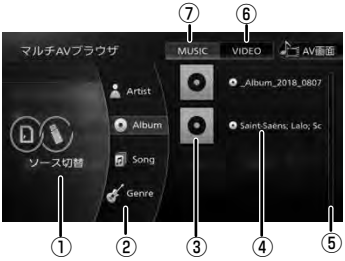
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
⤮	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • ⤮ OFF： ランダム再生モードを解除します。 • ⤮ 曲： 再生中のリスト内のファイルをランダム再生します。

ボタン	説明
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL: すべてのファイルをくり返し再生します。 • 1: 再生中のファイルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

リストから曲またはビデオを再生する

1 ［トップ］または［リスト］をタッチする



① **ソース切替：**
SD、USB をそれぞれタッチするたびに表示するかしないかを選択できます。

② **カテゴリー：**
アーティスト / アルバム / 楽曲 / ジャンルから選択できます。

③ **アルバムアート画像：**
情報にアルバムアートがある場合に表示されます。

④ **曲またはビデオファイル**

⑤ **スクロールバー**

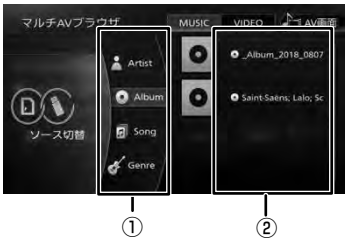
⑥ **ビデオリストに切り替える**

⑦ **曲リストに切り替える**

2 [MUSIC] または [VIDEO] をタッチする

3 表示するソースを選択する

4 再生したいカテゴリー（①）を選んで、ファイル（②）を選ぶ



CD・オーディオファイルディスクを再生する

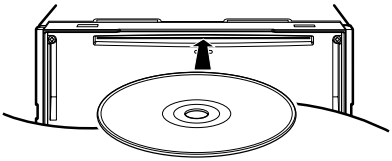
ディスクを入れる / 出す

- ディスクを挿入すると、フロントパネルは自動的に設定されている角度に戻ります。
- フロントパネルを開いたまま走行しないでください。フロントパネルを開いたまま走行すると、衝突時にけがをする原因となります。安全のためフロントパネルを閉じてください。

1 【⏏】（オープンキー）を押す

2 ［DISC］をタッチする

3 ディスクを挿入口に入れる



フロントパネルが自動的に閉じます。
ソースが「DISC」に切り替わります。

ディスクを取り出す

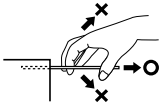
1 【⏏】（オープンキー）を押す

2 ［DISC］をタッチする

フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

3 ディスクを取り出す

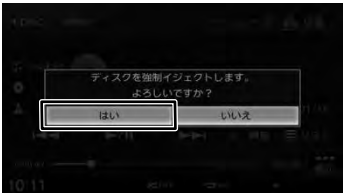
- ディスクが排出された後、ディスクを取り出さないと、約 15 秒後に自動的に引き込まれます。
- 本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。下側や上側に強く押しながら引き出すとディスクの記録面に傷を付ける原因となります。



ディスクを取り出せないときは

1 【⏏】（オープンキー）を押し続ける

2 ［はい］をタッチする



フロントパネルが開き、ディスクが排出されます。

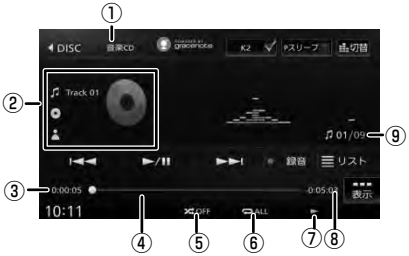
3 ディスクを取り出す

画面の見かたと操作

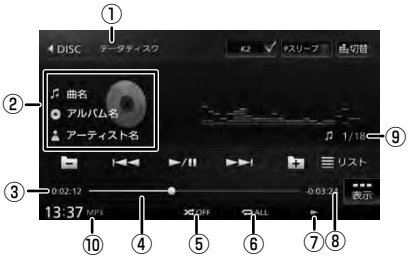
音楽 CD またはオーディオファイルディスクを再生します。

ここまでの手順
ソースを DISC に切り替える（➜ P.65）

音楽 CD



オーディオファイルディスク



① ディスクの種類

② 音楽 CD：

♫ トラック番号

オーディオファイルディスク：

♫ 曲名（ファイル名）

アルバム名（フォルダ名）

アーティスト名

アルバムアート画像

③ 演奏時間

④ シークバー

⑤ ランダム再生モード

⑥ リピート再生モード

⑦ 再生状態表示

⑧ 演奏残り時間

⑨ 音楽 CD：トラック番号 / 総曲数
オーディオファイルディスク：ファイル番号

⑩ ファイル形式（オーディオファイルディスクのみ）

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。(➜ P.66)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➜ P.66)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次の曲を再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
− / ＋ （オーディオファイルディスクのみ）	前または次のフォルダの先頭ファイルから再生します。
[録音] （音楽 CD のみ）	現在の音楽 CD を SD カードに録音します。(➜ P.76) ［録音停止］をタッチすると、録音を停止します。
[リスト]	再生中の曲またはファイルの再生リストを表示します。 • [トップ]（オーディオファイルディスクのみ）： 一番上の階層のフォルダに移動します。 • [一つ上]（オーディオファイルディスクのみ）： 一つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

［表示］をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。

▼

音楽 CD

オーディオファイルディスク

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
[タイトル検索] （音楽 CD のみ）	「KENWOOD Music Info.」で使用します。（➜ P.138）
[録音設定] （音楽 CD のみ）	SD カードに録音する時の設定をします。（➜ P.76）
	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。 • OFF： ランダム再生モードを解除します。 • ALL（音楽 CD のみ）： アルバム内の曲をランダム再生します。 • フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をランダム再生します。
	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ALL： すべての曲をくり返し再生します。 • 1： 再生中の曲をくり返し再生します。 • フォルダ（オーディオファイルディスクのみ）： 再生中の曲が含まれるフォルダ内のすべての曲をくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

- リピート再生モードとランダム再生モードは同時に設定できません。
- アルバム名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アルバム名とアーティスト名は表示されません。曲名は表示されますが、スクロールはできません。

DVD を再生する

画面の見かたと操作（DVD ビデオ /DVD-VR）

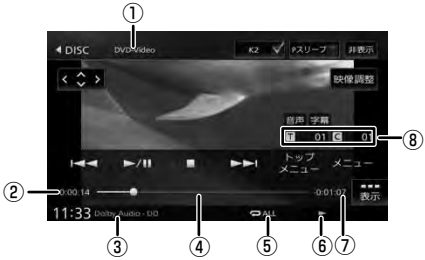
DVD を再生します。
ディスクの出し入れについては、86 ページをご覧ください。

ここまでの手順

ソースを DISC に切り替える（➜ P.65）

DVD ビデオを再生する

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの［閉じる］をタッチしてサブ機能ボタンを閉じます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **ディスクの種類**
② **再生時間**
③ **音声形式**
④ **シークバー**
⑤ **リピート再生モード**
⑥ **再生状態表示**
⑦ **再生残り時間**
⑧ **タイトル番号 / チャプター番号**

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。 （➜ P.66）
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➜ P.66）
[非表示]	操作ボタンを消します。

ボタン	説明
‹ ⌃⌄ ›	カーソルを表示します。 (➜ P.90)
[映像調整]	映像の画質を調整します。 (➜ P.67)
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
■	再生を停止します。▶/IIをタッチすると、停止した位置から再生を再開します。停止中に■をタッチするとディスクの先頭に戻り、▶/IIをタッチすると先頭から再生します。
⏮/⏭	前または次のチャプターを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
[トップメニュー]	ディスクのトップメニューを表示します。
[メニュー]	ディスクのメニューを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは［表示］をタッチします。

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

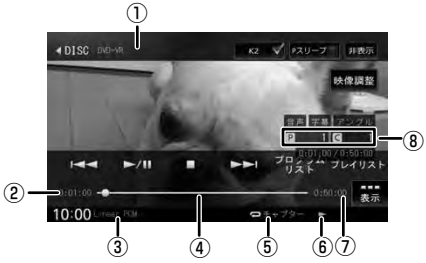
● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVD の設定画面を表示します。 (➜ P.91) このボタンをタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声を切り替えます。
[字幕切替]	字幕を切り替えます。
[アングル]	アングルを切り替えます。

ボタン	説明
⟲	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ⟲ALL： すべてのチャプターをくり返し再生します。 • ⟲チャプター： 再生中のチャプターをくり返し再生します。 • ⟲タイトル： 再生中のタイトルをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD-VR を再生する

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。サブ機能ボタンの［閉じる］をタッチしてサブ機能ボタンを閉じます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。
画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **ディスクの種類**

② **再生時間**

③ **音声形式**

④ **シークバー**

⑤ **リピート再生モード**

⑥ **再生状態表示**

⑦ **再生残り時間**

⑧ **プログラム番号またはプレイリスト番号 / チャプター番号**

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。 (➜ P.66)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➜ P.66)

つづく➜

ボタン	説明
[非表示]	操作ボタンを消します。
[映像調整]	映像の画質を調整します。 (➜ P.67)
▶/II	再生または一時停止（ポーズ）します。
■	再生を停止します。▶/IIをタッチすると、停止した位置から再生を再開します。停止中に■をタッチするとディスクの先頭に戻り、▶/IIをタッチすると先頭から再生します。
I◀◀ / ▶▶I	前または次のチャプターを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）されます。
[プログラムリスト]	プログラムリストを表示します。
[プレイリスト]	プレイリストを表示します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

画面をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。操作ボタンが表示されているときは［表示］をタッチします。

サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の［閉じる］でも消すことができます。

● **表示されるボタンとはたらき**

ボタン	説明
[DVD 設定]	DVD の設定画面を表示します。 (➜ P.91) このボタンをタッチすると、再生中のビデオは停止します。
[音声切替]	音声の種類を切り替えます。
[字幕切替]	字幕の表示 / 非表示を切り替えます。
⟲	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。 • ⟲ ALL： すべてのチャプターをくり返し再生します。 • ⟲チャプター： 再生中のチャプターをくり返し再生します。 • ⟲プログラム： 再生中のプログラムをくり返し再生します。 • ⟲プレイリスト： 再生中のプレイリストをくり返し再生します。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

DVD ディスクメニューを操作する

DVD ビデオに収録されているメニュー（ディスクメニュー）を操作します。

カーソルで操作する

1 ディスクメニュー表示中に画面をタッチする

2 ［表示］をタッチする

3 ⟨ ⌃ ⌄ ⟩ をタッチする

4 各ボタンをタッチして操作する

[非表示]：
操作ボタンを消します。

◀ / ▶ / ▼ / ▲：
タッチした方向にメニューのカーソルを移動します。

[リターン]：
ディスクメニューの 1 階層上の項目を表示します。

[決定]：
選択中の項目を実行します。

- 表示されるディスクメニューおよび操作できる項目は、DVD によって異なります。

ディスクメニューを直接操作する

ディスクメニューを表示しているときは、ディスクメニューの項目に直接タッチして操作できます。

DVD の設定をする

DVD に関する設定を行います。
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 サブ機能ボタンの［DVD 設定］をタッチする

2 各項目を設定する

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
メニュー言語	DVD ビデオのメニュー / トップメニューの表示優先言語を設定します。
音声言語	DVD ビデオの音声出力の優先言語を設定します。
字幕言語	DVD ビデオの字幕表示の優先言語を設定します。
ダイナミックレンジコントロール	DVD 音声のダイナミックレンジを設定します。 ワイド>ノーマル>ダイアログの順にダイナミックレンジは狭くなりますが、映画のセリフなどは明確に聞き取れるようになります。

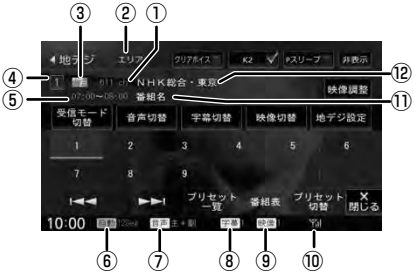
- 設定した優先言語が再生する DVD に収録されていない場合は、収録されている言語になります。
- ディスクによっては、設定した優先言語に変わらない場合があります。

地デジを視聴する（SKX-S805/KXM-E505W のみ）

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを地デジに切り替える（➜ P.65）

画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。



操作ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面右上の［非表示］でも消すことができます。

① **チャンネル番号**

② **プリセットモード**

③ **サービスのロゴ**

④ **プリセット番号**

⑤ **放送時間**

⑥ **受信モード**

⑦ **音声の種類**
複数の音声 / 二重音声があるときに出力している音声の番号が表示されます。

⑧ **字幕の種類**
字幕を選択しているときに表示されます。

⑨ **映像の種類**
複数の映像があるときに視聴中の映像の番号が表示されます。

⑩ **電波の強さ**

⑪ **番組名**

⑫ **受信している放送局名またはサービス名**

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［クリアボイス］	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。
［K2］	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。 （➜ P.66）
［P スリープ］	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。 （➜ P.66）
［非表示］	操作ボタンを消します。
［映像調整］	映像の画質を調整します。 （➜ P.67）
［受信モード切替］	受信モードを切り替えます。 自動： 自動受信モード（1Seg または 12Seg）に切り替えます。 固定 12Seg： 12 セグ固定モードに切り替えます。 固定 1Seg： ワンセグ固定モードに切り替えます。
［音声切替］	視聴番組に複数の音声 / 二重音声があるときに、音声を切り替えます。なお、番組によって、切り替わる音声の種類は異なります。
［字幕切替］	番組に字幕があるときに、字幕を切り替えます。 なお、ボタンが表示されていても、字幕が放送されていない場合があります。
［映像切替］	視聴番組に複数の映像があるときに、映像を切り替えます。
［地デジ設定］	地デジ設定画面を表示します。 （➜ P.95）
［1］～［12］（プリセットチャンネルボタン）	プリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。
◀◀ / ▶▶	前または次のプリセット局を選局します。
［プリセット一覧］	プリセット一覧を表示します。タッチするとプリセットされている放送局に切り替えます。 視聴している放送局が複数のサービスを放送している場合は、■□が表示されます。視聴中のプリセットボタンをタッチするたびにサービスが切り替わります。

ボタン	説明
[番組表]	番組表を表示します。(➜ P.94)
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / ホーム / お出かけ）が切り替わります。「エリア」は現在地周辺の地域のチャンネルが自動でプリセットされます。「ホーム」または「お出かけ」を初めてご使用になる場合は初期スキャンを行ってください。(➜ P.93)
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

- 12 セグとワンセグの切り替え時に、放送によっては音量が変わったり、映像 / 音声のつながりが途切れる場合があります。
- 放送局によっては、12 セグとワンセグで番組が異なる場合があります。
- 本機は 5.1ch サラウンドには対応しておりません。音声は 2ch で出力されます。

プリセットモードを切り替える

プリセットには、「エリア」、「ホーム」、「お出かけ」の 3 つのモードがあります。

■ エリア

エリアでは現在地周辺の地域のものに自動的に切り替わります。移動中に放送局を手早く選択するときに便利です。

■ ホーム / お出かけ

ホームとお出かけは、それぞれにプリセットが登録できます。自宅周辺では ホーム、ドライブ先ではお出かけと使い分けると便利です。

1 ［プリセット切替］をタッチする

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

タッチするたびに、エリア→ホーム→お出かけ→エリアの順に切り替わります。

放送局を登録（プリセット）する

初めてご使用になる場合は、ホームまたはお出かけには放送局が登録されていないため、初期スキャンを行ってください。
放送局をスキャンして、ホームまたはお出かけモードのプリセットボタンに放送局を登録します。

1 ［プリセット切替］をタッチして、「ホーム」または「お出かけ」に切り替える

操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

2 ［プリセット一覧］をタッチする

3 ［初期スキャン］をタッチする

4 現在地の都道府県をタッチして［はい］をタッチする

▼

受信できる放送局を検索し、プリセットに登録します。

つづく➜

- ［再スキャン］は初期スキャンを行った後で、新たに受信できる放送局を空いているプリセットボタンに登録します。
- 再スキャンを行っても、すでにプリセットされている内容はそのまま残ります。
- プリセットした後に初期スキャンをするとプリセットされていた内容はすべて消去され新たにプリセットします。

番組表を見る

最大 8 日分の番組表を表示できます。また、表示した番組表から放送局を選局することもできます。

1 ［番組表］をタッチする

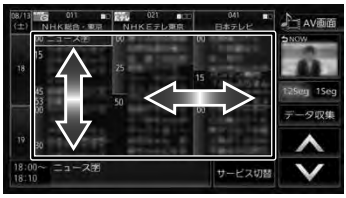
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

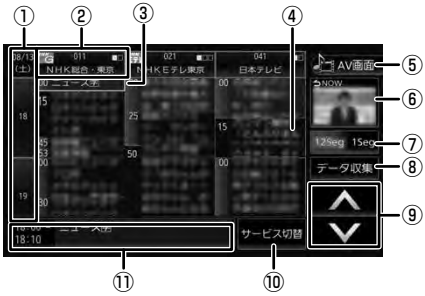
番組表が表示されます。

- すでに放送時間がすぎた番組の番組表は表示できません。
- 番組表データは、電源をオフにしてオンにすると消去されます。
- 受信したチャンネルは番組表データを自動で収集し表示します。受信していないチャンネルの番組表を表示したいときは［データ収集］をタッチしてデータを取得してください。
- ワンセグ番組表では、最大 10 番組まで表示されます。
- 受信していないサービスの箇所は空欄になります。受信すると表示されます。
- サービスの選局直後は、番組表から選局できない場合があります。

番組表の見かたと操作

番組表はフリックまたはドラッグすることで、上下左右にスクロールできます。





① **日時：**
タッチすると、表示する番組表の日付を選択できます。

② **放送局：**
タッチするとその放送局を受信します。

③ **フォーカス**
緑色の枠で表示されます。

④ **現在視聴中の番組**
背景が青色で表示されます。

⑤ **［AV 画面］：**
番組表を消して、AV 画面に戻ります。

⑥ **視聴中番組：**
タッチすると現在視聴している番組にフォーカスを移動します。

⑦ **12Seg 1Seg ：**
タッチすると 12 セグ番組表とワンセグ番組表を切り替えます。

⑧ **［データ収集］：**
プリセットされている放送局の現在時刻から 24 時間先までの番組表データを収集します。

⑨ **∧ / ∨ ：**
フォーカスを移動します。

⑩ **［サービス切替］：**
マルチ編成番組（1 つのチャンネルで 2 番組を同時に放送すること）の場合はタッチすると番組表内の番組情報を別サービスに切り替えます。

⑪ **番組詳細：**

フォーカスされている番組の情報を表示します。タッチすると、番組の詳細情報が表示されます。

緊急警報放送を表示する

緊急警報放送を受信すると、自動的に緊急警報放送に切り替わります。

地図画面などが表示されているときに緊急警報放送を受信すると、メッセージが表示されます。

[はい]：

緊急警報放送に切り替わります。

- 緊急警報放送は、AV ソースが地デジのときのみ表示されます。

中継局 / 系列局をサーチする

受信レベルが低下して番組を視聴できなくなったとき、自動的に受信可能な中継局 / 系列局を探して切り替えることができます（中継局サーチ）。

中継局 / 系列局の自動切り替え条件は、「地デジ設定」の［中継局 / 系列局サーチ］で設定できます。［中継局 / 系列局サーチ］を「自動切替 (中継局)」に設定している場合は、中継局のみがサーチされます。

- 系列局に切り替わった場合、元のサービスと番組が異なる場合があります。
- 受信条件によっては、サーチに数分以上かかる場合があります。
- 系列局のない放送局の場合は、中継局のみがサーチされます。

地デジの設定をする

地デジの設定を変更します。
操作ボタンが表示されていないときは、画面をタッチすると表示されます。

1 ［地デジ設定］をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
1Seg/12Seg 自動切替設定	推奨 */ 12 セグを優先 / 切替頻度を低減	受信モードを［自動］に設定している場合に、優先させる切替条件を設定します。
中継局 / 系列局サーチ	自動切替しない / 自動切替（中継局）/ 自動切替（中継局＋系列局）*	中継局サーチ時の切り替え方法を設定します。
文字スーパー	表示しない / 第一言語 */ 第二言語 /	表示する文字スーパーを設定します。
デバイス ID	受信識別情報が表示されます。この情報は、受信不具合時のお問い合わせ時に必要になることがあります。	
番組表文字サイズ	小 / 中 */ 大	番組表の文字のサイズを選ぶことができます。

*：お買い上げ時の設定です。

AM または FM を聴く

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを AM または FM に切り替える（➜ P.65）

① プリセットモード

② プリセット番号 / 周波数 / 受信中の放送局名

③ ステレオ受信表示

④ 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[クリアボイス]	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。(➜ P.66)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➜ P.66)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[1] ～ [8]（プリセットボタン）	プリセットされている放送局を受信します。
◀/▶	放送局を選択します。 タッチするたびに、1 ステップずつ周波数を変えて選局します（マニュアル選局）。 タッチし続けると、タッチしている間、周波数が連続して変わります。
⏮/⏭	プリセット局を番号順に受信します。「サーチ中…」が表示されるまでタッチし続けると、受信可能な放送局を自動的に受信します（オート選局）。
[プリセット切替]	プリセットモード（エリア / お気に入り 1/ お気に入り 2）を切り替えます。(➜ P.96)
[リスト]	プリセットモードが「エリア」のときに、登録データから取得した放送局をリストで表示します。(➜ P.96)

プリセットモードを切り替える

放送局のプリセットモードには、「エリアモード」と「お気に入りモード」があります。

■ エリアモード

本機の登録データに基づいて、現在地周辺の放送局が表示されます。
エリアモードのプリセットボタンには、そのエリアで受信可能な放送局（コミュニティ FM 局を除く）が周波数の低い順に最大 8 局まで自動的に登録されます。
エリアモードで選択できる放送局は、[リスト] をタッチすると表示できます。(➜ P.96)

■ お気に入りモード

手動でお好みの放送局をお気に入り 1 またはお気に入り 2 にそれぞれ 8 局まで登録できます。
(➜ P.97)

1 [プリセット切替] をタッチする

タッチするたびに、エリア→お気に入り 1 →お気に入り 2 →エリアの順で切り替わります。

エリアモードの放送局をリストから選局する

エリアモード時のプリセット放送局リストから、受信する放送局を選択します。

1 [プリセット切替] をタッチして、エリアモードに切り替える

2 ［リスト］をタッチする

3 受信する放送局をタッチする

1 ～ 8：プリセットボタンにプリセットされている放送局

編：コミュニティ FM 局

- 「コミュニティ」FM 局とは、市町村や政令指定都市の行政区内の一部地域を放送対象とする放送の形態です。

放送局を登録（プリセット）する

お気に入りモードのプリセットボタンに手動で放送局を登録（プリセット）します。

1 登録する放送局を受信する

マニュアル選局またはオート選局などで、登録する放送局を受信します。（➜ P.96）

2 ［プリセット切替］をタッチして、「お気に入り 1」または「お気に入り 2」に切り替える

3 登録先のプリセットボタンを 2 秒以上タッチし続ける

受信中の放送局がプリセットボタンに登録されます。

登録した放送局は、お気に入りモード（1 または 2）で該当するプリセットボタンをタッチすると受信できます。

交通情報を受信する

交通情報（1620kHz または 1629kHz）を受信します。交通情報に切り替えると、受信状態が良いほうが自動的に受信されます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを交通情報に切り替える（➜ P.65）

① 周波数

② 電波の強さ

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
［クリアボイス］	チェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。
［K2］	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。（➜ P.66）
［P スリープ］	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➜ P.66）
［切替］	画面のデザインが切り替わります。
［1620kHz］/［1629kHz］	受信周波数を 1620kHz または 1629kHz に手動で切り替えます。

- 交通情報の音量は、他のソースから独立して調整できます。

「SMART USEN」を使う

「SMART USEN」は、株式会社 U-NEXT が提供するラジオ型の定額制音楽配信サービス（アプリケーション）です。
「SMART USEN」を利用するには iOS または Android 用スマートフォンアプリケーションが必要です。
「SMART USEN」についてはホームページをご覧ください。https://smart.usen.com/

準備する

1 App Store または Google Play から「SMART USEN」をスマートフォンにインストールする

本機とスマートフォンを接続する

1 本機にスマートフォンを接続する

本機に接続するスマートフォンがインターネットに接続されていることを確認してください。

■ iPhone を接続する場合

本機の USB ケーブルに接続します。
接続ケーブルは iPhone に付属の接続ケーブルを使用します。また、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には登録が必要です。127 ページをご覧ください。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。（➜ P.127）

2 「SMART USEN」を起動する

- 「SMART USEN」を起動して本機に接続しているときは、スマートフォンでの操作はできません。
- 「SMART USEN」のすべてのチャンネルを聴くには有料サービス契約が必要です。
- 「SMART USEN」ご利用時の通信料はお客様のご負担となります。
- 通信が不安定な場合は正常に動作しない場合があります。
- 「SMART USEN」を USB ケーブルで接続した iPhone で使用していると、Bluetooth 接続したスマートフォンでは「SMART USEN」を使用できません。

画面の見かたと操作

ここまでの手順
ソースを SMART USEN に切り替える（➜ P.65）

- チャンネル名、曲名、アーティスト名は、情報がすべて表示されていないときには、それぞれの項目をタッチすると情報がスクロール表示されます。
- 走行中は、アーティスト名は表示されません。チャンネル名と曲名は表示されますが、スクロールはできません。

① CH チャンネル名

曲名

アーティスト名

アルバムアート画像

● 表示されるボタンとはたらき

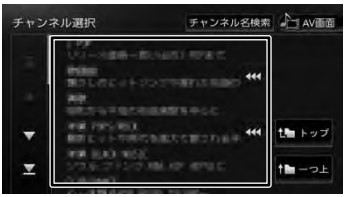
ボタン	説明
[K2]	チェックを付けると K2テクノロジー機能がオンになります。（➜ P.66）
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。（➜ P.66）
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
[デバイス切替]（Bluetooth 接続時のみ）	Bluetooth 接続のときは、Bluetooth デバイス接続画面を表示します。
■ / ▶	■をタッチすると消音します。▶をタッチするともとの音量に戻ります。
[CHANNEL リスト]	聴きたいジャンルやカテゴリーからチャンネルを選択します。
[FAVORITE リスト]	お気に入り登録したチャンネルと今までに聴いたことのあるチャンネルをリスト（お気に入りリスト / 履歴リスト）で切り替えて表示します。チャンネルをタッチするとチャンネルが切り替わります。

ボタン	説明
［お気に入り登録］	再生中のチャンネルをお気に入り登録します。
［お気に入り一覧］	お気に入りリストに登録されたチャンネルから最大 99 チャンネルを表示します。タッチするとチャンネルが切り替わります。
［リスト］	再生中の曲、一つ前の曲、再生予定の5曲をリストで表示します。このリストからチャンネル選択はできません。

チャンネルを選ぶ

1 ［CHANNEL リスト］をタッチする

2 聴きたいジャンル、または
カテゴリー名をタッチする



3 聴きたいチャンネルをタッチする

［トップ］：
一番上の階層のリストに移動します。

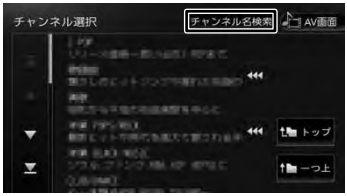
［一つ上］：
一つ上の階層のリストに移動します。

［絞り込み］：
絞り込み条件をタッチすると、表示するチャンネルを絞り込めます。

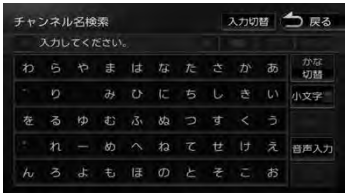
チャンネル名を検索する

1 ［CHANNEL リスト］をタッチする

2 ［チャンネル名検索］をタッチする



3 検索したいチャンネル名を入力する



- 入力可能最大文字数は、30 文字です。
- 文字入力については 25 ページをご覧ください。

再生中のチャンネルをお気に入りに登録する

再生中のチャンネルをお気に入り登録することができます。

1 ［お気に入り登録］をタッチする

「お気に入りチャンネルに追加しました」と表示されチャンネルを登録します。

登録したチャンネルは［FAVORITE リスト］および［お気に入り一覧］から簡単に選択できるようになります。

お気に入りのチャンネルを選ぶ

1 ［お気に入り一覧］または［FAVORITE リスト］をタッチする

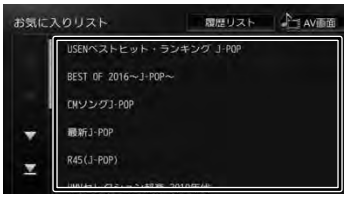
2 聴きたいチャンネルをタッチする

■［お気に入り一覧］をタッチしたとき

［前ページ］/［次ページ］：
お気に入り一覧のページを切り替えます。

［一覧を閉じる］：
お気に入り一覧を閉じます。

■［FAVORITE リスト］をタッチしたとき



［履歴リスト］：
今まで聴いたチャンネルから最大 30 チャンネルのリストを表示します。
［お気に入りリスト］をタッチするとお気に入りリストに戻ります。

- 「お気に入り一覧」、「お気に入りリスト」、「履歴リスト」のチャンネルを本機で削除することはできません。「SMART USEN」アプリケーションで削除してください。

情報・設定画面について

情報・設定画面では、VICS 情報、ETC 情報などの表示や、ナビゲーション、サウンドなどに関する設定のカスタマイズができます。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチする

情報・設定画面が表示されます。

■ **情報**

[VICS]：
FM VICS、ETC2.0 割り込み情報を表示します。(➜ P.101)

[接続]：
本機に接続されている機器の接続状態や GPS の受信状態などを表示します。(➜ P.124)

[バージョン]：
本機に収録されている各種データのバージョン情報を表示します。(➜ P.125)

[ETC]：
本機に接続されている ETC 機器の履歴や情報を表示します。(➜ P.157)

[ECO]：
車のエコドライブ情報を表示します。
(➜ P.107)

■ **設定**

[ナビ]：
ナビゲーションに関する設定を行います。
(➜ P.108)

[サウンド]：
サウンドに関する設定を行います。(➜ P.114)

[システム]：
システムに関する設定を行います。
(➜ P.120)

[外部機器]：
外部機器を接続するときの設定を行います。
(➜ P.123)

[登録地点編集]：
登録地点を編集します。(➜ P.63)

VICS 情報を見る

VICS 情報とは

VICS（Vehicle Information and Communication System）は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターが走行中の車両に交通情報を提供するシステムです。

VICS 情報の内容と種類

渋滞情報、交通障害情報、交通規制情報、所要時間情報、駐車場情報およびその他の緊急情報が提供されます。提供される VICS 情報は次の 3 つのレベル（種類）があります。

- **レベル 1（文字型情報）**
  情報が文字で表示されます。
- **レベル 2（簡易図形型情報）**
  情報が進路地図の模式図で表示されます。
- **レベル 3（地図表示型情報）**
  情報がナビゲーション画面の地図上に表示されます。

VICS 情報の提供方法

本機は、FM 多重放送（NHK-FM）と ITS スポットを通じて、VICS の情報を受信することができます。

- ITS スポットから情報を取得するには、本機対応の ETC2.0 車載器（別売品）が必要です。(➜ P.155)

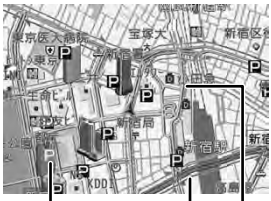
VICS 情報利用上のご注意

- 各 FM 放送局のサービスエリア内で受信できます。
- サービスエリア外やトンネル内、電波環境が良くない場所（雑音、建造物や地形などの影響で電波の屈折や反射が生じることで起こる電波障害などによる）では、受信困難になることがあります。
- 情報は一定周期で更新されています。更新中は、情報が蓄積されるまでに時間がかかります（情報によっては最大 5 分周期でデータを更新する場合があります）。
- FM 放送時間外は利用できません。

地図に表示される VICS 情報

地図表示型（レベル 3）情報の表示

VICS 情報を受信すると、地図画面に表示されます。



駐車場情報
赤色：満車
橙色：混雑
青色：空車
黒色：不明

統計情報による渋滞線（点線）
薄赤色：渋滞
薄橙色：混雑
薄青色：順調

渋滞情報
赤色：渋滞
橙色：混雑
水色：順調

気象・災害情報エリアの表示

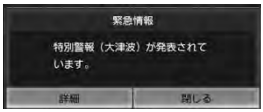
気象・災害情報エリア

規制情報と駐車場情報で使用される主要なマークは以下のとおりです。

事故	通行止め閉鎖	大型通行止め	障害物路上障害	チェーン規制
故障車	**入口閉鎖**	**入口制限**	**イベント**	**出口制限**
火災	**凍結**	**車線規制**	**車線規制：右側**	**進入禁止**
片側交互通行	**駐車場閉鎖**	**駐車場混雑**	**駐車場空き**	**駐車場満車**
		背景橙色	背景青色	背景赤色
駐車場不明	**SA・PA 閉鎖**	**SA・PA 混雑**	**SA・PA 空き**	**SA・PA 満車**
背景黒色	背景橙色	背景橙色	背景青色	背景赤色
SA・PA 不明	**その他の規制**	**工事**	**徐行**	**速度規制**
背景黒色				
対面通行	**作業**	**気象情報**	**災害情報**	**災害情報**

- VICS のマークは変更・追加される場合があります。詳しくは、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターのホームページ（http://www.vics.or.jp/）をご覧ください。
- 電波の受信状態が良くないときには、FM 多重放送による VICS 情報の受信・表示ができない場合があります。
- 地図表示型（レベル 3）情報を表示できる地図の縮尺は 10m ～ 1km です（一般道では 10m ～ 500m です。また、駐車場情報は 10m ～ 200m で表示します）。
- 車両のアンテナが格納されている場合、FM VICS が受信できなくなったり、感度が悪くなる場合があります。
- 統計情報による渋滞情報は提供されない地域があります。

■「VICS WIDE」サービスによる緊急割り込み表示



[詳細]：
タッチすると緊急情報（特別警報）の詳細を見ることができます。

[閉じる]：
タッチすると緊急情報（特別警報）を画面の下部または上部に表示します。

[詳細]：
上記の VICS 詳細情報を表示します。

[上位置]/[下位置]：
表示を画面上部または下部に移動させます。

[切替]：
複数の緊急情報（特別警報）がある場合に表示されます。タッチするたびに情報の表示が切り替わります。

[閉じる]：
割り込み表示を消します。

地図上の VICS 情報を見る

地図画面に表示された VICS の規制 / 障害情報マークから、詳しい情報を確認します。

1 規制 / 障害マークをタッチする

地点情報表示に規制情報が表示されます。

[切替]：
複数の VICS 情報やランドマークが重なっている場合に表示されます。タッチすると、表示する情報が切り替わります。

2 [詳細] をタッチする

VICS の詳しい情報が表示されます。

ETC2.0 割り込み表示

本機に対応の ETC2.0 車載器（別売品）を接続している場合、ITS スポットからデータを受信したとき、または指定された地点で地図画面に情報が割り込み表示されます。（優先情報は地図以外でも割り込み表示されます。）音声情報が含まれる場合は、自動的に再生します。
対応している割り込み情報の種類は、次のとおりです。

- 優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報
- 一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報

▼：表示ページを切り替えます。

[再生] / [停止]：
音声情報を再生または停止します。

- ETC2.0 優先情報、一般情報が割り込み表示しないように設定できます。(➜ P.105)
- 割り込み表示の時間を設定することができます。(➜ P.105)
- 音声情報を再生中は、設定した割り込み表示の時間を過ぎても表示し続けます。
- ETC2.0 一般情報は交差点案内図、高速分岐イラストを表示していると割り込み表示しません。

VICS 文字 / 図形情報を見る

本機で受信した VICS 情報（文字型情報 / 簡易図形型情報）を表示します。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [VICS] をタッチする

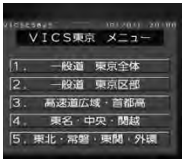
2 表示したい情報をタッチする

[FM 文字情報] / [FM 図形情報]：
FM-VICS 情報から受信した文字 / 図形情報を表示します。

[ビーコン文字情報] / [ビーコン図形情報]：
使用しません。

[ETC2.0 割り込み情報]：
ETC2.0 車載器（別売品）で受信した割り込み情報を表示します。（➜ P.104）

FM VICS 図形情報 / 文字情報の表示

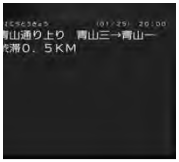


番号をタッチすると、文字 / 図形情報の詳細情報表示が切り替わります。

■ 図形情報

▼ / ▲ :一つ前または次の情報に切り替えます。

■ 文字情報



▼ / ▲ :一つ前または次の情報に切り替えます。

ETC2.0 割り込み情報

▼ / ▲ :一つ前または次の情報に切り替えます。

[再生] / [停止]：
音声情報を再生または停止します。（音声がある場合のみ）

VICS 局の選局方法を切り替える

FM VICS 局の選局方法（自動選局 / 手動選局）を切り替えます。また、手動選局時の受信周波数を設定します。

■ 自動選局と手動選局について

- 自動選局：
  現在地の都道府県に合わせて、FM VICS 局が自動的に選局されます。
  広域移動する場合に便利です。
- 手動選局：
  FM VICS の受信周波数を設定します。設定した周波数以外では VICS 情報を受信できなくなります。
  県境付近を走行中で FM VICS 局を自動変更されたくない場合などに便利です。

自動選局に設定する

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [VICS] をタッチする

2 [VICS FM 選局モード] をタッチする

3 [自動] をタッチする

[自動] にチェックが付いているときは、自動選局が選択されています。

手動選局に設定する

1 ［VICS FM 選局モード］をタッチする

2 ［自動］をタッチしてチェックを外す

3 ◀ または ▶ をタッチして、受信周波数を設定する

受信する周波数が設定されます。

VICS 情報の表示設定をする

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [ナビ] をタッチする

2 ［交通情報］をタッチして、設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
VICS 情報表示	－	VICS 情報の表示内容について設定します。(➜ P.106)
図形情報の割り込み表示	使用しません。	
文字情報の割り込み表示	使用しません。	
ETC2.0 優先情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した優先情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
ETC2.0 一般情報の割り込み表示	ON*/OFF	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した一般情報割り込み表示のオン / オフを設定します。
割り込み表示の時間	5 秒間 / 10 秒間 / 15 秒間 *	別売の本機対応 ETC2.0 車載器で受信した情報の割り込み表示の時間を設定します。
ETC2.0 アップリンク	ON*/OFF	ETC2.0 アップリンク機能のオン / オフを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

地図上の VICS 表示方法を設定する

地図に表示する渋滞情報や規制情報を設定します。

1 ［交通情報］をタッチして、［VICS 情報表示］をタッチする

2 表示する項目をタッチする

表示されているリストでは、すべての項目が選択されています。表示しない項目をタッチすると、選択が解除されます。

- ［表示オフ］をタッチするとすべての VICS 情報が表示されなくなります。

● 表示設定項目

項目	説明
渋滞 / 混雑線の表示：高速道	高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線の表示：一般道	一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：高速道	高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線の表示：一般道	一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線（統計）の表示：高速道	統計情報による高速道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
渋滞 / 混雑線（統計）の表示：一般道	統計情報による一般道路の渋滞 / 混雑情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：高速道	統計情報による高速道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
順調線（統計）の表示：一般道	統計情報による一般道路の順調情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
規制情報の表示	交通規制情報を地図上に表示するかどうかを設定します。
駐車場情報の表示	駐車場情報を地図上に表示するかどうかを設定します。

ECO 情報を確認する

ECO 情報を見る

マイメニュー画面（➜ P.21）、現在地図画面、INFO ウィンドウ画面（➜ P.30）でエコドライブ情報を見ることができます。

ECO ドライブ評点

ECO ドライブ評点は、少し前からの運転状況をもとに総合評価し、100 点満点で表示されます。
e スタート、急加速、急減速および経済速度を判定したときもここに表示されます。

詳細情報を見る

走行状態やアイドリング時間などの運転履歴に基づいて、ECO 度判定や総合評価グラフが表示されます。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [ＥＣＯ] をタッチする

▼

◀ / ▶：
現在表示されている情報の 1 日前 /1 日後の情報を表示します。

[ECO レシオ]：
燃費度合グラフを表示します。

評価グラフの各項目の内容は次のとおりです。

- **e スタート：**
  停車状態からのスタートの評価です。急発進の回数が少ないと、高評価となります。
- **加速：**
  加速状態の評価です。急加速の回数が少ないと、高評価となります。
- **減速：**
  減速状態の評価です。急減速の回数が少ないと、高評価となります。
- **経済速度：**
  一定スピード（経済速度）での走行状態の評価です。経済速度を維持して走行すると、高評価となります。

ECO レシオについて

ECO 情報画面で［ECO レシオ］をタッチすると、燃費度合グラフが表示されます。

▼

◀ / ▶：
グラフ表示を 1 日分スクロールします。

[ECO 判定モード]：
ECO 度の判定のモード（ソフト / ノーマル / ハード）を設定します。
ソフト、ノーマル、ハードの順に判定が厳しくなります。（お買い上げ時は「ノーマル」に設定されています）

[ECO データ消去]：
過去の ECO データを消去します。
確認のメッセージで［はい］をタッチすると、ECO データが削除されます。

- ECO 情報で表示される内容は、あくまで目安です。

ナビゲーションの設定をする

本機のナビゲーションに関する項目を設定します。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [ナビ] をタッチする

2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● 地図

項目	設定	説明
地図色 / 文字サイズ	地図色 : 1*/2/3 文字サイズ : 小 / 中 */ 大 地図色昼夜切替: 昼色に固定 / 夜色に固定 / 自動 *	地図色、文字サイズと地図表示の設定をします。(➜ P.110)
ランドマーク表示	–	地図に表示するランドマークを設定します。(➜ P.112)
登録地点表示	–	地図に表示する登録地点を設定します。表示したい登録地点のカテゴリーをタッチします。 もう一度タッチすると選択を解除します。 [表示オフ] をタッチするとすべて表示しません。
自車マーク	*/ /	自車マークのデザインを設定します。
走行軌跡の表示	ON*/OFF	走行軌跡を表示するかどうかを設定します。(➜ P.111)
走行軌跡を消去	–	記憶されている走行軌跡を消去します。(➜ P.111)
地図の向き	ノースアップ / ヘディングアップ / 3D ビュー *	地図の向きを設定します。
地図の向き（小画面）	ノースアップ / ヘディングアップ / 3D ビュー *	小画面での地図の向きを設定します。
フライビューマップ表示	ON*/OFF	フライビューマップを表示するかどうかを設定します。
ワンタッチルーペ	ON*/OFF	自車マークをタッチしたときに、自車マークの周りの地図を拡大して表示するかどうかを設定します。(➜ P.28)
市街地図の表示縮尺	50m 以下 /100m 以下 *	市街地図の表示縮尺を設定します。
盗難多発地点表示	ON/OFF*	盗難多発地点を表示するかどうかを設定します。縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、盗難が多発している場所を赤色、橙色、黄色で区分して表示します。
冠水注意地点表示	ON*/OFF	冠水注意地点を表示するかどうかを設定します。 • 縮尺が 200m 以下の地図表示のとき、豪雨時に一時的に道路が冠水し通行に支障・危険をもたらすおそれがある場所を表示します。 • 冠水注意地点表示は一部地域を除く都道府県で表示対応しています。
マップコード表示	ON/OFF*	スクロール画面にマップコードを表示するかどうかを設定します。(➜ P.32)
緯度・経度表示	ON/OFF*	スクロール画面に緯度･経度を表示するかどうかを設定します。(➜ P.32)

*：お買い上げ時の設定です。

● 案内

項目	設定	説明
案内中の音量調整	ON/OFF*	「ON」に設定すると音声案内中は音量キーでも案内音声の音量調整ができるようになります。
案内音声の音量	1 ～ 25* ～ 40	案内音声の音量を設定します。

項目	設定	説明
案内音声音量の車速連動	ON*/OFF	車速に応じて、案内音声の音量を自動で調整するかどうかを設定します。
案内警告音の出力	ON*/OFF	案内警告音を出力するかどうかを設定します。
ルート案内音声の出力	ON*/OFF	ルート案内時またはVICS情報の案内音声を出力するかどうかを設定します。
合流 / 踏切 / 車線案内音声の出力	常に OFF: 音声を出力しません。 ルート案内時のみ ON： ルート案内時のみ、音声を出力します。 常に ON*: 音声を出力します。	
一時停止の音声案内	常に OFF/ルート案内時のみ ON/常に ON*	一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止の案内をするかどうかを設定します。(➜ P.55)
一時停止の表示	常に OFF/ルート案内時のみ ON/常に ON*	一時停止情報がある交差点の手前で、一時停止アイコンを表示するかどうかを設定します。(➜ P.27)
ETC 音声の出力※	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 音声を出力するかどうかを設定します。
ETC 料金の表示※	ON*/OFF	対応 ETC 車載器を接続しているときに、ETC 通行料金を地図画面に表示するかどうかを設定します。
レーン情報の表示	ON*/OFF	レーン情報を表示するかどうかを設定します。(➜ P.27)
方面看板の表示	ON*/OFF	方面看板を表示するかどうかを設定します。(➜ P.27)
高速道分岐イラストの表示	ON*/OFF	高速道分岐イラストを表示するかどうかを設定します。(➜ P.53)
交差点案内図の表示	ON*/OFF	交差点案内図を表示するかどうかを設定します。(➜ P.53)
ここです案内表示	ここです案内の表示 (➜ P.53) を設定します。 OFF: 表示しません。 一般道のみ ON*: 一般道のみ表示します。 ON: 表示します。	

項目	設定	説明
ここです案内の自動消去	ON*/OFF	「ON」に設定すると案内ポイントの 50m 手前（高速道路では 300m 手前）で、ここです案内を消去します。交差点案内図の表示が「ON」に設定されているときは、自動的に交差点案内図の表示に切り替わります。
ETC レーンの表示	ON*/OFF	料金所に近づいたときに ETC レーン案内を表示するかどうかを設定します。(➜ P.54)
逆走注意喚起	ON*/OFF	高速道路 / 有料道路入口を走行しているときと、SA/PA で本機の電源をオフにしてオンにしたときに、画面表示と音声で運転者に逆走注意喚起します。
盗難多発地点音声案内	ON/OFF*	盗難多発地点の音声案内をするかどうかを設定します。(➜ P.56)
AV 画面時の地図割り込み	ON*/OFF	AV 画面表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。
INFO ウィンドウ時の地図割り込み	ON*/OFF	INFO ウィンドウ表示中に案内ポイントに近づいたときに、ルート案内画面を割り込ませるかどうかを設定します。
INFO ウィンドウの画面切替	手動 / 10 秒 */ 15 秒	INFO ウィンドウの表示切替エリアの情報画面を切り替える時間を設定します。「手動」に設定した場合は画面の右端をタッチすると画面が切り替わります。

*：お買い上げ時の設定です。

※：別売の本機対応 ETC 車載器または本機対応の ETC2.0 車載器を接続しているときに設定できます。

● **探索**

項目	設定	説明
優先する探索条件	推奨*、距離、高速、一般、高速 / 距離	優先する探索条件を設定します。(➜ P.49)

つづく➜

項目	設定	説明
マイルートアジャスター	探索の詳細条件を選択し、マイルート1～3に設定することができます。(➜ P.112)	
スマートIC考慮	ON/OFF*	スマートICを利用する探索を行うかどうかを設定します。
目的地の横付けを考慮した探索	ON*/OFF	目的地の施設が道路の反対側などに来ないように横付けまで考慮した探索を行うかどうかを設定します。
フェリーを利用した探索	ON/OFF*	フェリーを利用した探索を行うかどうかを設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

- スマートICでは、営業時間、営業期間、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、これらはルート探索では考慮されない場合があります。ご利用の際はご注意ください。

● 交通情報

項目	説明
VICS情報表示	この設定については、「VICS情報の表示設定をする」(➜ P.105) をご覧ください。
図形情報の割り込み表示	
文字情報の割り込み表示	
ETC2.0優先情報の割り込み表示	
ETC2.0一般情報の割り込み表示	
割り込み表示の時間	
ETC2.0アップリンク	

● その他

項目	設定	説明
NaviCon友達マップ	この設定については「NaviConで探す」(➜ P.46) で使用します。	
車両ナンバー	軽/5・7*/3/1	車両ナンバーの分類番号を設定します。ここで設定した分類番号で、有料道路の通行料が算出されます。
現在地修正	自車位置や向きがずれたときに、地図上の自車位置と向きを修正します。(➜ P.111)	
地図更新プログラム	地図の更新用のSDカードを作成します。(➜ P.126)	

*：お買い上げ時の設定です。

地図表示を設定する

地図の文字サイズや地図色など地図表示の設定をします。

1 ［地図］をタッチして、［地図色 / 文字サイズ］をタッチする

2 設定したい項目をタッチする

地図色：
1、2、3から地図色を設定します。

文字サイズ：
小、中、大から文字サイズを設定します。

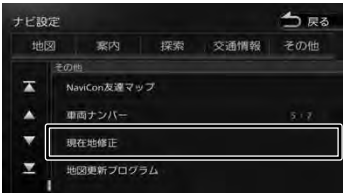
地図色昼夜切替：

- ［昼色に固定］：
  常に昼色の地図を画面に表示します(昼画面)。
- ［夜色に固定］：
  常に夜色の地図を画面に表示します(夜画面)。
- ［自動］：
  ディマー（自動輝度設定）の設定に連動して地図色を切り替えます。(➜ P.120)
  ディマー設定がOFFのとき：
  常に昼色の地図を画面に表示します（昼画面）。
  ディマー設定がONのとき：
  常に夜色の地図を画面に表示します（夜画面）。
  ディマー設定がイルミ連動のとき：
  車両のライトスイッチに連動して自動的に地図色を切り替えます。(ライト消灯時には昼色、ライト点灯時には夜色)
  ディマー設定が時刻連動のとき：
  日の出時刻が近づくと、夜色の地図から徐々に昼色の地図に変わります。日の入り時刻が近づくと、昼色の地図から徐々に夜色の地図に変わります。

自車の現在位置を修正する

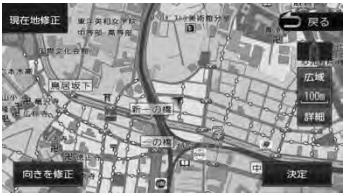
地図の表示が実際の自車の位置や向きとずれたときに、地図の自車位置と向きを修正します。

1 ［その他］をタッチして、［現在地修正］をタッチする



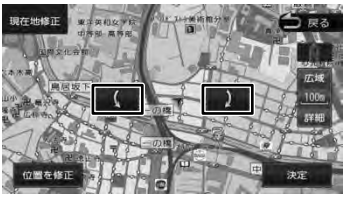
地図が表示されます。

2 地図をスクロールして、自車マークを実際の位置に合わせる（位置を修正）



3 ［向きを修正］をタッチする

4 ◀ または ▶ をタッチして、自車の向きを設定する（向きを修正）



5 ［決定］をタッチする

- 表示されているスクロール地図画面は、縮尺を変えることができます。（➜ P.28）
- 手順５で［決定］をタッチする前なら、［位置を修正］または［向きを修正］をタッチして、何度でも自車位置や向きを修正しなおすことができます。

走行軌跡表示を設定する

地図画面に走行軌跡を表示するかどうかを設定します。走行軌跡は消去することもできます。

1 ［地図］をタッチして、［走行軌跡の表示］をタッチする

［ON］：
走行軌跡を表示します。

［OFF］：
走行軌跡を表示しません。

走行軌跡を消去する

1 ［地図］をタッチして、［走行軌跡を消去］をタッチする

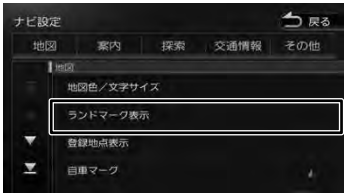
2 ［はい］をタッチする

- 走行軌跡は、現在地より過去 1000km の軌跡が保存されています。1000km を超えると、古い軌跡から自動的に消去されます。
- 「走行軌跡の表示」を「OFF」に設定しても、保存されている走行軌跡は消去されません。

地図に表示するランドマークを設定する

地図に表示するランドマークの種類を設定します。ランドマークは、ガソリンスタンド / コンビニエンスストア / ファミリーレストラン / ファーストフードについては、500m 以下のスケールで表示します。その他のランドマークは 200m 以下のスケールで表示します。

1 ［地図］をタッチして、［ランドマーク表示］をタッチする



2 設定するパターンをタッチする

3 表示するランドマークのジャンル名をタッチする

タッチするとチェックマークが付きます。もう一度タッチすると、選択が解除されます。

さらにジャンルの分類を選択する場合は、ジャンル名をタッチすると分類が表示されます。設定したい項目をタッチします。

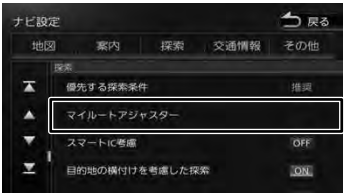
▼

表示させたいパターン（1 ～ 3）をタッチすると、地図上に選択したパターンのランドマークが表示されます。

- ［表示オフ］をタッチするとすべてのランドマークが表示されなくなります。

ルート探索の条件を設定する（マイルートアジャスター）

1 ［探索］をタッチして、［マイルートアジャスター］をタッチする



2 探索条件を登録したいマイルート 1 ～3のいずれかをタッチして（①）設定したい項目をタッチして（②）調整する（③）

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
有料優先	低～中 * ～高（5 段階）	有料道路を使った探索をするときに有料道路を優先して使うかどうかを設定します。
道幅優先	狭い～広い（5 段階）	狭い道幅を優先するか広い道幅を優先するかを設定します。お買い上げ時の設定は「狭い」と「広い」の中間です。
渋滞回避	0 ～ 1* ～ 3（4段階）	0：渋滞回避しません。 1：渋滞回避を多少優先します。 2：渋滞回避を優先します。 3：渋滞回避を積極的に優先します。
踏切考慮	低～中 * ～高	踏切の少ないルートを優先するかどうかを設定します。
信号考慮	ON*/ OFF	信号の少ないルートを優先するかどうかを設定します。

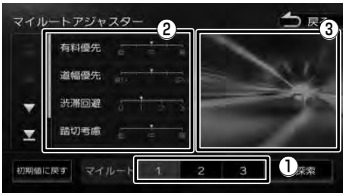
項目	設定	説明
ルート学習	ON*/OFF	自宅から半径 3km 以内でナビが案内するルートと違うルートを数回走行していると、実際に走ったルートをナビが学習します。この学習結果をルート探索時に使用するかどうかを設定します。 ［学習の初期化］をタッチするとメッセージが表示されます。［はい］をタッチすると学習したルートの初期化が開始されます。

*：お買い上げ時の設定です。

■ 案内開始画面から［マイルートアジャスター］機能を使う

1 ［マイルートアジャスター］をタッチする

2 探索条件を登録したいマイルート１～３のいずれかをタッチして（①）設定したい項目をタッチして（②）調整する（③）



3 ［再探索］をタッチする

ルートを再探索します。

サウンドの設定をする

音質、音響効果など、本機のサウンドに関する項目を設定します。

- サウンドの設定は AV ソースを選択しているときに行ってください。ソースがオフ（STANDBY）のときは、サウンドの設定はできません。
- ハンズフリー電話の通話中や発信、着信中は「バランス / フェーダー」以外のサウンドの設定はできません。
- パッセンジャースリープ機能をオンにしているときは、サウンドの設定はできません。（➜ P.66）

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [サウンド] をタッチする

2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リスニング設定	音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように視聴効果を設定します。（➜ P.116）
イコライザー	低音域から高音域までの音質を設定します。（➜ P.117）
バランス / フェーダー	◀ または ▶ をタッチして左右のバランスを、▲ または ▼ をタッチして前後のバランスを調整することもできます。 [センターに戻す]： 左右 / 前後ともに中央に戻します。
音質・音場効果	音響効果を設定します。（➜ P.119）
スピーカー	スピーカーの構成と車両タイプを設定します。（➜ P.115）
ソースレベル	各 AV ソースの音量をそろえます。（➜ P.119）

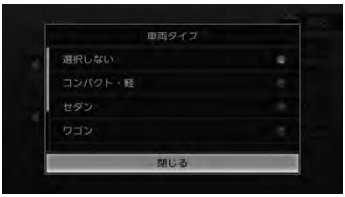
車両タイプを設定する

車両タイプを設定すると、簡易的に車両タイプに合わせた音質にすることができます。
システムの初期化（➜ P.121）を行ったときなどは、下記を参考に設定しなおしてください。

1 ［スピーカー］をタッチする

2 [車両タイプ] をタッチする

3 車両タイプを選んでタッチする



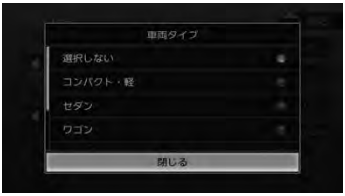
スピーカー構成を設定する

実際に設置されているスピーカーの取付位置、スピーカー口径などを設定します。
より車両に適したリスニング設定ができます。

1 ［スピーカー］をタッチする

2 ［車両タイプ］をタッチする

3 車両タイプを選んでタッチする



4 設定するスピーカーをタッチする

Ⓐ：フロントスピーカー
Ⓑ：リアスピーカー

5 各項目をタッチして設定する

［取付位置］：
スピーカーの位置を設定します。

［スピーカー口径］：
スピーカーの口径を設定します。フロントスピーカーの口径を設定するときは“なし”には設定できません。

［ツイーター口径］：
ツイーターの口径を再生可能な帯域に合わせて設定します。
SMALL：10kHz 以上
MEDIUM：4kHz 以上
LARGE：2.5kHz 以上

- 再生可能な帯域が不明な場合はMEDIUM に設定し、フロントツイーターのレベル調整時にお好みに応じて変更してください。

リスニングを設定する

リスニング設定は音を聞く座席に合わせてより良い音場になるように視聴効果を設定します。
リスニング設定には２つの設定方法があります。
２つ同時に設定することはできません。

リスニングポジション：
設定した座席に近いスピーカーほど音の出るタイミングを遅らせる（ディレイ）ことで、各スピーカーからの音が同時に聞こえてくるように調整します。

フロントフォーカス：
仮想の音像イメージを設定した座席の正面に定位させる機能です。フロントフォーカスの「前の両座席」と「全ての座席」のそれぞれについては、音像イメージを右側座席正面に定位させたい場合は「右側優先」を、左側に定位させたい場合「左側優先」を選んでください。

- リスニング設定はスピーカー構成の設定（➜ P.115）で車両タイプとスピーカー構成の両方が設定されていないと正しく設定できません。
- スピーカー構成の設定でリアスピーカーの「スピーカー口径」を「なし」に設定している場合は、リアスピーカー調整ができません。
- フロントフォーカス調整の［ディレイ］設定の［音像左右（主調整）］の［リアを出力しないで調整］は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を両方「なし」に設定している場合はタッチできません。
- フロントフォーカス調整の［ディレイ］設定の［仮想音場の広さ］は、スピーカー構成の設定でリアスピーカーのスピーカー口径を「なし」に設定している場合は調整できません。
- フロントフォーカスを調整するときに表示される画面は、［閉じる］をタッチすると画面を閉じることができます。

1 車両タイプを設定してスピーカーを設定する（➜ P.115）

2 ［リスニング設定］をタッチする

3 リスニングポジションまたはフロントフォーカスの設定したい座席をタッチする

選択した座席に合わせた音場効果が設定されます。設定はさらに微調整することもできます。

リスニングポジションを微調整する

1 ［調整］をタッチする

2 ［ディレイ］をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして実際に測った距離を設定する

お使いの車で実際に測った距離を設定します。
リスニングポジションを「全ての座席」または「前の両座席」に設定している場合はそれぞれの中央からの距離を測ってください。

3 ［レベル］をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして音を聴きながら調整する

フロントフォーカスの微調整をする

1 ［調整］をタッチする

2 ［ディレイ］をタッチして下記の順で各項目を設定する

［音像左右（主調整）］をタッチする

［リアを出力しないで調整］にチェックが付いている状態で、◀ または ▶ をタッチして、音像イメージが座席の正面になるように調整します。

次に［リアを出力しないで調整］をタッチしてチェックが消えている状態で、音像イメージが座席の正面になっているか確認してください。音像の位置がずれた場合は ◀ または ▶ をタッチして調整してください。

▼

［仮想音場の広さ］をタッチする

音を聞きながら ◀ または ▶ をタッチしてお好みの広さイメージになるよう調整します。この調整で音像イメージが正面からずれたときは［音像左右（微調整）］で微調整してください。

3 ［レベル］をタッチして、各スピーカーの ◀ または ▶ をタッチして音を聴きながら調整する

設定した値を初期設定に戻す

［初期値に戻す］をタッチするとメッセージが表示されます。

［はい］をタッチするとディレイとレベルで調整した両方の値を初期設定に戻します。

プリセットイコライザーを設定する

ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーをソースごとに設定します。

- FM/AM ラジオ、地デジ（SKX-S805/KXM-E505W のみ）、交通情報ソース画面で［クリアボイス］にチェックを付けているときは、イコライザーの設定はできません。

1 設定したいソースを選ぶ

2 ［イコライザー］をタッチする

3 ［プリセット選択］をタッチする

4 設定したいプリセットイコライザー（ジャンル）をタッチする

▼

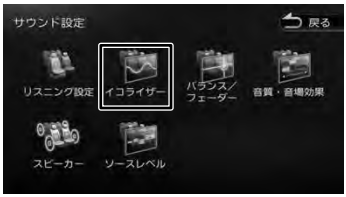
手順 1 で選択したソースに設定されます。

ユーザーイコライザーを調整する

ユーザー独自のイコライザーカーブを調整し、ソースごとに設定します。ジャンル別に設定されたプリセットイコライザーを呼び出してイコライザーカーブを調整することもできます。

1 設定したいソースを選ぶ

2 ［イコライザー］をタッチする



3 画面を指でなぞる

［フラット］：
すべての周波数帯域をフラットにします。

- 調整したい周波数を選んでタッチし、▲ または ▼ をタッチしてレベルを設定することもできます。

4 ［ノーマル EQ］または［ナチュラル EQ］をタッチする

［ノーマル EQ］：
一般的なイコライザーモードです。各周波数帯域に“やま”があるイコライザーカーブになります。

［ナチュラル EQ］：
各周波数帯域の“やま”を補正するイコライザーモードです。スライダーの並び方に近い形のイコライザーカーブになります。

調整したイコライザーカーブを保存する

ユーザー独自で調整したイコライザーカーブをプリセットイコライザーの USER1 ～ 4 に保存できます。

1 イコライザーカーブを調整する

2 ［USER プリセット保存］をタッチする

3 保存先をタッチする

音響効果を設定する

各種の音響効果を設定します。

1 ［音質・音場効果］をタッチする

2 各項目を調整する

設定できる項目は以下のとおりです。

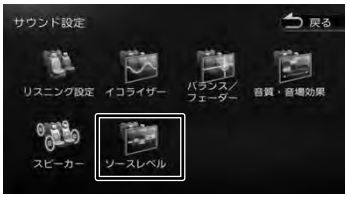
項目	設定	説明
ミュージックバスブースト	OFF/1*/2/3	低音楽器の音を増強するレベルを設定します。
ミュージックラウドネス	OFF*/LOW/HIGH	小音量時でも音楽的な周波数バランスが保たれて聞こえるように、低音と高音を補います。 録音レベルが大きい曲の場合は LOW、小さい曲の場合は HIGH が適しています。
Drive Equalizer +	OFF ～ 7* ～ 9	車速と AV 音量に応じて音質を自動で調整します。
K2テクノロジー	OFF/ON*	録音時に失われた信号成分を補完し、より自然な音声再生にします。 (➜ P.66)
リアライザー	OFF/1*/2/3	ぼやけた音をはっきりさせて、よりリアリティのある音にします。ここではそのレベルを設定します。圧縮された音楽に効果的です。
サウンドライザー	OFF*/LOW/MIDDLE/HIGH	実際のスピーカーの位置よりも高い位置から音が聞こえるような音響効果を作り出します。ここでは、仮想スピーカーの位置（高さ）を設定します。

*：お買い上げ時の設定です。

ソースの音量レベルを設定する

各ソースの音量をそろえます。

1 ［ソースレベル］をタッチする



2 各ソースの［－］または［＋］をタッチして、音量を調整する

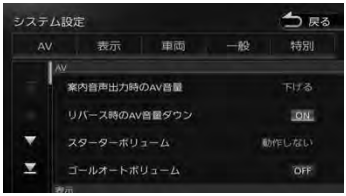
- 「iPod」と「SMART USEN」は接続方法別に調整してください。

システムの設定をする

本機のシステムに関する項目を設定します。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [システム] をタッチする

2 設定する項目をタッチする



設定できる項目は以下のとおりです。

● AV

項目	設定	説明
案内音声出力時のAV音量	そのまま / 下げる */ 消音	音声案内時の AV ソースの音量を設定します。
リバース時のAV音量ダウン	ON*/OFF	バックするときに AV ソースの音量を下げるかどうかを設定します。
スターターボリューム	動作しない */ 更新間隔：速 / 更新間隔：中 / 更新間隔：遅	電源オン時に AV の音量を一定量下げます。電源オフ時の音量に自動で戻すまでの間隔を設定します。
ゴールオートボリューム	ON/OFF*	目的地の残り距離、および自宅近くの距離に応じて音量を自動で下げていきます。(➜ P.122)

● 表示

項目	設定	説明
ディマー	OFF/ON/ イルミ連動 */ 時刻連動	ディマー（自動輝度設定）の連動方法を設定します。 OFF: 昼画面固定になります。 ON: 夜画面固定になります。 イルミ連動：車両のライトスイッチに連動します。 時刻連動：日の入り、日の出時間に連動します。
映像画面の時計表示	ON*/OFF	映像画面表示中に時計を表示するかどうかを設定します。 映像表示中以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。
消灯画面の時計表示	ON*/OFF	画面表示を消しているときに、時計を表示するかどうかを設定します。 画面表示を消しているとき以外の画面（現在地図画面など）では、この設定を［OFF］にしても、時計表示を消すことはできません。

● 車両

項目	設定	説明
オートアンテナ	あり / なし *	オートアンテナを装着している場合に設定します。(➜ P.23)
ステアリングリモコン	販売会社で設定するメニューです。	
ステアリングリモコン学習	ステアリングリモコンの動作を設定します。(➜ P.158)	
車両メンテナンス	この設定については、「車両メンテナンスを設定する」(➜ P.22) をご覧ください。	
ハンドル	左 / 右 *	パッセンジャースリープ機能で運転席のみ音を出すため、運転席の位置を設定します。(➜ P.66)

● 一般

項目	設定	説明
操作音の出力	ON*/OFF	操作音を出力するかしないかを設定します。
ショートカットボタン登録	マイメニューに表示されるショートカットボタンに機能を割り当てます。(➜ P.21)	
暗証番号登録	本機の起動のための暗証番号を設定します。(➜ P.122)	
暗証番号解除	設定した暗証番号を解除します。(➜ P.123)	
暗証番号変更	設定した暗証番号を変更します。(➜ P.123)	

項目	設定	説明
リフレッシュ通知	ON*/OFF	休憩を促す音声案内をするかどうかを設定します。(➜ P.56)
日没ライト案内 / 警告音声案内	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、音声で案内または警告をするかどうかを設定します。(➜ P.56)
日没ライト案内 / 警告表示	ON*/OFF	日没時間や夜間にライトが点灯していない場合、案内または警告を表示するかどうかを設定します。(➜ P.27)
SD カード初期化	SD カードの初期化を行います。SD カード内のデータは、すべて消去されます。	

● 特別

項目	設定	説明
オープンソースライセンス	ライセンスを表示します。	
ユーザー切替	一部の設定を 2 ユーザー分保持することができます。(➜ P.24)	
設定データの書き出し	設定を SD カードに保存します。(➜ P.121)	
設定データの読み込み	書き出した設定データを本機に読み込みます。(➜ P.122)	
システムの初期化	ユーザーが登録したデータ（登録地点、検索履歴など）を消去し、ユーザーが変更した設定をお買い上げ時の設定状態に戻します。(➜ P.121)	

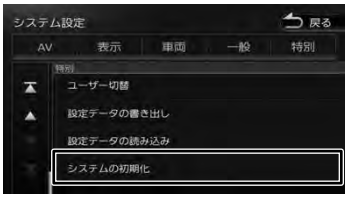
*：お買い上げ時の設定です。

システムを初期化する

本機の設定をお買い上げ時の状態に戻します。
次の項目は、設定を初期化しても削除されません。

- 暗証番号
- SD カードに録音した曲

1 ［特別］をタッチして、［システムの初期化］をタッチして、［はい］をタッチする



設定を SD カードに保存する

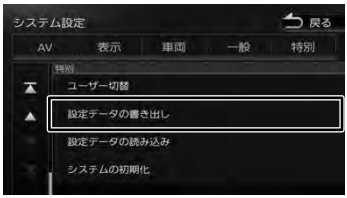
本機の設定を SD カードに保存（書き出し）することができます。
次の項目は、SD カードに保存（書き出し）できない項目です。

- センサーの学習データ
- 録音データ
- 暗証番号
- ステアリングリモコン設定 (ステアリングリモコン学習内容を含む)

次の項目は設定データを読み込んだときに初期化される項目です。

- 走行軌跡データ
- ECO データ
- 目的地または経由地の検索履歴
- Bluetooth 機器の登録
- 本機のハンズフリー電話帳 / 着信履歴 / 不在着信履歴 / 発信履歴 / プリセットダイヤル
- ナビのデバイス名 (Bluetooth)
- PIN コード (Bluetooth)

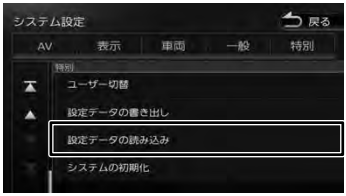
1 ［特別］をタッチして、［設定データの書き出し］をタッチして、［はい］をタッチする



SD カードに保存されると自動で再起動します。

設定データを本機に読み込む

1 ［特別］をタッチして、［設定データの読み込み］をタッチして、［はい］をタッチする



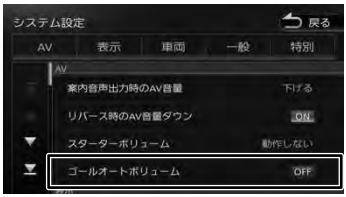
読み込みが終了すると自動で再起動します。

ゴールオートボリュームを設定する

目的地の残り距離、および自宅近くの距離が最大約 700m 手前から音量が「5」になるまで徐々に下げていきます。お買い上げ時は「OFF」に設定されています。
また、ゴールオートボリュームが働いた後に本機の電源をオフしてオンにすると、音量「5」から 5 秒ごとに音量を「1」ずつ大きくし、ゴールオートボリュームが働く前の音量に戻します。

1 ［AV］をタッチして、［ゴールオートボリューム］をタッチする

タッチするたびに［OFF］、［ON］が切り替わります。



- ルート案内していないときに自宅周辺を通過する場合もこの機能が働きます。
- ゴールオートボリュームが働いているときに音量を調整すると、この機能は解除され、その時点の音量のままになります。
- ゴールオートボリュームが働いているときは、スターターボリュームは働きません。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、自宅周辺（100m 以内）で本機の電源をオフしてオンすると、自宅に到着したと判断され、ゴールオートボリュームが働く前の音量に戻します。
- ルート案内しないで自宅に帰る場合、残り距離 700m 以内で本機の電源をオフしてオンすると、この機能は解除されます。
- 目的地が自宅以外のルート案内中は、自宅に近づいてもこの機能は働きません。

暗証番号を設定する

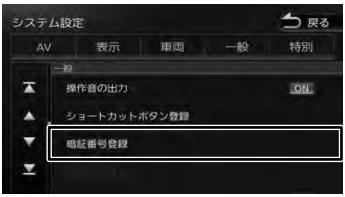
盗難防止対策のための暗証番号を設定します。

暗証番号を設定すると、本機の取り外し、または車のバッテリー交換を行った場合に、ここで設定した暗証番号の入力が必要になります。
正しい暗証番号が入力されないと、本機は起動しません。

- **暗証番号記入欄**

暗証番号を忘れた場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへご相談ください。

1 ［一般］をタッチして、［暗証番号登録］をタッチする



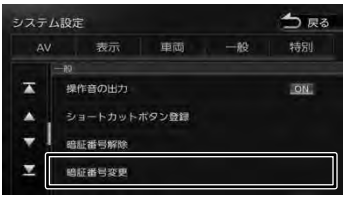
2 設定する 4 ～ 8 桁の暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

3 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

暗証番号を変更する

暗証番号を変更します。

1 ［一般］をタッチして、［暗証番号変更］をタッチする



2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

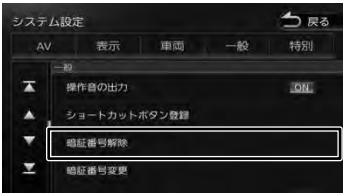
3 新しく設定する４～８桁の暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

4 もう一度、同じ暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

暗証番号を解除する

暗証番号を解除します。

1 ［一般］をタッチして、［暗証番号解除］をタッチする



2 現在設定されている暗証番号を入力し、［決定］をタッチする

現在の暗証番号が解除されます。

外部機器の設定をする

本機に外部機器を接続するときに必要な設定を行います。

1 【HOME】を押して［情報･設定］をタッチして［外部機器］をタッチする

2 設定する項目をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

● Bluetooth

Bluetooth の設定については 128 ページをご覧ください。

● カメラ

項目	設定	説明
バックアイカメラ接続	なし */バックアイカメラ/セレクトビューバックアイカメラ	使用するバックアイカメラシステムを設定します。(➜ P.152) 通常は販売会社で設定するメニューです。
カメラガイド線調整	―	バックアイカメラ（別売品）を接続しているときは、ガイド線固定となります。

● その他

項目	設定	説明
ETC2.0 接続	ON/OFF*	ETC2.0 を使用するときに設定します。(➜ P.156) 通常は販売会社で設定するメニューです。
スマートフォン置き忘れ警告	ON/OFF*	56 ページの「スマートフォン置き忘れ警告音声案内」をご覧ください。
ドライブレコーダー	なし */タイプ A/タイプ B	使用するドライブレコーダーを設定します。(➜ P.142) 通常は販売会社で設定するメニューです。

*：お買い上げ時の設定です。

・「ETC2.0 接続」は、次回起動時から有効となります。設定後は、本機の電源をオフにしてオンにしてください。

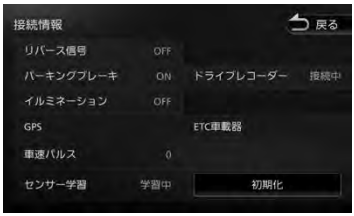
接続状態を確認する

本機に接続している各種機器の接続状態を確認します。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [接続] をタッチする

▼

接続情報が表示されます。



表示または設定できる項目は以下のとおりです。

項目	説明
リバース信号	リバース検出コードの接続状態を表示します。
パーキングブレーキ	パーキング検出コードの接続状態を表示します。
イルミネーション	イルミネーションコードの接続状態を表示します。
GPS	GPS アンテナの接続状態を表示します。 正しく接続されている場合は、測位状態を表示します。
ドライブレコーダー	本機対応ドライブレコーダー（別売品）を接続しているときの接続状態を表示します。 接続中： 一体型ナビ連動タイプ、または前後方録画別体型ナビ連動タイプのドライブレコーダーを接続しているときに表示します。 ナビ接続タイプのドライブレコーダーを接続しているときは、接続状態は表示されません。 正しく接続されると、ホーム画面にドライブレコーダーボタンが表示されます。
ETC 車載器	ETC 車載器の接続状態を表示します。
ETC2.0 車載器	ETC2.0 車載器の接続状態を表示します。 接続中： ETC2.0 車載器を接続しているときに表示します。
車速パルス	車速パルスの値を表示します。
センサー学習	センサーの学習状態を表示します。［初期化］をタッチすると、センサーの学習を初期化します。

- 「センサー学習」の [初期化] は、タイヤを交換したときなどに使用してください。
- ETC2.0 車載器を接続すると、「ETC 車載器」が表示されている位置に「ETC2.0 車載器」の接続情報が表示されます。

■ センサーの学習について

本機は、GPS の情報と内蔵センサーの情報を元に、自車位置精度を高めるためにセンサー学習を行っています。
一度学習した後も、常に変化に応じて再学習をしていますが、タイヤを交換した後、自車位置のずれが大きいようであれば、センサー学習のリセットを行ってください。
センサー学習をリセットした場合、しばらく走行すると新しくセンサー学習します。学習が完了すると、自車マークの位置が正しく表示されます。

正しくセンサー学習をするには

- GPS 情報の受信が良好な場所で、安定した速度で直進走行してください。
- 障害物 (建物、街路樹など) が少ない場所を走行してください。

- センサー学習中は、自車位置がずれる場合があります。
- GPS アンテナの接続状態や、GPS 情報の受信状態、学習状況は、本機の画面で確認することができます。
- ドライブレコーダー、ETC 車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識できるまで数分かかる場合があります。

バージョンを確認する

地図やソフトウェアなど、本機に収録されているデータのバージョンを確認します。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [バージョン] をタッチする

▼

バージョン情報が表示されます。

地図更新について

本機の地図は更新することができます。
地図更新に関するお問い合わせは JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
電話：0120-977-846
（ディーラーオプション専用窓口）
受付時間 月曜～金曜 9:30 ～ 18:00
（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

開通した道路情報の更新について

高速道路や主要道路などで新しい道路が開通した際に本機の道路情報を更新することができます。
詳細は当社ホームページをご覧ください。
https://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/ で車両メーカー名を選んでお使いのカーナビの型名を選んでご覧ください。

地図を更新する

本機の地図は更新することができます。
本製品は「無償地図更新」の特典を、期間限定でご利用いただけます。
「パソコンからダウンロードで地図更新」と「SDカード送付で地図更新」、いずれかの地図更新方法をお選びいただけます。

「パソコンからダウンロードで地図更新」の場合

■ 内容

2022 年春版（2021 年秋地図データ）
2023 年春版（2022 年秋地図データ）
2024 年春版（2023 年秋地図データ）
の地図を無償にて更新できます。

■ 更新可能期間

2022 年 3 月 ～ 2025 年 2 月予定
更新期間の詳細は https://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/ で車両メーカー名を選んでお使いのカーナビの型名を選んでご覧ください。

■ 更新方法

地図を更新するには MapFan へ登録します。
地図更新、MapFan への登録方法については https://www.kenwood.com/jp/products/oem/dop/ で車両メーカー名を選んでお使いのカーナビの型名を選んでご覧ください。
MapFan に登録するときに、本機のモデル名と製造番号が必要です。右記をご覧ください。

- 地図データの更新にはパソコン通信環境と SDHC カード（8GB 以上）が別途必要です。

■ パソコンおよびインターネット通信環境がないお客様へ

2024 年春版（2023 年秋地図データ）のみ SD カードで送付いたします。同梱の申込みハガキに必要事項を記載の上、受付期間内にご送付ください。

申込み受付期間：
本体購入時～ 2022 年 5 月 31 日まで
お届け時期：2024 年 3 月 ～ 4 月（予定）
地図データ：2024 年春版（2023 年秋地図データ）

- 必要事項はすべてご記入ください。記入漏れがある場合は、受付できない場合もあります。あらかじめご了承ください。
- 申込みハガキは再発行致しません。
- 転居の際は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでご連絡をください。連絡が無い場合は、SDカードの送付はできません。

個人情報の利用目的と使用範囲

無償地図更新申込みハガキにご記入頂いた個人情報は、無償地図更新申込みの目的以外には使用しません。また、お客様からご提供頂いた個人情報は第三者には開示しません。
ただし、無償地図更新業務および関連業務を必要に応じて委託する業務委託先には、必要最小限の範囲で開示します。その場合、業務委託先に開示された個人情報の管理と目的外使用の禁止を徹底させます。

無償地図更新に関するお問い合わせは
JVCケンウッドカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。

電話：0120-977-846
受付時間 月曜 ～ 金曜 9:30 ～ 18:00
（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

モデル名と製造番号を確認する

1. 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチする
2. ［ナビ］をタッチする
3. ［その他］をタッチして、［地図更新プログラム］をタッチする
4. モデル名と製造番号を確認する

Bluetooth 機器の登録と設定

本機は、Bluetooth 対応機器（スマートフォン、携帯電話、オーディオプレーヤーなど）を登録して、ハンズフリー通話や Bluetooth オーディオの再生ができます。

Bluetooth 接続中アイコン

- Bluetooth 機器は 10 台まで登録できます。11 台目を登録しようとすると接続頻度の低い機器を削除して登録します。
- Bluetooth の対応プロファイルについては、178 ページをご覧ください。

本機に Bluetooth 機器を登録する

本機で Bluetooth 機器を利用できるように登録（ペアリング）します。

1 登録する Bluetooth 機器の Bluetooth 機能をオンにする

2 Bluetooth 機器側で “SKX-S805”、“KXM-E505W” または “KXM-E505W2” を選ぶ

3 デバイス名とパスキーを確認する

- Bluetooth 機器側で PIN コードの表示または PIN コードの入力画面が表示されたときは表示されている本機の PIN コードを Bluetooth 機器に入力してください。初期設定は「0000」に設定されています。Bluetooth 機器によっては、PIN コードを入力するときに、この画面が表示されていないことがあります。その場合は、本機の PIN コードを確認してから Bluetooth 機器に入力してください。

  PIN コードは、「Bluetooth 設定」から確認できます。（➜ P.128）

4 使用する機能をタッチしてチェックを付けて［はい］をタッチする

［ハンズフリー 1］/［ハンズフリー 2］：
ハンズフリーを登録する番号を選びます。

［オーディオ / アプリケーション連携］：
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

［電話帳登録］：
電話帳登録をします。

▼

Bluetooth 機器の登録が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

- 電話帳の登録はここでチェックを付けなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが付いています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが付いています。

オートペアリング機能で登録する

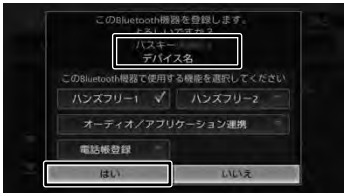
iPhone または iPod touch を本機に USB 接続すると、オートペアリングの機能がはたらき、簡単に iPhone または iPod touch を登録できます。オートペアリング機能は、Bluetooth 設定でオフにすることもできます。(➜ P.128)

- 登録ができない場合は 127 ページの登録方法で登録してください。

1 iPhone または iPod touch の Bluetooth 設定をオンにする

2 iPhone または iPod touch を USB ケーブルで接続する

3 デバイス名とパスキーを確認して、使用する機能をタッチしてチェックを付けて［はい］をタッチする



［ハンズフリー 1］/［ハンズフリー 2］：
ハンズフリー登録する番号を選びます。

［オーディオ / アプリケーション連携］：
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

［電話帳登録］：
電話帳登録をします。

▼

Bluetooth 機器の登録が始まります。
登録と接続が完了すると、本機の画面に Bluetooth 接続中アイコンが表示されます。

- 電話帳の登録はここでチェックを付けなくても後から登録できます。
- 電話帳は最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の電話番号を本機に登録することができます。
- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。
- ハンズフリーは 1 台目の登録の場合は「ハンズフリー 1」にチェックが付いています。「ハンズフリー 1」に登録機器がある場合は、「ハンズフリー 2」にチェックが付いています。

Bluetooth の設定をする

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [外部機器] をタッチする

2 ［Bluetooth］をタッチする

設定できる項目は以下のとおりです。

項目	設定	説明
Bluetooth	ON*/ OFF	Bluetooth 接続するかしないかを設定します。
デバイス接続	本機に Bluetooth 機器を接続します。(➜ P.129)	
PIN コード	0000*	現在の本機の PIN コードが表示されます。また、本機の PIN コードを変更します。(➜ P.130)
デバイス名	現在の本機のデバイス名が表示されます。また、本機のデバイス名を変更します。(➜ P.130)	
デバイスアドレス	本機のデバイスアドレスが表示されます。	
オートペアリング	ON*/ OFF	オートペアリング機能を設定します。
着信の自動応答	OFF*/1 秒 /5 秒 /10 秒 /15 秒 /30 秒	着信時に、自動的に通話可能になるまでの時間を設定します。
着信音量	0 ～ 15* ～ 40	着信音量を調整します。
受話音量	0 ～ 15* ～ 40	受話音量を調整します。
通話中の音量調整	ON*/ OFF	ハンズフリー通話中の音量を音量キーで調整するかどうかを設定します。
音質調整	通話時の音質を調整します。(➜ P.129)	

*：お買い上げ時の設定です。

■ **通話音質を調整する**

1 ［音質調整］をタッチする

2 各項目を調整する

［エコーキャンセル］（－ 5 ～ 0* ～ +5）：
エコーキャンセルの値を調整します。

［ノイズリダクション］（－ 5 ～ 0* ～ +5）：
ノイズリダクションの値を調整します。

［マイクゲイン］（－ 10 ～ 0* ～ +10）：
マイクゲインの値を調整します。

［クリアボイス］：
通話中にタッチしてチェックを付けると音声が聞き取りやすくなります。
もう一度タッチしてチェックを外すと元に戻ります。

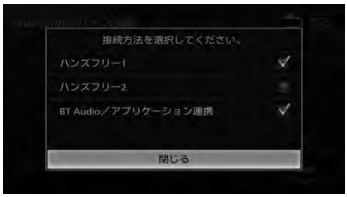
［ミュート］：
通話中にタッチしてチェックを付けると送話を消音します。
もう一度タッチしてチェックを外すと消音を解除します。
*：お買い上げ時の設定です。

Bluetooth 機器の使用する機能を変更する

1 ［デバイス接続］をタッチする

2 機能を変更したい Bluetooth 機器をタッチする

3 チェックボックスをタッチして使用する機能にチェックを付ける



［ハンズフリー 1］/［ハンズフリー 2］：
ハンズフリー登録する番号を選びます。

［オーディオ / アプリケーション連携］：
オーディオ再生、本機対応のカーナビ連携アプリケーションを Bluetooth 接続で使用します。

■ **機能アイコンについて**

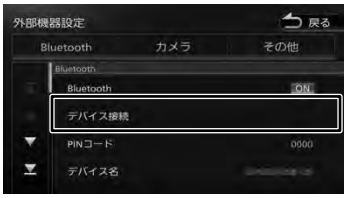
：ハンズフリー

：オーディオ / アプリケーション連携

登録した機器を削除する

本機に登録した Bluetooth 機器を削除します。

1 ［デバイス接続］をタッチする



2 ［削除］をタッチする

3 削除する Bluetooth 機器を選んでタッチし、［削除］をタッチする

複数選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべての機器を選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての機器の選択を解除します。

4 ［はい］をタッチする

選択した機器が削除されます。

PIN コードを変更する

接続する Bluetooth 機器に合わせて、本機の PIN コードを変更できます。

1 Bluetooth 設定画面の［PIN コード］をタッチする

2 PIN コードを入力して［決定］をタッチする

PIN コードが変更されます。

BS ：
カーソルの前にある文字を消去します。

- 入力できる PIN コードは４～８桁です。

本機のデバイス名を変更する

本機に Bluetooth 機器を登録（ペアリング）するときに選択するデバイス名を変更することができます。

1 Bluetooth 設定画面の［デバイス名］をタッチする

2 デバイス名を入力して［決定］をタッチする

デバイス名が変更されます。

- デバイス名は 20 文字まで入力できます。アルファベット（大文字、小文字）、数字、記号、スペースの文字が使用できます。
- 文字入力については 25 ページをご覧ください。

ハンズフリーを使う

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応携帯電話またはスマートフォンでハンズフリー通話を行うことができます。

電話メニュー画面を表示する

1 【 HOME 】を押して [電話メニュー] をタッチする

電話メニュー画面が表示されます。

電話メニュー画面の見かたと操作

① **ハンズフリー 1/ ハンズフリー 2**

2台登録している場合は、2台とも待ち受け状態になります。電話をかける場合は 1 または 2 をタッチして接続機器を選択してください。

- プリセット、履歴、電話帳などは選択されている機器の内容を表示しています。
- 接続した Bluetooth 機器の電波受信状態、機器のバッテリー残量、デバイス名が表示されます。

② **[接続切替]**

Bluetooth デバイス接続画面を表示します。（➜ P.129）

③ **[プリセット]**

プリセットダイヤルに登録された番号に発信します。（➜ P.132）

[履歴]

PBAP 対応機器の場合は発信、着信、不在着信履歴を表示します。（➜ P.133）

[電話帳]

電話帳を表示します。（➜ P.134）

[10 キー]

電話番号を入力します。（➜ P.135）

④ **[音声認識]**

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけます。

⑤ **[リダイヤル]**

前回発信した電話番号に発信します。

⑥ **[編集]**

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。（➜ P.132）

- Bluetooth 機器のバッテリー残量と電波の受信状態は、実際の Bluetooth 機器の表示と一致しない場合があります。
- プリセット、履歴、電話帳などは現在接続している機器が対象です。

ハンズフリーで電話を受ける / 切る

電話を着信すると、着信画面が表示されます。

1 をタッチする

（通話終了）：着信を拒否します。

[通話切替]：
接続している機器がキャッチホン機能に対応しているときに表示します。タッチすると通話先を切り替えます。

[音質調整]：
音質を調整します。（➜ P.129）

[トーン]：
トーンダイヤルをするための 10 キーが表示されます。

：
プライベート通話（携帯電話）とハンズフリー通話を切り替えます。

[閉じる]：
表示を消します。

［電話］をタッチすると再度表示します。

- ハンズフリー電話の着信音量と受話音量は、AV の音量とそれぞれ独立して調整できます。
- ハンズフリー電話の受話音声は、フロントスピーカーからのみ出力されます。
- ハンズフリー１と２に登録している機器がある場合、１台が発信または着信状態になったときは、もう１台の機器との接続が切断されます。通話が終わると切断した機器を再度接続します。

2 通話が終わったら、 をタッチする

プリセットダイヤルを使う

プリセットダイヤルから電話をかける

プリセットダイヤルに登録された電話番号に発信します。
あらかじめプリセットダイヤルに電話番号を登録しておく必要があります。（➜ P.132）

1 【HOME】を押して [電話メニュー] をタッチする

2 発信するダイヤルをタッチする

選択した電話番号に発信されます。

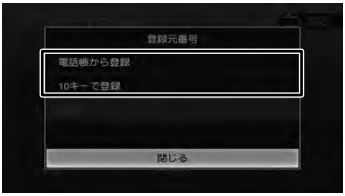
プリセットダイヤルに電話番号を登録する

プリセットダイヤルに電話番号を登録します。

1 ［編集］をタッチする

2 登録するプリセットをタッチする

3 登録方法をタッチし、電話番号を登録する



［電話帳から登録］：
登録する電話番号を電話帳から選んでタッチします。

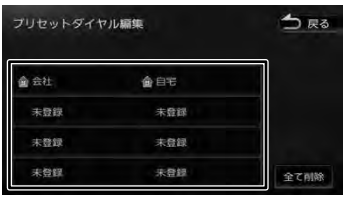
［10 キーで登録］：
電話番号を入力し、［登録］をタッチします。

プリセットダイヤルの登録を削除する

プリセットダイヤルに登録されている電話番号を削除します。

1 ［編集］をタッチする

2 削除するプリセットダイヤルをタッチして［削除］をタッチする



［全て削除］：
すべてのプリセットダイヤルを削除します。

3 ［はい］をタッチする

選択したプリセットダイヤルが削除されます。

履歴から電話をかける

PBAP 対応機器の場合は不在着信、着信、発信履歴から発信することができます。PBAP に対応していない機器は使用できません。

1 【HOME】を押して [電話メニュー] をタッチする

2 ［履歴］をタッチする

機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと履歴データの取得が始まります。

3 発信する履歴をタッチして、［はい］をタッチする

▼

選択した電話番号に発信されます。

電話帳から電話をかける

電話帳から電話番号を選んで発信します。

1 ［電話帳］をタッチする

2 発信する相手をタッチする

3 発信する電話番号をタッチして、［はい］をタッチする

▼

選択した電話番号に発信されます。

- 電話帳の登録方法については 134 ページをご覧ください。

PBAP 対応機器の電話帳を登録する

最大 1000 件分（1 件あたり最大 5 番号まで）の PBAP 対応機器の電話番号を本機に登録することができます。

- 電話番号情報のないデータは本機に登録できません。

1 ［電話帳］をタッチする

2 ［登録］をタッチする

PBAP 対応機器の場合は電話帳の登録が始まります。機器によってはアクセスを許可する操作が必要な場合があります。アクセス許可の操作を行うと電話帳の登録が始まります。

電話帳を削除する

1 ［電話帳］をタッチする

2 ［削除］をタッチする

3 削除する登録名をタッチして［削除］をタッチする

複数選択することもできます。

［全て選択］：
リスト内のすべてを選択します。

［全て解除］：
リスト内のすべての選択を解除します。

4 ［はい］をタッチする

選択した登録が削除されます。

ダイヤルして電話をかける

1 ［10 キー］をタッチする

2 電話番号を入力して、 を タッチする

3 ［はい］をタッチする

入力した電話番号に発信されます。

地点情報から電話をかける

地点検索した場所に電話を発信します。

ここまでの手順 ➤ 地点の詳細情報画面を表示する（➜ P.33）

1 をタッチして、［はい］をタッチする

電話が発信されます。

- 地点情報に電話番号が表示されていない場合は、発信できません。

リダイヤルで電話をかける

前回発信した電話番号に発信します。

1 ［リダイヤル］をタッチする

2 ［はい］をタッチする

前回の電話番号に発信されます。

音声認識機能で電話をかける

スマートフォンの音声認識機能を使って電話をかけることができます。

1 ［音声認識］をタッチする

スマートフォンの音声認識機能が起動します。

2 電話番号または電話帳の名前を話す

［開始］：
音声を認識できる状態にします。

［終了］：
音声認識機能を終了します。

- 【HOME】を押し続けても音声認識が起動します。
- スマートフォンが音声認識機能に対応していない場合は、使用できません。
- スマートフォンの機種によっては、電話をかける動作ができない場合があります。

Bluetooth オーディオ機器を再生する

本機に登録（ペアリング）した Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機で再生することができます。

画面の見かたと操作

ここまでの手順

ソースを Bluetooth AUDIO に切り替える
（➜ P.65）

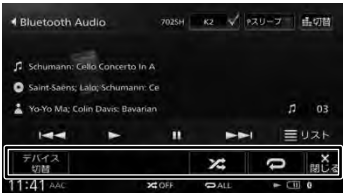
① 曲名
　アルバム名
　アーティスト名
② 再生経過時間
③ 音声形式
④ ランダム再生モード
⑤ リピート再生モード
⑥ 再生残り時間
⑦ 再生状態アイコン
⑧ バッテリー残量
⑨ 曲番号
⑩ デバイス名

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[K2]	チェックを付けるとK2テクノロジー機能がオンになります。 (➜ P.66)
[P スリープ]	チェックを付けるとパッセンジャースリープ機能がオンになります。(➜ P.66)
[切替]	画面のデザインが切り替わります。
▶	再生します。
❚❚	一時停止（ポーズ）します。
⏮ / ⏭	前または次のファイルを再生します（スキップ）。 タッチし続けると、早戻し（バックサーチ）または早送り（フォワードサーチ）します。
[リスト]	再生中のファイルの再生リストを表示します。 • [トップ]： 一番上の階層のフォルダに移動します。 • [一つ上]： 一つ上の階層のフォルダに移動します。
[表示]	サブ機能ボタンを表示します。

サブ機能

[表示] をタッチするとサブ機能ボタンが表示されます。



サブ機能ボタンは一定の時間がすぎると消えます。画面の [閉じる] でも消すことができます。

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[デバイス切替]	デバイス切替画面が表示され、Bluetooth デバイスを切り替えることができます。
⤮	タッチするたびにランダム再生モードが切り替わります。
⟲	タッチするたびにリピート再生モードが切り替わります。
[閉じる]	サブ機能ボタンを消します。

- Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの機種によっては、操作ボタンや楽曲情報を表示できない場合があります。また、再生方法 (スキップ操作やランダム再生モード切替など) を操作できない場合があります。
- バッテリー残量は、実際の Bluetooth 対応機器の表示と一致しない場合があります。
- バッテリー残量は、Bluetooth 対応機器をハンズフリー接続したときに表示されます。
- 他の Bluetooth 機器と通信中は音が途切れる場合があります。
- 音飛びが発生する際には、ご利用の機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
- 再生する音楽アプリを変えたい場合は、使用中の Bluetooth オーディオ機器にて音楽アプリを切り替えてください。

スマートフォン連携について

本機はスマートフォンと連携することで、ドライブ、AV に役立つさまざまな機能を拡張することができます。

NaviCon　iPhone/Android

「NaviCon」と連携すると、「NaviCon」で登録した地点を本機に送信し、目的地に設定したり、本機に地点登録することができます。また、NaviCon の画面で表示している場所の地図を本機に表示することもできます。(➜ P.46)

KENWOOD Drive Info.　iPhone/Android

「KENWOOD Drive Info.」は運転に便利なコンテンツや検索機能など、本機と連携することで機能を拡張することができます。(➜ P.139)

ただし、使用できるコンテンツは無償コンテンツのみです。
※本機では有料コンテンツをご利用いただけません。

SMART USEN　iPhone/Android

音楽放送のプロが選曲した 1,000 を超えるチャンネルが、いつでも手軽に楽しめる音楽聴き放題スマートフォンアプリケーションです。本機に接続すると本機からチャンネル選択などの操作をすることができます。(➜ P.98)

KENWOOD Music Info.　iPhone/Android

音楽 CD を再生または録音したときに、本機で楽曲情報が表示されない場合、「KENWOOD Music Info.」を使ってインターネット上にある音楽データサーバーの楽曲情報データベースにアクセスし、楽曲情報を取得できます。(➜ P.82)

KENWOOD Drive Info. を使う

「KENWOOD Drive Info.」は専用サーバー上のコンテンツを iOS または Android アプリケーションを使って本機と連携し快適なドライブをサポートします。
「KENWOOD Drive Info.」アプリケーションでご利用いただけるコンテンツは、以下になります。

- ガソリンスタンド価格表示
- フリーワード検索
- 天気予報情報
- 開通予定情報のダウンロード
- お知らせメッセージ

KENWOOD Drive Info. を使うための準備

1 App Store または Google Play から「KENWOOD Drive Info.」アプリをダウンロードする

2 ダウンロードした「KENWOOD Drive Info.」アプリを起動する

利用規約の画面が表示されます。

3 画面をスクロールして利用規約を確認、同意の上［同意する］をタッチする

4 本機にスマートフォンを接続する

■ iPhone を接続する場合

iPhone に付属の接続ケーブルを使用して本機の USB ケーブルに接続します。

また、Bluetooth で接続することもできます。Bluetooth 接続には登録が必要です。(➜ P.127)

Bluetooth 機器で使用する機能は［オーディオ / アプリケーション連携］にチェックを付けてください。

■ Android 搭載スマートフォンを接続する場合

Android 端末と本機を Bluetooth 接続します。(➜ P.127)

行き先を検索する

ガソリン価格で検索する

現在地または検索地点周辺のガソリンスタンドのガソリン価格情報を取得し表示します。ガソリン価格情報は現在地または検索地点周辺の半径最大 5km までの情報を取得します。

1 現在地または検索地点の画面で［周辺］をタッチする

2 ［ガソリン価格］をタッチする

ガソリンスタンドがある場所に価格が表示されます。

［情報］：
ガソリンスタンドの情報を表示します。

［レギュラー］：
レギュラー価格を表示します。

［ハイオク］：
ハイオク価格を表示します。

- ガソリン価格は、データが取得できていないときは表示されません。また個人からの口コミによる情報のため、最新の情報でなかったり、情報内容が正しくない場合があります。

施設名称をフリーワード検索する

目的地検索画面の［名称］検索で、専用サーバーからフリーワード検索ができるようになります。

1 目的地検索画面で [名称] をタッチする

2 [フリーワード] をタッチしてチェックを付ける

3 検索したい施設のキーワードを入力して［検索］をタッチする

数のキーワードを入力（スペースを含めて４８文字まで）することもできます。

複数のキーワードはスペースで区切って入力します。

［キーワード追加］をタッチするとスペースが一つ入ります。

▼

フリーワード検索の結果が表示されます。

天気予報を見る

天気情報を地図画面で取得することができます。

■ 地図画面から天気情報を見る

地図画面からは、現在地点（自車位置周辺）または検索した地点の３時間ごと（最大 42 時間先まで）の天気予報を見ることができます。

1 現在地または検索地点の画面で［周辺］をタッチする

2 ［天気情報］をタッチする

▼

天気予報が表示されます。

[3 時間毎予報]：
３時間ごとの天気予報を表示します。

[週間予報]：
１週間分の天気予報を表示します。

■ INFO 中画面から天気情報を見る

現在地点（自車位置周辺）の３時間以内の天気予報、気温、降水確率が自動的に表示されます。さらに天気情報をタッチすると週間天気予報を見ることができます。
ルート案内中は、目的地付近の天気予報が表示されます。

1 INFO 中画面で天気情報をタッチする

現在地の天気予報が表示されます。

[3 時間毎予報]：
３時間ごとの天気予報を表示します。

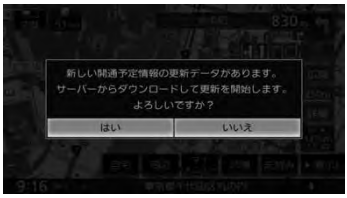
[週間予報]：
１週間分の天気予報を表示します。

開通予定情報 / お知らせメッセージ

■ 開通予定情報

開通予定情報がアップデート可能になると、データ更新の確認画面が表示されます。

1 ［はい］をタッチする

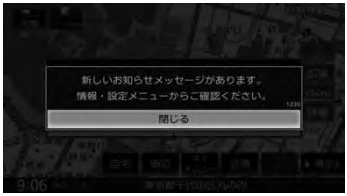


ダウンロードとアップデートを開始します。
アップデートが終了すると自動で再起動します。

■ お知らせメッセージ

新しいお知らせメッセージを受信すると、通知画面が表示されます。

1 [閉じる] をタッチする



2 【HOME】を押して
［情報・設定］をタッチして
[お知らせ] をタッチする

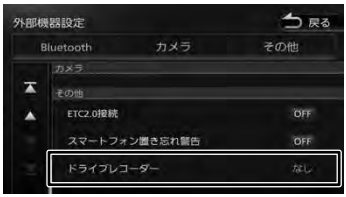
お知らせの内容が表示されます。
［お知らせ］は情報があるときのみ情報・設定画面に表示されます。

ドライブレコーダーの接続設定をする

本機に接続したドライブレコーダー（別売品）に応じて、使用するドライブレコーダーを設定します。
通常は、販売会社で設定されています。システムの初期化（➜ P.121）を行ったときなどは、下記を参考に設定しなおしてください。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [外部機器] をタッチする

2 ［その他］をタッチして、［ドライブレコーダー］をタッチする



3 使用するドライブレコーダーをタッチする

[なし]：
ドライブレコーダーを接続しません。

[タイプ A]：
一体型ナビ連動タイプ、または前後方録画別体型ナビ連動タイプのドライブレコーダーを接続しているときに選択します。（➜ P.142）

[タイプ B]：
ナビ接続タイプのドライブレコーダーを接続しているときに選択します。（➜ P.151）

ナビ連動タイプドライブレコーダーを使う

本機対応ドライブレコーダー（一体型ナビ連動タイプ（別売品）、または前後方録画別体型ナビ連動タイプ（別売品））を接続すると、メニュー画面にドライブレコーダーボタンが表示され、タッチすると録画したファイルの再生、設定などを本機から操作することができます。
ドライブレコーダーを接続するときは、設定が必要です。通常は、販売会社で設定されています。システムの初期化（➜ P.121）を行ったときなどは、左記を参考に設定しなおしてください。

ドライブレコーダー（別売品）に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- デモ走行中や GPS 信号が受信できない場合は、録画ファイルに現在地の位置情報が記録されません。
- ドライブレコーダーに microSD カードが挿入されていないときはドライブレコーダーの録画、設定やファイルの再生など何もできません。
- ドライブレコーダーの映像を再生するときは、安全な場所に停車してください。

録画について

ドライブレコーダーの録画には、「常時録画」、「手動録画」、「急加速 / 急減速感知録画」、「駐車録画」と「静止画」を撮影することができます。

- 録画データは、所定の時間単位に分割された録画ファイルになります。
- 録画されたデータはドライブレコーダーの microSD カードに保存されます。microSD カードの容量がいっぱいになると、古いファイルから順に削除し、録画を行います。ただし、保存フォルダに移動したファイル、手動録画したファイル、静止画ファイルは削除されません。
- パソコンなどで microSD カード内のフォルダー、ファイル名の変更、削除、移動などを行うと本機で正しく再生できなくなることがあります。

常時録画

ドライブレコーダーが起動（ACC ON）すると録画ファイルをドライブレコーダー内の microSD カードへ保存します。

- 常時録画で記録された急加速・急減速情報のあるファイルは、通常は自動削除されません。ただし、microSD カードの空き容量がない状態で新たに急加速・急減速情報のある映像を記録した場合は、古い急加速・急減速情報のある記録ファルが自動削除される場合があります。
- ドライブレコーダー設定および録画ファイル操作 / 再生中は、常時録画が停止します。
  ドライブレコーダー設定画面または録画ファイル操作 / 再生画面から別の画面に切り替えると常時録画を再開します。
- 常時録画停止中に走行を開始すると、ドライブレコーダー設定または録画ファイル操作 / 再生は中断し、メニューが表示されて常時録画を再開します。ただし、以下の場合は処理が終わるまで常時録画を再開しません。
  - 録画ファイル削除／保存中
  - ドライブレコーダーのmicroSDカード初期化中
  - 加速度センサー最適化中
  - ドライブレコーダーの設定初期化中

急加速 / 急減速感知録画

ドライブレコーダーに内蔵のセンサーが急加速 / 急減速を感知すると、常時録画ファイルが「急加減速」発生時のデータとして記録されます。記録されたファイルや再生については 145 ページをご覧ください。
急加速 / 急減速の感度を設定することができます。設定については 149 ページをご覧ください。

手動録画

ドライブレコーダーのカメラモニター画面から手動で録画することができます。操作については 144 ページをご覧ください。

駐車録画

駐車中（ACC OFF 時）の車両に他の車が当たる、または、いたずらなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。
ドライブレコーダー設定の［駐車録画］の [駐車録画] を「ON」に設定しているときに駐車録画がされます。（お買い上げ時は「OFF」に設定されています。）

- [駐車録画開始時間設定（降車時）] が短い場合、車のエンジンを止めて（ACC を OFF にして）から降車や荷物の出し入れを行ったときに振動を検知し、駐車録画を開始することがあります。そのときは [駐車録画開始時間設定（降車時）] を長めに設定してください。(➜ P.149)
- [駐車録画発生のお知らせ] を「ON」に設定していると、駐車中（ACC OFF 時）に駐車録画が発生した場合、電源をオンにしたときに表示でお知らせします。

静止画

ドライブレコーダーのカメラモニター画面から静止画を撮影することができます。操作については 146 ページをご覧ください。

ドライブレコーダーメニューを表示する

1 【HOME】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

▼

[再生]：
録画した映像を再生します。

[カメラモニター]：
ドライブレコーダーの映像を表示します。

[設定]：
ドライブレコーダーの設定を行います。

ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

1 【HOME】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

2 ［カメラモニター］をタッチする

▼

ドライブレコーダーの映像が表示されます。

ドライブレコーダーの操作ボタンを使う

1 画面をタッチする

操作ボタンが表示されます。

画面の見かたと操作

①録画の種類
②録画画質
③音声録音あり 音声 / なし 音声

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[前後切替] *	ドライブレコーダーのリア映像と、フロント映像を切り替えます。
[開始] / [停止]	[開始] をタッチすると手動録画を開始します。 手動録画中に [停止] をタッチすると、手動録画を終了します。 [開始] をタッチしてから 2 分が経過すると [停止] をタッチしなくても自動で手動録画は停止します。
[静止画]	静止画を撮影します。

ボタン	説明
[映像調整]	本機に表示される画質を調整します。ドライブレコーダーに録画される映像には影響しません。(➜ P.67) 前後方録画別体型ナビ連動タイプの場合、各項目の初期値は以下のとおりです。 コントラスト：0 ブライトネス：+2 色の濃さ：0 色合い：+1 システムの初期化を実行したときなどは、この値に設定し直してください。
[非表示]	操作ボタンを消します。

* 前後方録画別体型ナビ連動タイプのみ

録画ファイルを再生する

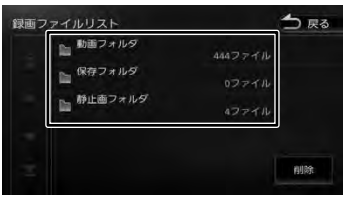
1 【HOME】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

2 ［再生］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

4 再生したい録画フォルダを選択する



［動画フォルダ］：
動画フォルダのファイルを表示します。

［保存フォルダ］：
保存フォルダのファイルを表示します。

［静止画フォルダ］：
静止画フォルダのファイルを表示します。

5 再生したいファイルを選択する

録画ファイルの再生が始まります。

位置情報が記録されているファイルを再生すると地図表示モード（録画した位置と映像を同時表示）で表示され、位置情報が記録されていないファイルを再生すると映像表示モードで表示されます。

再生音はフロントから出力されます。

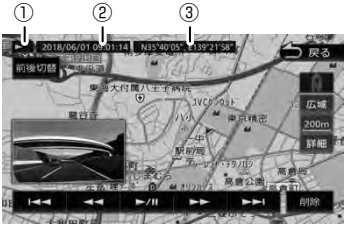
ファイル名の右にあるアイコンは、以下のイベント録画であることを表しています。

：急加速・急減速時に録画されたファイル
：手動で録画されたファイル
：駐車中に録画されたファイル

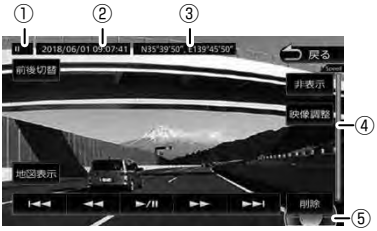
- 操作ボタンは一定時間が過ぎると消えます。画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。
- 録画された場所の位置情報が記録されていない場合は、録画位置を「N--° --' --'E--° --' --'」と表示します。
- 駐車録画ファイルには位置情報が記録されていないため、地図表示モードにはできません。
- 地図表示モード中に、位置情報が記録されていないファイルの再生に切り替わると、映像表示モードに切り替わります。
  ただし、映像表示モードから地図表示モードには自動的に切り替わりません。
- 地図は北側が画面の上方向になるように表示され、変更できません。
- フォルダやファイルの選択、または再生中は、常時録画が停止します。

動画ファイル画面の見かたと操作

地図表示モード



映像表示モード



① 再生状態表示
② 録画日時
③ 録画位置
④ 速度メーター
⑤ 加速度スケール

- ④および⑤は、録画地点のおおよその値をグラフ表示したものです。

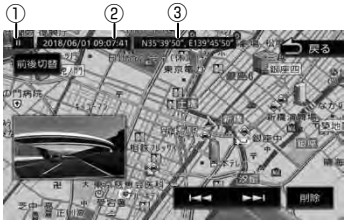
● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[前後切替] *	フロント映像とリア映像を切り替えます。
映像表示部 (地図表示モード)	映像表示部にタッチすると、映像表示モードに切り替えます。
[地図表示] (映像表示モード)	地図表示モードに切り替えます。 小画面に映像が表示されます。
▶ / ❚❚	再生または一時停止します。
◀◀ / ▶▶	早戻し / 早送りします。
❙◀◀ / ▶▶❙	前のファイルまたはファイルの先頭 / 次のファイルを再生します。
[削除]	再生しているファイルを削除します。
[映像調整] (映像表示モード)	映像の画質を調整します。 (➜ P.67)
[非表示] (映像表示モード)	操作ボタンを消します。

* 前後方録画別体型ナビ連動タイプのみ

静止画ファイル画面の見かたと操作

地図表示モード



映像表示モード

① 再生状態表示
② 静止画撮影日時
③ 静止画撮影位置

● 表示されるボタンとはたらき

ボタン	説明
[前後切替] *	同じ時刻に記録されたフロントまたはリアの静止画に切り替わります。
映像表示部 (地図表示モード)	映像表示部にタッチすると、映像表示モードに切り替えます。
[地図表示] (映像表示モード)	地図表示モードに切り替えます。 小画面に静止画が表示されます。
❙◀◀ / ▶▶❙	前のファイルを表示します。 次のファイルを表示します。
[削除]	表示しているファイルを削除します。
[映像調整] (映像表示モード)	静止画の画質を調整します。 (➜ P.67)
[非表示] (映像表示モード)	操作ボタンを消します。

* 前後方録画別体型ナビ連動タイプのみ

ファイルを保存フォルダへ移動する

保存フォルダに移動されたファイルは、自動削除されません。
残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。

- 静止画ファイルは保存フォルダへ移動できません。

1 【HOME】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

2 ［再生］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

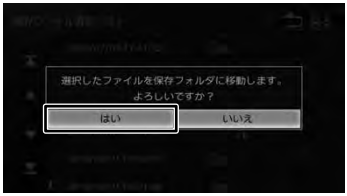
4 録画フォルダを選択する

5 ［保存］をタッチする

6 保存したいファイルを選択する

メッセージが表示されます。

7 ［はい］をタッチする



選択したファイルを保存フォルダへ移動します。

ファイルを削除する

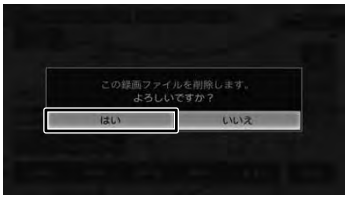
録画ファイルまたは静止画ファイルを削除することができます。

■ 再生中のファイルを削除する

1 削除したいファイルを再生して画面をタッチする

2 ［削除］をタッチする

3 ［はい］をタッチする



再生中のファイルが削除されます。

■ **フォルダ内のファイルをすべて削除する**

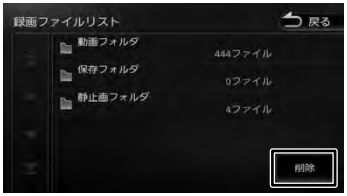
1 【HOME】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

2 ［再生］をタッチする

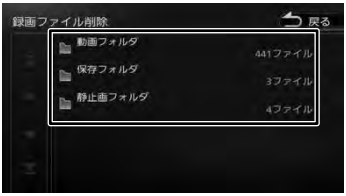
メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

4 ［削除］をタッチする



5 削除するフォルダを選択する



メッセージが表示されます。

6 ［はい］をタッチする

フォルダ内のファイルがすべて削除されます。

ドライブレコーダーの設定をする

ドライブレコーダーの設定を行います。

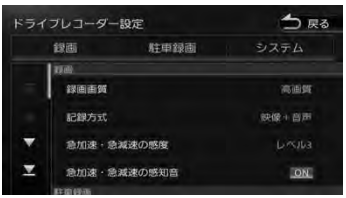
1 【HOME】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

4 各項目を設定する



- 設定中は、常時録画が停止します。

● 録画

項目	設定	説明
録画画質	高画質 */ 標準	録画する解像度を設定します。録画モード別に画質の設定はできません。
記録方式	映像＋音声 */ 映像のみ	録画時にマイクの音声を記録するかどうかを設定します。
急加速・急減速の感度	レベル 1（低感度）/ レベル 2/ レベル 3*/ レベル 4/ レベル 5 （高感度）	急加速・急減速の測定感度を設定します。
急加速・急減速の感知音	ON*/OFF	急加速・急減速を記録したときに、ブザーを鳴らすかどうかを設定します。

● 駐車録画

項目	設定	説明
駐車録画	ON/OFF*	駐車時（車両のエンジンキー OFF 時）に、車両の衝撃を検知して、録画を開始するかどうかを設定します。
駐車録画の動作感度	レベル 1（低感度）/ レベル 2/ レベル 3*/ レベル 4/ レベル 5 （高感度）	駐車中の車両の衝撃を検知する感度を設定します。 1（大きな衝撃で検知します）～ 3（標準）～ 5（小さな衝撃で検知します）
駐車録画開始時間設定（降車時）	1 分間 */3 分間 /5 分間	エンジンをオフにしてから駐車録画を一定時間無効にする時間を設定します。
駐車録画の録画時間	10 秒間 /30 秒間 */ 1 分間	衝撃検知後の駐車録画の録画時間を設定します。
駐車録画発生のお知らせ	ON/OFF*	駐車時（車両のエンジンキー OFF 時）に、駐車録画が発生すると、電源をオンにしたときに画面に表示してお知らせします。「OFF」に設定するとお知らせしません。

● システム

項目	設定	説明
起動音	ON*/OFF	ドライブレコーダーの電源が入ったときにブザーを鳴らすかどうかを設定します。
警告音量	1/2/3*/4/5	ドライブレコーダーから出力する警告の音量を設定します。 1（小）～ 3（標準）～ 5（大）
バージョン情報	ドライブレコーダーのファームウェアのバージョンを表示します。	
SD カード初期化	ドライブレコーダーのすべてのファイルを消去し、microSD カードをフォーマットします。（➜ P.150）	
リアカメラ録画（前後方録画別体型ナビ連動タイプのみ）	する */ しない	リアカメラの映像を録画するかどうかを設定します。
センサー調整	ドライブレコーダーの加速度センサーを最適化します。（➜ P.150） 通常は、販売会社で設定されています。	
設定の初期化	ドライブレコーダーの設定を初期化します。	

*：お買い上げ時の設定です。

- 121 ページの「システムを初期化する」の操作を行うと、ドライブレコーダー設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

microSD カードをフォーマットする

microSD カードに関するエラーが発生する場合は、フォーマットを行ってください。

- ドライブレコーダー以外では microSD カードのフォーマットを行わないでください。
- microSD カードをフォーマットすると、保存フォルダに保存されているファイルを含めすべてのデータが消去されます。必要なデータがある場合は、必ずパソコンなどにバックアップをしてからフォーマットしてください。
- microSD カード初期化中は、microSD カードを抜いたり、電源を切ったりしないでください。

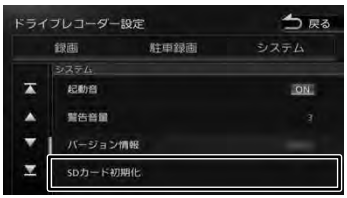
1 【HOME】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

2 ［設定］をタッチする

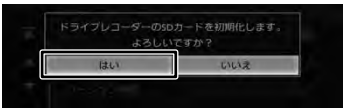
メッセージが表示されます。

3 ［はい］をタッチする

4 ［システム］をタッチして、［SD カード初期化］をタッチする



5 ［はい］をタッチする



microSD カードを初期化します。

加速度センサーを最適化する

通常は、販売会社で設定されています。
走行中、急加速・急減速を知らせるブザーが頻繁に鳴り続ける場合は、下記を参考に加速度センサーの最適化を正しく行ってください。
最適化されないまま使用すると、加速度センサーが正しく動作せず、急加速・急減速の録画や駐車録画が正しく行われないおそれがあります。

- 必ずドライブレコーダーに microSD カードが入っている状態で行ってください。
- 最適化開始後は、完了メッセージが表示されるまで車のエンジンを切らないでください。

1 見通しの良い、平らな安全な場所に車を停車させる

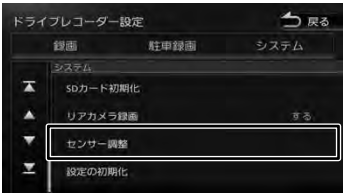
2 【HOME】を押して［ドライブレコーダー］をタッチする

3 ［設定］をタッチする

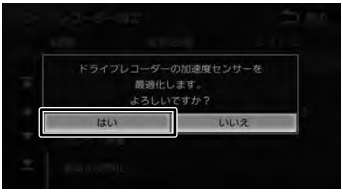
メッセージが表示されます。

4 ［はい］をタッチする

5 ［システム］をタッチして、［センサー調整］をタッチする



6 ［はい］をタッチする



加速度センサーを最適化します。

ナビ接続タイプドライブレコーダーを使う

本機対応ドライブレコーダー（ナビ接続タイプ）（別売品）を接続すると、録画したデータの再生映像を本機で見ることができます。操作についてはドライブレコーダー（別売品）の取扱説明書をご覧ください。
ドライブレコーダーを接続するときは、設定が必要です。通常は、販売会社で設定されています。システムの初期化（➜ P.121）を行ったときなどは、142 ページの「ドライブレコーダーの接続設定をする」を参考に設定しなおしてください。

ドライブレコーダーの映像を表示する

本機に接続したドライブレコーダーの映像を表示します。

1 【HOME】を押して [ドライブレコーダー] をタッチする

▼

ドライブレコーダーの映像が表示されます。

画質を調整する

1 画面をタッチして [映像調整] をタッチする

調整方法については 67 ページの「画質を調整する」をご覧ください。

［非表示］：
操作ボタンを消します。

バックアイカメラシステムを使う

本機は、セレクトビューバックアイカメラ（別売品）またはバックアイカメラ（別売品）（以下、バックアイカメラ）を接続することができます。バックアイカメラの映像で後方確認をしてから車を後退させることができます。
バックアイカメラを接続するときは、販売会社で設定が必要です。

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

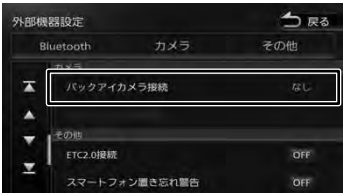
- **バックアイカメラは、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質を調整するときは、必ず安全なところに停車してから操作してください。**

バックアイカメラシステムを設定する

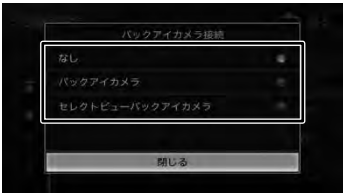
本機に接続したバックアイカメラに応じて、使用するカメラシステムを設定します。
通常は、販売会社で設定されています。システムの初期化（➜ P.121）を行ったときなどは、下記を参考に設定しなおしてください。

1 **【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [外部機器] をタッチする**

2 **［カメラ］をタッチして、［バックアイカメラ接続］をタッチする**



3 **使用するカメラシステムをタッチする**



[なし]：
バックアイカメラを接続しません。

[バックアイカメラ]：
バックアイカメラを接続しているときに選択します。

[セレクトビューバックアイカメラ]：
セレクトビューバックアイカメラを接続しているときに選択します。

セレクトビューバックアイカメラを使う

操作については、セレクトビューバックアイカメラ（別売品）の取扱説明書をご覧ください。
また、映像を切り替えるスイッチが、カメラの取扱説明書では、「ビュースイッチ」と記載されています。本機のボタン名と異なりますが操作は同じです。

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

▼

セレクトビューバックアイカメラの映像が表示されます。

- ガイド線は調整できません。セレクトビューバックアイカメラ側でも調整できません。ガイド線は、車種別固定ラインです。

画質を調整する

1 画面をタッチして [映像調整] をタッチする

調整方法については 67 ページの「画質を調整する」をご覧ください。

[非表示]：
操作ボタンを消します。

バックアイカメラを使う

1 シフトレバーを“R”（リバース）にする

▼

バックアイカメラの映像が表示されます。

- シフトレバーを“R”（リバース）にしても映像が表示されないときは、リバース検出コードの接続を確認してください。
- シフトレバーを“R”（リバース）にすると、AV ソースの音量が下がります。音量が下がらないように設定も可能です。（➜ P.120）

画面の操作

バックアイカメラの映像をタッチすると、操作ボタンが表示されます。

[ガイド線]：
バックアイカメラ（別売品）を接続しているときは、ガイド線が固定表示されます。

[非表示]：
操作ボタンを消します。

[映像調整]：
映像の画質を調整します。（➜ P.67）

画質を調整する

1 画面をタッチして [映像調整] をタッチする

調整方法については 67 ページの「画質を調整する」をご覧ください。

[非表示]：

操作ボタンを消します。

ETC 車載器 / ETC2.0 車載器を使う

本機は ETC 車載器（別売品）または ETC2.0 車載器（別売品）を接続することができます。

- ETC 車載器と ETC2.0 車載器は本機に同時に接続しないでください。
- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。
- 本機は決済サービスには対応していません。
- ETC 車載器を接続して初めて電源をオンにしたときは、本機が認識して使用できるまでに数分かかる場合があります。ETC 車載器が正しく接続されているかは、「接続情報」画面（➜ P.124）で確認してください。

ETC 情報について

ETC（Electronic Toll Collection System）は、高速道路など有料道路の料金所を通過するときに、料金の支払いを自動化し、料金所を通過する際に発生する渋滞を緩和するためのシステムです。

- ETC 機能についての音声案内 (料金案内、カード挿入 / 排出、カード有効期限、エラーコード) は、本機から出力されます。
- 有効期限は、期限から 1 か月以内になったときに出力されます。
- 本機の電源をオフしたときに ETC カードを入れたままにしたときの警告は本機からは出力されません。

ETC2.0 情報について

ETC2.0 車載器（別売品）を接続すると、ETC 機能と ITS スポットから送られてくる VICS 情報の提供を受けることができます。

- 本機はサービスエリアや道の駅での ITS スポットによるインターネットサービス (情報配信サービス) には対応していません。また決済サービスにも対応しておりません。

ITS スポットとは

高速道路を中心に設置された路側無線装置で、ETC2.0 車載器との 5.8GHz 帯を利用した双方向通信により、前方状況、合流支援、前方障害物情報などをリアルタイムにお知らせする安全運転支援情報を提供します。利用エリアについては、下記ホームページでご確認ください。

国土交通省　国土技術政策総合研究所
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/index.html
道路管理者からのお知らせとお願い（プローブ情報の利用および取り扱いについて）
http://www.mlit.go.jp/road/ITS/j-html/spot_dsrc/oshirase.html

- ITS スポットの案内内容は、変更される場合があります。

ETC 予告アンテナについて

ETC 料金所の手前や SA・PA からの合流後に ETC 予告アンテナが設定されている場所を通過するときに、ETC カードの挿し忘れや挿し込み不良、ETC カードの有効期限切れなどの場合に、音声案内と表示で「ETC がご利用できません」または「ETC カードを確認してください」と通知されます。その場合は「一般」または「ETC ／一般」と表示されたレーンをご使用ください。

- 運転中の ETC カードの挿入操作は危険ですのでおやめください。
- ETC カードが入っている場合、予告アンテナ通過時に約 1 秒間ピーと音が鳴ることがありますが故障ではありません。

アップリンクとは

アップリンクとはプローブ情報（走行位置の履歴などの情報）を ITS スポットに送信する機能です。送信したデータはより精度の高い道路交通情報の生成に活用されます。
走行開始、終了地点など、個人情報に関わる情報は送信しません。
アップリンクしないように設定することができます。（➜ P.105）アップリンクについては ETC2.0 車載器の取扱説明書もご覧ください。

VICS 機能を利用する

ITS スポットから VICS 情報を受信することにより、次の機能を利用できます。

- 地図画面上に、VICS 情報が表示されます。（➜ P.102）
- 案内情報を受信すると、割り込み表示されます。音声情報がある場合は、音声案内が出力されます。対応している情報の種類は、次のとおりです。
  優先情報
  - 安全運転支援情報、緊急メッセージ情報、注意警戒情報

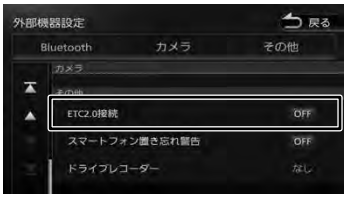
  一般情報
  - 電子標識情報、多目的情報、長文読み上げ情報
- 規制を考慮したルートが探索されます。（➜ P.55）
- 渋滞のある箇所に近づいたら、最適時間を考慮して、自動的に渋滞箇所を回避するルートが探索されます。（➜ P.55）

ETC2.0 車載器の接続設定をする

接続している ETC2.0 車載器を設定します。
通常は、販売会社で設定されています。システムの初期化（➜ P.121）を行ったときなどは、下記を参考に設定しなおしてください。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [外部機器] をタッチする

2 ［その他］をタッチして、［ETC2.0 接続］をタッチする



［ON］：
ETC2.0 車載器を使用します。

［OFF］：
ETC2.0 車載器を使用しません。

3 車両のイグニッションキーをオフにしてから、再度イグニッションキーをオンにして、本機の電源を入れなおす

本機の電源を入れなおすと、設定が反映されます。

ETC に関する設定をする

ETC の案内出力を設定する

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [ナビ] をタッチする

2 ［案内］をタッチして、［ETC 音声の出力］をタッチする

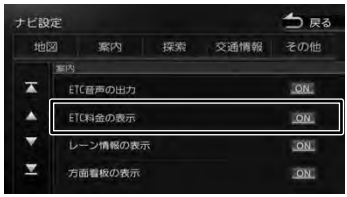
［ON］：
ETC の音声案内をします。

［OFF］：
ETC の音声案内をしません。

ETC の料金表示を設定する

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [ナビ] をタッチする

2 ［案内］をタッチして、［ETC 料金の表示］をタッチする



［ON］：
ETC 料金を表示します。

［OFF］：
ETC 料金を表示しません。

ETC2.0 に関する設定をする

ETC2.0 に関する設定は 105 ページの「VICS 情報の表示設定をする」をご覧ください。

ETC 履歴 / 車載器情報を見る

本機で使用した ETC の利用履歴や登録情報を確認できます。

1 【HOME】を押して [情報・設定] をタッチして [ETC] をタッチする

[車載器情報]：
車載器の情報を表示します。

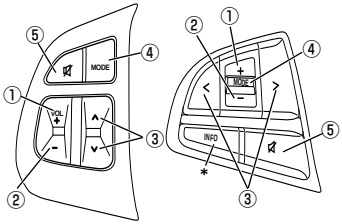
- ETC の利用履歴は、100 件まで表示されます。
- 履歴情報は、ETC カードの挿入時のみ表示されます。
- ETC 履歴表示中は ETC カードを抜かないでください。

ステアリングリモコンを使う

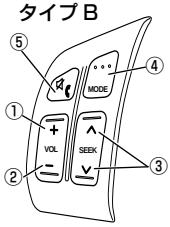
ステアリングリモコンについて

お使いのお車にステアリングリモコンを装着されている場合、ステアリングリモコンから本機を操作することができます。
お買い上げ時のステアリングリモコン設定は以下になります。

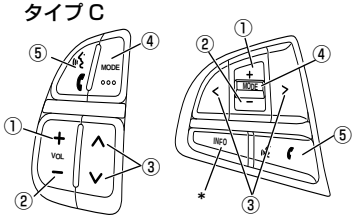
タイプ A



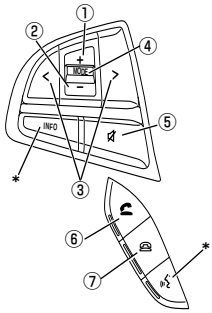
タイプ B



タイプ C



タイプ D



* 「INFO」キーおよび音声認識機能のキーには対応しておりません。

ボタン	ソース	説明
①	全ソース	音量が上がります。
②	全ソース	音量が下がります。
③	FM AM 交通情報 地デジ *	• 押すたびに登録されている放送局が順番に切り替わります。交通情報は、1620kHz → 1629kHz と押すたびに切り替わります。 • FM または AM のときに押し続けると「サーチ中」と表示され、受信状態の良い放送局を受信します。（交通情報は除く）
	DISC	• 押すたびに前の曲 / ファイル / チャプターまたは次の曲 / ファイル / チャプターを再生します。 • 押し続けると早戻しまたは早送りします。
	SD USB Bluetooth AUDIO	• 押すたびに前のファイル または次のファイルを再生します。 • 押し続けると早戻しまたは早送りします。
	SMART USEN	• お気に入り登録済みのチャンネルに切り替えます。
	iPod	• 押すたびに前の曲または次の曲を再生します。 • 押し続けると早戻しまたは早送りします。
④	全ソース	• ソースを切り替えます。 iPod → USB → SD → マルチ AV ブラウザ→ DISC → 地デジ * → FM → AM → BT-Audio → SMART USEN →交通情報 ※ディスクが挿入されていない場合や機器が接続されていないなど、選択できないソースはスキップされます。 • 押し続けると「STANDBY」になります。

* SKX-S805/KXM-E505W のみ

ボタン	ソース	説明
⑤	全ソース	• タイプ A/ タイプ D： 押すと音量が小さくなります。もう一度押すと元の音量に戻ります。 • タイプ B： 押すと音量が小さくなります。もう一度押すと元の音量に戻ります。Bluetooth 接続中は、ハンズフリーの電話を受けます。着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。 • タイプ C： Bluetooth 接続中は、ハンズフリーの電話を受けます。着信時に押し続けると着信を拒否します。通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。リモコンキーにある音声認識機能には対応していません。
⑥	全ソース	• Bluetooth 接続中でハンズフリー電話の着信時に電話を受けます。
⑦	全ソース	• Bluetooth 接続中でハンズフリー電話の通話中に押すとハンズフリーの電話を切ります。 • Bluetooth 接続中でハンズフリー電話の着信時に押し続けると着信を拒否します。

• ステアリングリモコンの機能は独自に機能を割り当てることもできます。(➜ P.159)

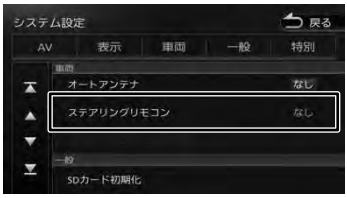
独自に機能を割り当てる

ステアリングリモコンのキーに機能割り当て（ステアリングリモコン学習）を行います。

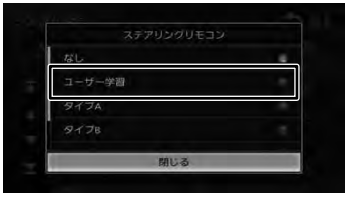
• すべてのキーに機能を割り当ててください。割り当てを行っていないキーに他のキーで登録した機能が割り当てられることがあります。

1 【HOME】を押して [情報･設定] をタッチして [システム] をタッチする

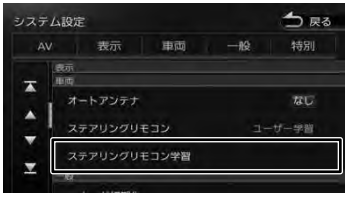
2 ［車両］をタッチして、［ステアリングリモコン］をタッチする



3 ［ユーザー学習］をタッチする



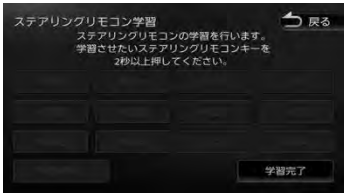
4 ［車両］をタッチして、［ステアリングリモコン学習］をタッチする

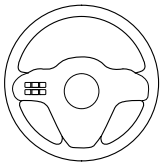


ステアリングリモコン学習画面が表示されるまで、しばらくお待ちください。
ステアリングリモコンは押さないでください。

つづく➜

5 機能を割り当てるステアリングリモコンのキーを 2 秒以上押す

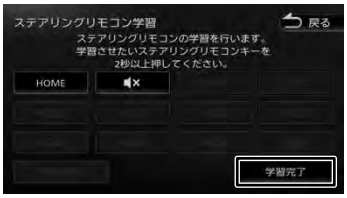




6 割り当てる機能をタッチする

割り当てた機能が表示されます。
手順 5 と 6 をくり返して、すべてのキーに割り当てを行ってください。

7 ［学習完了］をタッチする



■ キーに割り当てられる機能

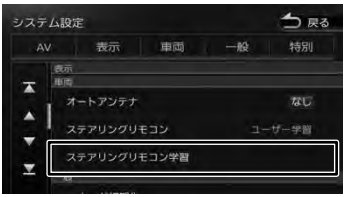
キー	機能
未設定	設定しません。
HOME	ホーム画面を表示します。 押し続けるとスマートフォンの音声認識機能を起動します。(Bluetooth 接続中)
現在地 /AV	現在地図画面を表示します。現在地図画面中に押すと AV 画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。
現在地	現在地図画面を表示します。押し続けると、画面の表示をオフにします。

キー	機能
AV	AV 画面を表示します。
MODE	• 押すごとに AV ソースが切り替わります。 • 押し続けると、AV をオフ（STANDBY）にします。 • AV のオフ中に押し続けると前のソースに戻ります。
	AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。
VOL▲ VOL▼	• AV の音量を調整 (0 ～ 40) します。 • ハンズフリー通話中の音量 (0 ～ 40) を調整します。 • ナビゲーションの音声案内中の案内音量を調整 (1 ～ 40) します。
/	• FM/AM/ 地デジ（SKX-S805/ KXM-E505W のみ）： 放送局を切り替えます。 FM/AM 受信中に押し続けると、受信状態の良い放送局を探して自動で受信します。 • 音楽 / ビデオ再生： 前 / 次の曲、ビデオまたはファイルを再生します。 押し続けると、早送り / 早戻しします。
詳細	詳細な地図を表示します。 (地図画面表示中)
広域	広域な地図を表示します。 (地図画面表示中)
	ハンズフリーの電話を受けます。 (Bluetooth 接続中)
	• ハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中) • 着信時に押すと着信拒否します。
/	• ハンズフリーの電話を受けます。 • 着信時に押し続けると着信を拒否します。 • 通話中に押し続けるとハンズフリーの電話を切ります。(Bluetooth 接続中)
音声認識	• スマートフォンの音声機能を起動します。(Bluetooth 接続中) • 押し続けるとスマートフォンの音声認識機能を終了します。
/	• AV ソースの音量を一定量下げます。もう一度押すと元の音量に戻ります。 • ハンズフリーの着信中は通話を開始します。(Bluetooth 接続中)

ステアリングリモコンキーの割り当てを変更 / 初期化する

独自に割り当てたステアリングリモコンキーの変更や消去、初期化ができます。初期化は手順2で［学習初期化］をタッチしてください。

1 ［車両］をタッチして、［ステアリングリモコン学習］をタッチする



2 割り当てを変更するボタンをタッチする

［学習初期化］：
ステアリングリモコンに割り当てたキー設定をすべて消去します。

3 割り当てる機能をタッチする

［未設定］：
キーに割り当てられた機能を消去します。

4 ［変更完了］をタッチする

後席モニターを使う

本機に後席モニター（別売品）を接続すると、本機の映像を後席モニターに表示することができます。

- 後席モニターは走行中でも表示されます。後席モニターは運転者から見えないところに設置してください。

後席モニターに表示できる映像について

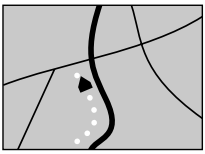
ソース
DISC：DVD-Video/DVD-VR
USB：ビデオファイル
SD：ビデオファイル
マルチ AV ブラウザ：ビデオファイル
地デジ（SKX-S805/KXM-E505W のみ）

- 本機で再生できるビデオファイルについては 176 ページをご覧ください。

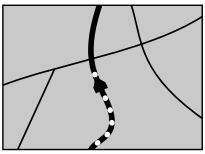
自車位置の測位精度について

マップマッチング機能について

マップマッチングとは、道路から外れた自車の位置を、論理的に地図画面の道路に合わせる機能のことです。
GPS や自律航法による測位には誤差が生じることがあり、現在地を道路以外の場所（川や海の上など）に表示してしまうことがあります。このような場合に、「車が海や川の上を走るはずがない」という論理的判断に基づき、現在地近くの道路上に自動修正します。



マップマッチング
していない場合



マップマッチング
している場合

本機は、GPS と自律航法を併用して精度の高い測位を行った上でマップマッチング機能が動作するため、より正確な現在地を表示することができます。

内蔵センサーによる測位とは

内蔵の車速パルスとジャイロセンサーを使って測位します。走った距離を車速パルスで、曲がった方向をジャイロセンサーで検出して現在地を割り出します。

高測 3D ジャイロについて

内蔵の 3D センサーによって、道路傾斜や自車の高さの変化を測定しています。これにより、ランプ等で道路が上下に分離したときに、地図データの高さ情報をもとに、どちらにいるかを判定します。
高さ情報があるのは、高速道路 / 国道 / 県道などの全国主要道です。高さ情報がないところでは、判定されません。高さ情報があるところでも、道路形状や走行状況によっては、正しく判定できないことがあります。

誤差について

本機は、GPS と自律航法を併用した精度の高い測位に加えて、さらにマップマッチング機能を動作させて誤差を最小限にしています。しかし、さまざまな条件や状況によって、これらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることもあります。

■ GPS 測位不能によって生じる誤差について

1）次のような場所にいるときは、GPS 衛星の電波が遮断されて電波を受信できないため、GPS による測位ができないことがあります。
- トンネルの中やビル内の駐車場
- 2 層構造の高速道路の下
- 高層ビルなどの間
- 密集した樹木の間

2）GPS アンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている場合、電波障害の影響で一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなるため、GPS による測位ができないことがあります。
3）3 基以下の GPS 衛星の電波しか受信できない場合は、GPS による測位はできません。

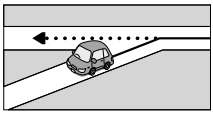
■ GPS 衛星自体の原因により生じる誤差について

1）電波を受信している GPS 衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
2）GPS 衛星による測位では、高さ方向の精度は、水平方向と比べると誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

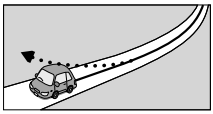
その他の誤差について

以下に示す状況の場合も、測位の誤差が大きくなります。

角度の小さい Y 字路を走行した場合

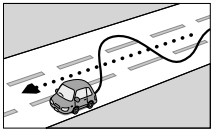


直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後

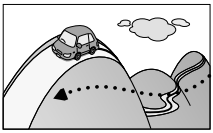


砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合

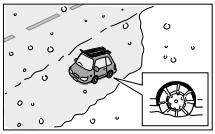
蛇行運転をした場合



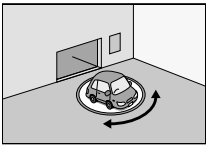
勾配の急な山道や、高低差のある道路を走行した場合



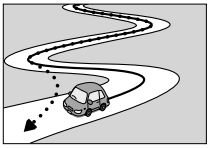
チェーンを装着したときや、タイヤを交換した場合



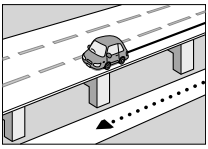
駐車場などのターンテーブルで旋回した場合



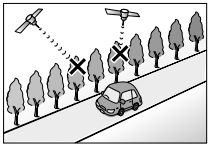
ヘアピンカーブが続いた場合



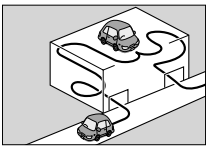
高速道路と側道などが隣接している場合



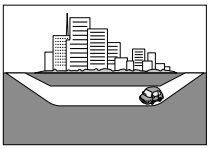
GPS による測位ができない状態が長く続いた場合



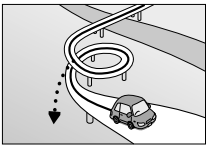
立体駐車場などで、旋回や切り返しを繰り返した場合



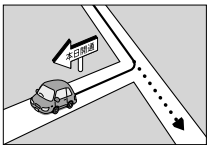
地下駐車場やトンネルなど、GPS 衛星による測位が長時間できない場合



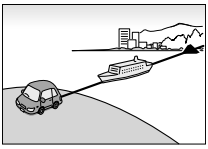
ループ橋などを走行した場合



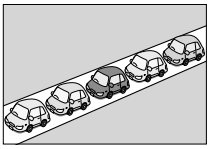
地図データにはない、新設道路を走行した場合



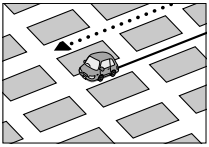
フェリーや車両運搬車などで移動した場合



渋滞などで、低速で発進や停車を繰り返した場合



碁盤の目状の道路を走行した場合



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合
- 地図と実際の道路形状が異なる場合

低速時の測位精度について

車種によっては、時速数 km 程度の低速時に、車速パルス信号が出力されないものもあります。そのような車種では、渋滞中や駐車場などで時速数 km 程度の低速走行が続くと、自車位置が正確に表示されない場合があります。

地図の道路データについて

地図画面に道路が表示されていても、その道路をルート探索できない場合があります。そのような道路にはマップマッチングもできない場合があります。

準天頂衛星「みちびき」について

本機は準天頂衛星「みちびき」の受信に対応しています。
従来の GPS 衛星からの信号に加え、「みちびき」からの信号を受信することで、山間部やビル街でも測位精度を向上することができます。

地図記号の凡例

画面に表示される地図では、次の地図記号を使用しています。

記号	名称	記号	名称	記号	名称	記号	名称
	信号機		マリーナ		テーマパーク		灯台
	都道府県庁舎		史跡名勝		城・天守閣		ホール
	市特別区庁舎		城跡		展望タワー	IC	スマート IC
	町村指定都市区庁舎		神社		温泉	■	その他の目的物
	官庁公共施設		寺院		山頂		NTT
	警察		教会		自衛隊		サーキット
	消防		海水浴場		墓地		テニスコート
文	学校		ゴルフ場		ボウリング場		ディスカウントストア
〒	郵便局		スキー		サッカー	M	ビルアパート名称
	病院		キャンプ		競馬場ウィンズ		道の駅
D	デパート / スーパー		遊園地	大	大学		ヘリポート
	カー用品店		動物園	短大	短大		乗馬
IC	IC		公園	高専	高専		体育館
SA	SA		ホテル	高校	高校		牧場
PA	PA		スタジアム	中	中学校		自動車学校
P	パーキング		スポーツ施設	小	小学校		トンネル
	工場		植物園	文	その他学校		船着場（観光船等）
	飛行場		美術館		保健所		野球場
	フェリー		博物館	■	税務署		展望台
	港		水族館		発電所		
¥	料金所		図書館	■	裁判所		

- 表示されるマークの位置は、実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して 1 つのマークで表示されることもあります。

サービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）などの施設の設備は次のマークで表示されます。

記号	名称
IC	IC
スマートIC	スマート IC
SA	SA
PA	PA
JCT	JCT
IC JCT	IC/JCT（併設）
IC SA	IC/SA（併設）
IC PA	IC/PA（併設）
SA JCT	SA/JCT（併設）

記号	名称
PA JCT	PA/JCT（併設）
¥	料金所
スマートIC	スマート IC
	ガソリンスタンド
	レストラン
	スナック
	ショッピング
オアシス	ハイウェイオアシス
	インフォメーション

記号	名称
	休憩所
	ハイウェイ情報ターミナル
	ベビーコーナー
	ドッグラン
WC	障害者用トイレ
	ATM
	トイレ

※ ガソリンスタンドのマークは、元売り各社のロゴで表示されます。

地図データベースについて

●この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。©2017　一般財団法人日本デジタル道路地図協会（測量法第44条に基づく成果使用承認）[2019年3月発行データ使用]

●この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号　国地企調第180号　平成22年9月28日)

●このデータは、国土地理院の技術資料C1-No.445「小笠原諸島西之島周辺の正射画像（平成26年12月10日撮影）」を利用して作成したものである。

●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分1国土基本図を使用した。（承認番号　平30情使、第256号-46号）

●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)、数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地名情報)及び基盤地図情報を使用した。（承認番号　令元情使、第320号-46号）

●上記以外の本地図データの権利関係については、下記ページをご確認ください。URL：http://www.incrementp.co.jp/aboutmap/2020_1.pdf

交通規制データについて

●本製品に使用している交通規制データは、2019年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。

駐車場データについて

●駐車場データは、2020年4月1日まで対応しています。但し、2019年11月時点の独自調査で取得できた情報までに限ります。

●タイムズデータについては、パーク24(株)提供リストに準拠し、2019年11月時点で取得できた情報までに限ります。

タウンページデータ / 訪問宅（個人宅）電話番号データについて

●タウンページデータは、NTTタウンページ株式会社が提供する2019年9月号データを収録しています。

●訪問宅（個人宅）電話番号データは、日本ソフト販売株式会社が提供する「Bellemax®」2019年9月号データを収録しています。

●局番変更については、2020年10月1日変更分まで対応する。但し、2019年11月時点で取得できた情報までに限ります。

●もとのデータそのものが、実際の位置と異なる場合があります。

●一部のデータでは、ピンポイント検索できない場合があります。その場合、その地区の代表地点が表示されます。

住所データについて

●住所データについては2019年10月時点の住所マスターデータを使用しています。

●市区町村合併については、2020年4月1日施行分まで対応しています。但し、2019年10月時点で取得できた情報までに限ります。

●出典：「国勢調査結果」（総務省）を加工して作成しています。

郵便番号データについて

●郵便番号データは、2019年10月時点のデータを使用しています。

●大口事務所・私書箱については、2019年10月時点のデータを使用しています。

料金データについて

●高速道路(有料道路を含む)料金表データは、2019年9月調査で2020年4月1日時点の軽自動車・中型自動車・普通自動車の料金を取得しています。

放送局リストのデータについて

●放送局リストのデータは2020年3月現在のものです。
●放送局の開局、廃局、名称変更、周波数(チャンネル)変更が行われた場合は、実際の内容と表示が異なる場合や、受信できない場合があります。

施設情報および個人情報（電話番号）について

●これらの情報は本ソフト作成後、変更されている場合があります。
●本ソフトに格納されるあらゆるデータ、個人情報については、購入者の責任において使用するものとし、当社は何らの責を負いません。また、これらの情報に誤りがあった場合でも、当社は何らの責を負いません。なお、個人情報の削除・掲載・修正に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご連絡ください。

■ 注意事項

●データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なることがありますのでご了承ください。
●いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。
●収録するデータはその正確性を保証するものではございません。データ内容の誤りに対して、取替え、代金の返却はいたしかねます。
●本データを使用したことによって生じたお客様および第三者のいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねます。

©2017（一般財団法人）日本デジタル道路地図協会
©2020 INCREMENT P CORPORATION

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社 JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および /または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。
使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第１条（総則）
ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第３条第１項に定める例外を除き譲渡不能な使用権を使用者に許諾します。

第２条（使用権）
1. 本契約によって生ずる使用権とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的を含と否とに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書またはヘルプファイルに記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定 PC へのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第３条（許諾条件）
1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウエア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第４条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第５条（ライセンサーの免責）
1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウエア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第６条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第７条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第８条（契約の解除）
ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1）本契約に定める条項に違反したとき
（2）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第９条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から２週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第 10 条（著作権保護）
1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び現権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第 11 条（輸出規制）
1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法 (アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます) に従うことに同意するものとします。

第 12 条（その他）
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとします。

以上

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社 JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社 JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public License または Lesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。
当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧頂くようお願い致します。
ホームページアドレス
https://www.kenwood.com/gpl/j.html

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社 JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示かつ黙示であるかを問わず一切ありません。
適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社 JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。
掲載場所は［情報･設定］ー［システム］ー［特別］の［オープンソースライセンス］です。

VICS について

VICS サービスの問い合わせ

VICS サービスに関するお問い合わせについては、内容によって次の問い合わせ先にご連絡ください。

- **VICS関連商品、VICS情報の受信エリアや内容の概略、地図表示の内容に関することは JVCケンウッドカスタマーサポートセンターへお問い合わせください。**
- **VICS の概念、計画、または表示された情報内容に関することは VICS センターへお問い合わせください。（ただし、地図表示の表示内容は除く）**

  ＜問い合わせ先＞
  VICS センター
  電話番号
  0570-00-8831
  ※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
  ※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。
  電話受付時間
  9:30 ～ 17:45
  （但し土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く）
  FAX 受付時間　　24 時間
  FAX 番号（全国）　03-3562-1719
- **VICS の最新情報について**

  VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などは、下記ホームページをご覧ください。
  インターネット URL http://www.vics.or.jp/

VICS リンクの更新について

VICS センターでは、レベル 3 の情報の収集と提供に、VICS リンク（主要交差点毎に道路を区切った単位）というデータ方式を採用しています。道路の新設や改築、信号機の設置等により道路交通状況が変化する場合は、VICS リンクの追加や変更を行って、適切な情報を提供できるようにしています。
この結果、新しい VICS リンクによる情報の提供が行われると、変更前の VICS リンクでは情報が提供されなくなります。ただしユーザに対する情報提供サービスを維持するため、変更前の VICS リンクに対しても変更後 3 年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

- VICSリンクの更新は、地図データの更新が必要です。地図更新についてはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章　総則

（約款の適用）
第 1 条　一般財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 147 条の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第 2 条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第 3 条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
（4）VICS デスクランブラー
ＦＭ多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）
第 4 条　VICS サービスには、次の種類があります。
（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）
第 5 条　当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章　契約

（契約の単位）
第 6 条　当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第 7 条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域

で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。
ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第８条　VICS サービスは、VICS 対応ＦＭ受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれたＦＭ受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）
第９条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応ＦＭ受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第 12 条 1. 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2. 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料金

（料金の支払い義務）
第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第 15 条 1. 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2. 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第 17 条 1. 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2. VICS サービスは、ＦＭ放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、３年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］
視聴料金 300 円（税抜き）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

- 本機器で提供している道路交通情報データは、公益財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。また、データ作成には一般財団法人交通情報通信システムセンター (VICS センター) の技術が用いられています。

メディアおよびファイルについて

ご使用上の注意事項

- USB 機器や SD カードは、車内に放置しないでください。直射日光や高温で、変形や故障の原因になります。
- 本機で再生するオーディオ / ビデオファイルは、必ずバックアップを作成しておいてください。予期せぬ事態で、ファイルが破壊される場合があります。

本機で再生できるディスクメディア

- **ディスク再生対応一覧表**

分類	規格	対応	説明
DVD	DVD ビデオ	○	−
	DVD オーディオ	×	−
	DVD-R	○	VR モード対応（DVD-R/RW のみ）CPRM 対応
	DVD-RW	○	
	DVD+R	○	
	DVD+RW	○	
	DVD+R DL（2 層）	○	
	DVD-R DL（2 層）	○	
	DVD-RAM	×	−
CD	音楽 CD	○	8cm ディスク非対応
	CD-ROM	○	−
	CD-R	○	パケットライト非対応
	CD-RW	○	
	DTS-CD	×	−
	ビデオ CD、スーパービデオ CD	×	−
	フォト CD	×	−
	HDCD	△	通常の音楽 CD の音質
	CCCD	×	−
その他	デュアルディスク	×	−
	スーパーオーディオ CD	△	CD 層のみ再生可能

○：再生できます
△：一部のみ再生できます
×：再生できません

再生できるディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1/ISO 9660 Level 2/Joliet/UDF 1.02/1.50/2.00/2.01/2.50

使用できないディスク

以下のディスクは使用しないでください。

- 記録面（レーベル面の反対側）に着色や汚れがあるディスク。引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。
- ファイナライズ処理を行っていない CD-R/RW および DVD-R/RW は再生できません（ファイナライズ処理については、お使いのライティングソフトやレコーダーのマニュアルをご覧ください）。そのほかにも、記録状態によっては再生できない場合があります。
- 汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク。音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。
- 表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク。ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

ディスク使用上のご注意

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽く拭き取ってください。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCD、アダプターは使用できません。ディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

DVD のリージョン番号

本機で再生できる DVD リージョン番号（国ごとに割り当てられた番号）は「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」です。
DVD ディスクに表示されているリージョン番号が本機と一致しないと、本機では再生できません。

● DVD ディスクのマーク

記号	内容
ALL	リージョン番号を表します。このマークが付いているディスクはどの DVD プレーヤーでも再生できます。
8	収録されている音声の言語数を表します。1 本の映画の中に最大 8 つの言語を収録できます。お好みの音声で聴くことができます。
32	収録されている字幕スーパーの言語数を表します。32 カ国語まで収録できます。
9	複数のアングルで撮影された映像が記録されていれば、お好みのアングル（角度）で見ることができます。
16:9 LB	映像の画面タイプを表します。左のマークでは標準のテレビ（4:3）で見た場合、ワイド映像（16:9）は上下に黒帯の入る（レターボックス）映像となります。

禁止マーク

DVD は、再生箇所により本機での再生操作等規制される場合があります。このようなときは上記のマークが映像上に表示されます。内容についてはディスクのマニュアルをご覧ください。

本機で再生できる SD カード

規格	SD/SDHC/SDXC*1
最大容量	2GB(SD)/32GB(SDHC)/2TB(SDXC)
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT*2

*1：MMC(MultimediaCard) には対応していません。
*2：この他のファイルシステム (NTFS 等) には対応していません。

● SD スピードクラスは Class10 まで対応しています。

SD カード使用上のご注意

● miniSD カード、microSD カードは SD カードアダプターを使用することで使用可能ですがすべてのカードの動作保証はしていません。
● ご使用の際には、必ず SD カードに付属している取扱説明書も合わせてご確認ください。
● 本機で使用できない場合は、ファイルシステムが FAT16、FAT32、または exFAT であることを確認してください。ファイルシステムが異なる場合は、再フォーマットしてから使用してください。
● 本機は SD-Audio には対応していません。
● すべての SD カードに対して、動作を保証するものではありません。
● SD カードの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
● SD カード内のデータは必ずバックアップをしてください。SD カードの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

本機で再生できる USB 機器

規格	USB 1.1/USB 2.0*1
デバイスクラス	マスストレージクラス（MSC device）*2
最大消費電流	1A 以下（USB ケーブル接続時）
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT*3

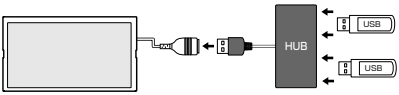
*1：USB3.0 には対応していません。
*2：使用する USB デバイスが USB マスストレージクラスに対応しているかは、USB デバイスの販売メーカーにお問い合わせください。
*3：この他のファイルシステムには対応していません。

USB 機器使用上のご注意

● 接続した USB デバイスは運転の支障とならないように設置してください。
● すべての USB デバイスに対して、動作や電源供給を保証するものではありません。
● セキュリティ機能付きの USB デバイスは使用できません。
● USB 規格外のケーブルは動作保証できません。また、延長ケーブルの使用により正常に再生できない場合があります。
● USB デバイスの種類や、記録状態によっては、正常に再生できない場合があります。
● USB デバイスのデータは必ずバックアップをしてください。USB デバイスの使用状況によっては、保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

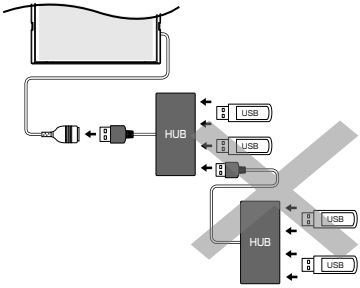
USB ハブの使用について

● 本機では、1 台の USB ハブを接続して、最大 4 つ（パーティション含む）の USB デバイスを接続できます。



ただし、すべての接続機器の動作を保証するものではありません。

● USB ハブは USB ケーブル 1 本につき 2 台以上接続しないでください。



● 消費電流の大きい機器を USB ハブに接続すると動作しない場合があります。この場合は USB ケーブルに直接接続してください。

● USB ハブを使って接続するときは、USB ハブを本機の USB ケーブルに接続してから、USB 機器を USB ハブに接続してください。

● iPhone/iPod は USB ハブを介した接続ができません。USB ケーブルに直接接続してください。

本機で再生できるオーディオ / ビデオフォーマット

コーデック＼メディア		CD	DVD	USB	SD
オーディオファイル	MP3	○	○	○	○
	WMA	○	○	○	○
	AAC	○	○	○	○
	WAV	○	○	○	○
	FLAC	○	○	○	○
	Vorbis	○	○	○	○
ビデオファイル	MPEG-4 Video	×	×	○	○
	H.264/MPEG-4 AVC	×	×	○	○
	WMV	×	×	○	○

○：再生できます　×：再生できません

著作権保護されたファイルについて

本機では、コピープロテクトや著作権管理が設定されているオーディオファイルは、再生できません。個人的に楽しむなどの場合を除き、音楽や映像などの著作物を著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

オーディオファイル

	MP3	WMA	AAC	FLAC	Vorbis	WAV
対応形式	MPEG 1/2 Audio Layer 3	Windows Media Audio Standard L3 profile (Version 7,8,9)	MPEG2/4 AAC LC、HE-AAC (V1,V2)	flac	vorbis	RIFF waveform Audio Format (Linear PCM のみ)
拡張子	.mp3	.wma	.m4a	.flac, .fla	.ogg	.wav
量子化ビット数	16bit	16bit	16bit	16bit/24bit	16bit	16bit/24bit
ビットレート	8k ～ 320kbps, VBR	8k ～ 320kbps	8k ～ 320kbps, VBR	-	-	-
サンプリング周波数	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz*	16k ～ 48kHz	16k ～ 192kHz*
タグ	ID3 タグ ver 1.0/1.1/ 2.2/2,3/2,4 (ID3v2 の非同期化は非対応)	WMA タグ	iTunes m4a メタデータ	Vorbis Comment タグ	Vorbis Comment タグ	RIFF LIST タグ
その他	ジョイントステレオ対応	DRM/ Professional/ Lossless/ Voice は非対応	iTunes で作成した AAC ファイルのみ再生可能 DRM/ マルチチャンネルは非対応	圧縮レベル：0 ～ 8 マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応	マルチチャンネルは非対応

*：CD メディアは 48kHz まで対応しています。

※ タグの文字数は全角 128 文字まで対応しています。それ以上の文字数では、文字列の後ろ部分が表示されない場合があります。

※ オーディオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。

※ 本機で表示できるアルバムアートワーク画像は、画像データのサイズが 650KB 以下のファイルです。

ビデオファイル

	MPEG-4 Video			H.264/MPEG-4 AVC				WMV	
対応形式	ISO MPEG4			H.264/MPEG-4 AVC				Windows Media Video Ver.9(VC-1)	
ファイルコンテナ	AVI	MP4	MKV	AVI	MP4	FLV	MKV	ASF	MKV
拡張子	.avi	.mp4	.mkv	.avi	.mp4	.flv, .f4v	.mkv	.wmv	.mkv
プロファイル	アドバンスドシンプルプロファイル			ベースラインプロファイル、メインプロファイル				メインプロファイル	
対応音声コーデック	MP3, AAC		MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	MP3, AAC			MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC	WMA	MP3, AAC, WMA, Vorbis, FLAC
最大ピクチャサイズ	1920 × 1080			1920 × 1080				1920 × 1080	
最大フレームレート	30fps			30fps				30fps	
最大ビットレート	8Mbps			8Mbps				8Mbps	

※ ビデオファイルの作成方法によっては、本機で再生 / 表示できない場合があります。
※ ビデオファイルのビットレートが高い場合は、部分的に再生が停止したり、音飛び / 音切れをする可能性があります。

(1) ファイル名とフォルダ名

本機で表示できる文字：

半角英数文字、半角カタカナ、全角文字

文字数制限：

ファイル名　全角 80 文字 (拡張子は除く)
フォルダ名　全角 80 文字
※ファイル名またはフォルダ名が文字数制限を超えているファイルは再生できません。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、文字数が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

使用できない文字：

¥、\、/、:、*、?、”、<、>、|
ファイルには正しく拡張子を付けてください。
ディスクの場合は使用するライティングソフトやディスクフォーマットによって、表示できる文字が制限される場合があります。詳しくは、ライティングソフトの説明書をご覧ください。

(2) ファイル数とフォルダ数の制限

ディスク：

1 フォルダ内の最大ファイル数：999
ディスク内の最大ファイル数：5000

- ディスク内の総フォルダ数が 500 以上の場合は、ディスク内の一部のファイルを認識できない場合があります。
- フォルダ階層数は ルートを含めて最大 8 階層となります。

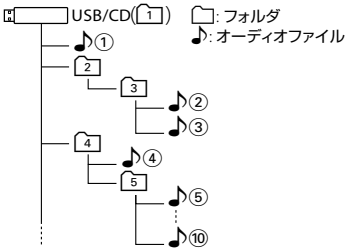
USB 機器および SD カード：

1 フォルダ内の最大ファイル数：9999
1 フォルダ内の最大フォルダ数：9999

- フォルダ階層数は ルートを含めて最大 8 階層となります。 ただし、制限内でもフォルダ名 / ファイル名が最大文字数を超える場合は認識できません。
- デバイス内の最大フォルダ数 / 最大ファイル数に制限はありませんが、デバイスの容量やファイルシステムによって制限を受ける場合があります。

（3）再生する順番について

ファイル名の昇順
ファイル名の頭に“01”～“99”など再生する順番を入力してから CD-R などに書き込むことで再生する順番を設定できることがあります。
下図の例では、①から⑩の順で再生されます。



（4）ご使用上の注意事項

ディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。再生するディスクに多くのフォルダ、オーディオファイル、ビデオファイル以外のファイルを書き込むと、再生するまで時間がかかることがあります。また、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

Bluetooth について

Bluetooth 対応プロファイル

本機は、以下のプロファイルに対応しています。

- HFP（ハンズフリープロファイル）
  ハンズフリー通話するためのプロファイルです。
- PBAP（フォンブックアクセスプロファイル）
  電話帳のデータを vCard 形式で伝送するプロファイルです。
- A2DP*（高度オーディオ配信プロファイル）
  オーディオプレーヤーの音楽を伝送するためのプロファイルです。
  * SCMS-T 対応
    （SCMS-T とは A2DP に対応したオーディオプレーヤーなどでセキュリティがかかったコンテンツを聴くことができる機能です。）
- AVRCP（オーディオ / ビデオリモート制御プロファイル）
  オーディオプレーヤーの再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。
- SPP（シリアルポートプロファイル）
  Bluetooth 機器を仮想シリアルポート化するプロファイルです。

Bluetooth 標準規格 Ver.4.1 準拠

- Bluetooth 機能搭載機器は、Bluetooth SIG が定めている方法で Bluetooth 標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。

対応コーデック

SBC/AAC

iPod について

本機でコントロールできる iPod について

本機からコントロールできる iPod は以下のとおりです。
Made for

- iPod touch (6th generation)
- iPod touch (7th generation)
- iPhone SE（2nd generation）
- iPhone 11Pro Max
- iPhone 11Pro
- iPhone 11
- iPhone XR
- iPhone XS
- iPhone XS Max
- iPhone X
- iPhone 8
- iPhone 8 Plus
- iPhone SE
- iPhone 7
- iPhone 7 Plus
- iPhone 6s
- iPhone 6s Plus
- iPhone 6
- iPhone 6 Plus
- iPhone 5s

● 音楽再生のみに対応します。
● 本書では上記 iPod および iPhone をまとめて「iPod」と呼びます。
● 本機に表示できる文字の種類は、半角英数字、半角カタカナ、および全角文字です。ただし、正しく表示できない文字もあります。

iPod 接続ケーブルについて

本機に iPod/iPhone を接続するときは、iPod/iPhone に付属の接続ケーブルで接続します。

故障かなと思ったら

次の一覧から該当する症状を見つけて対処してください。解決方法が見つからない場合は、お買い上げの販売会社または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● **共通**

症状	考えられる原因	対処方法
電源がオンにならない。	車両のヒューズが切れている。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
	電源コードなどの接続が間違っている。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
画面が暗い。	モニターの温度が低い。	液晶パネルの特性上、モニターの温度が下がっているときは、電源をオンにしたときに、通常より暗い場合があります。電源をオンにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。通常の明るさに戻ります。
	画質設定の明るさが低い。	画質設定の明るさを調整してください。(➜ P.67)
画面が見にくい。	見る角度によってコントラスト、明るさが変わります。	コントラスト (➜ P.67)、画面の明るさ (➜ P.23)、視野角 (➜ P.19) を調整してください。
映像の色調がおかしい。	—	画質を調整してください。(➜ P.67)
バックアイカメラに切り替わらない。	バックアイカメラが正しく接続されていない。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
	バックアイカメラの設定が“なし”になっている。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
音が出ない / 音が小さい。	バランス、フェーダーが片方に寄っている。	バランスやフェーダーを正しく調整してください。(➜ P.114)
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
	スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
	スピーカーの配線が間違っている。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
案内音声が出力されない。	フロントスピーカーが接続されていない。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ハンズフリーの音声が出力されない。		

● ナビ機能

症状	考えられる原因	対処方法
市街地図を表示できない。	表示中の地域に市街地図がない。	—
ランドマークが表示されない。	地図のスケールが不適切。	ランドマーク情報が表示されるのは500m 以下のスケールです。
地点登録できない。	すでに 300 か所登録されている。	不要な登録地点を削除してください。(➜ P.64)
経由地を設定できない。	すでに5か所が設定されている。	不要な経由地を削除してください。(➜ P.59)
	目的地が設定されていない。	目的地を先に設定してください。
目的地が書き替えられた。	すでに目的地が設定されているときに、さらに目的地を設定した。	目的地を設定しなおしてください。
探索条件を変えてもルートが同じになる。	出発地と目的地の位置関係による。	出発地と目的地の位置関係によっては、同じになる場合があります。
住所検索で番地を指定できない。	地域によっては番地を指定できない場合がある。	付近を検索して、地図上で探してください。
地点検索した場所が履歴に記憶されていない。	ルート探索していない。	ルート探索していない場所は記憶されません。
	履歴に記憶されたのが最近の 50 か所よりも古い。	履歴として記憶されるのは、50 か所までです。
シミュレーションが目的地まで到達しない。	ルートの距離が長い。	ルートの距離が長い場合は、目的地に到達せずにシミュレーションのスタート地点に戻ることがあります。
自車マークが走行中の道路と異なる道路上にある。	Y 字路を通過したときに、実際と異なる道路にマップマッチングされた。	しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
	GPS アンテナの設置場所が悪い。	GPS アンテナの設置場所を確認して、アンテナの設置場所を変更してください。
	本機がしっかりと固定されていない。	お買い上げの販売会社で、本機をしっかりと取り付けなおしてください。
	タイヤを交換した。	タイヤ交換を行ったときは、センサーの学習を初期化してください。(➜ P.124) 初期化してしばらくは自車位置がずれることがありますが、しばらく走行すると、正しい位置に表示されます。
自車マークが道路外や反対車線に表示される。	市街地図を表示している。	市街地図のまま走行すると、道路外に表示されてしまう場合があります。
VICS の地図表示情報（レベル 3）が表示されない。	地図のスケールが不適切。	VICS の地図表示情報（レベル 3）を表示できるのは、10m ～ 1km（一般道は 10m ～ 500m、一般道の駐車場情報は 10m ～ 200m）のスケールです。
	—	VICS の受信状態が悪い場合は、表示できません。 オートアンテナをしまっている場合は伸ばしてください。
	VICS 局からの電波を受信できていない。	自動選局に切り替えてください。(➜ P.104)

症状	考えられる原因	対処方法
VICS 情報が割り込み表示されない。	割り込み表示が「OFF」に設定されている。	ナビ設定画面で、割り込み表示を「ON」に設定してください。(➜ P.105)
マイルートアジャスターの渋滞回避を設定しているが、渋滞している道路が回避されない。	他の道路よりも、現在のルート上の道路を通るほうが渋滞していても早い。	マイルートアジャスターの渋滞回避は、渋滞道路を必ず回避するのではなく、渋滞を考慮に入れた上で最短時間になるように探索されます。
	現在提供されている VICS 情報が少なく、別のルートが探索できない。	—
夜の地図色が表示されない。	地図昼夜切替が「昼色に固定」に設定されている。	「自動」に設定してください。(➜ P.110)
	イルミネーションコードが接続されていない。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
音声案内されない。	ルート案内の音声出力が「OFF」に設定されている。	ルート案内の音声出力を「ON」に設定してください。(➜ P.109)
ナビゲーションの画面が表示されない。	ナビゲーション以外の画面になっている。	【現在地 /AV】を押して現在地図画面に切り替えてください。(➜ P.27)
	画面がオフになっている。	【現在地 /AV】を押すか、画面をタッチしてください。(➜ P.23)
表示中の地図画面が回転する。	地図の向きがヘディングアップに設定されている。	ヘディングアップに設定すると、地図を回転して、進行方向を常に上方向に表示します。
自車マークが動かない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
実際の道路と案内が違う。ランドマークの表示が実際と違う。	—	地図データ作成時期により、実際の道路状況と異なる場合があります。また、目印となるランドマークを省略して表示する場合もあります。
遠回りなルートを探索する。	細い道や整備されていない道路の近くにいる。	大きな道路や整備されている道路を優先して探索をするため、遠回りなルートを案内する場合があります。
検索結果が実際の場所と違う。	—	地図データの収録状態により、実際の場所と住所表示が異なる場合があります。
案内音声が小さい。	—	案内音声の音量を大きくしてください。(➜ P.108)
ルートメニューが表示できない。	ルートが探索されていない。	ルート探索が行われている場合に表示できます。
センサー学習が完了しない。	車速検出コードが接続されていない。	お買い上げの販売会社で、車速検出コードを正しく接続してください。
ルート案内中に到達予想時刻と距離が表示されない。	—	サービスエリアや駐車場に入ったときは表示されないことがあります。自車位置が案内ルート上に戻ると表示されます。

● AV 機能

症状	考えられる原因	対処方法
音が出ない。	接続が間違っている。	お買い上げの販売会社で、接続を確認してください。
音質が悪い（音がひずむ）。	音量が大きすぎる。	音量を適正に調整してください。
映像が映らない。	走行中、またはナビ画面を表示中。	走行中、またはナビ画面を表示中は映像を見ることはできません。

● ディスク再生

症状	考えられる原因	対処方法
ディスクの再生中に振動で映像や音が切れる。	取り付けが不安定になっている。	しっかりと取り付けなおしてください。なお、駐停車中でも音飛びする場合やディスクの同じところで音飛びする場合は、ディスクに原因があります。
ディスクを再生できない。	ディスクが裏返しになっている。	レーベル面を上にして入れなおしてください。
	ディスクに傷や汚れがある。	【⏏】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
	本機内部が結露している。	ディスクを取り出し、しばらく放置（約 1 時間）してから使用してください。
ファイルを再生中に音飛びする。	ディスクに傷や汚れがある。	【⏏】を押してディスクを取り出し、ディスクをクリーニングしてください。
ディスクがイジェクトできない。	ディスクがイジェクト途中で止まっている。	強制イジェクトを行ってください。（➜ P.86）
ファイルの再生がはじまるまで時間がかかる。	ディスクに記録されているフォルダ / ファイル / 階層が多い。	最初にディスク内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、再生されるまで長時間かかる場合があります。
CD-R、CD-RW が再生できない。	ファイナライズ処理を行っていない。	CD レコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いの CD-R/CD-RW ライティングソフトや CD-R/CD-RW レコーダーのマニュアルをご覧ください。
DVD の禁止マーク“ ⃠ ”が画面に表示されて、操作ができない。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作を行っている。	ディスクが禁止している操作や、無効な操作をしたときは、禁止マークが表示されます。禁止マークの表示中は操作はできません。
トラックなどの名称が正しく表示されない。	本機で表示できない文字が名称に含まれている。	本機では、半角英数字と日本語が表示できます。これ以外の特殊な文字は、表示できない場合があります。

● ファイル再生

症状	考えられる原因	対処方法
ファイルを再生できない。	フォーマットが、本機で再生できないフォーマットで記録されている。	再生できるフォーマットを確認してください。(➜ P.175)
	ファイルに拡張子が付いてない。	正しい拡張子を付けてください。(➜ P.175)
	ビデオファイルの作成ソフトによっては再生できない場合があります。	—
	ビデオファイルのサイズが大きい。	本機ではファイルサイズが4GB 以下のビデオファイルが再生できます。

● 地デジ（SKX-S805/KXM-E505W のみ）

症状	考えられる原因	対処方法
何も受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
	スキャンされていない。	チャンネルスキャンをしなおしてください。(➜ P.93)
字幕が表示されない。	字幕が放送されていない。	—
地上デジタル放送が受信できない。	車の場所が、地上デジタルテレビ放送の放送エリアではない。 受信障害がある環境では、放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	送信チャンネル変更（リパック）が行われた。	初期スキャンをしてプリセットを登録しなおしてください。(➜ P.93)
	「ホーム」または「お出かけ」に登録されている放送局が現在地周辺の放送局と合っていない。	再度、チャンネルをスキャンしてください。(➜ P.93)
映像が乱れる。 映像が止まる。 音声が途切れる。	障害物や放送局からの距離等によって、受信状態が悪くなっている。	• 見通しのいい場所に移動してください。 • ワンセグに切り替えてください。
	ワンセグ /12 セグを切り替えた。	受信モードの切替時に映像等の乱れが発生する場合がありますが、故障ではありません。

● iPod

症状	考えられる原因	対処方法
iPod が認識されない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されていないか、iPod が正しく動作していない。	iPod 接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。それでも iPod が認識されない場合は、iPod をリセットしてください。
iPod をコントロールできない。	iPod にヘッドフォンなどが接続されたまま、本体に接続した。	iPod を本機から取り外し、iPod からすべての機器を取り外してから接続しなおしてください。
	iPod が異常状態になっている。	• iPod メニューに表示されるリセットではなく、iPod 本体のリセットを行ってください。 • iPod を本機から取り外し、iPod の電源を入れなおしてください。

症状	考えられる原因	対処方法
iPod の曲を再生できない。	コネクタが正しく接続されていない。	しっかりと接続してください。
音がひずむ。	iPod の EQ 機能（イコライザー機能）がオンになっている。	オフにしてください。
充電完了までに時間がかかる。	—	充電を目的とする場合は、iPod の再生を停止することをお勧めします。
iPod の充電ができない。	本機の電源が入っていない。	本機の電源を入れてください。
	USB ハブを介して接続している。	充電するときは USB ハブを使用せずに直接接続してください。

● USB/SD

症状	考えられる原因	対処方法
USB 機器を認識しない。	USB コネクタが正しく接続されていない。	USB 機器や USB ケーブルのコネクタを確実に接続してください。
	USB 延長ケーブルが長いため、データの品質が悪くなっている。	USB 延長ケーブルを使用しない接続をしてください。
	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続している。	USB 接続ケーブル 1 本に対して USB ハブを 2 台以上接続して USB 機器を接続すると、本機で再生することができません。 USB ハブを 1 台にして接続しなおしてください。
	複数の USB 機器を接続していて違うデバイスが選択されている。	USB デバイス切替で再生したいデバイスに切り替えてください。 (➜ P.72、P.73)
USB 機器や SD カード内のオーディオ / ビデオファイルが再生できない。	オーディオ / ビデオファイルが本機で再生できるフォーマットで記録されていない。	再生できるフォーマットを確認してください。(➜ P.175)
	ファイル名に使用できない文字が使われている。	次の文字はファイル名には使用できません。 ¥、\、/、:、*、?、”、<、>、| ファイル名を変更してください。
	フォルダ名またはファイル名が 81 文字以上になっている。	本機ではファイル名またはフォルダ名に文字数制限があります。 フォルダ名：全角 80 文字 ファイル名：全角 80 文字（拡張子は除く） 全角 80 文字以内に変更してください。
	再生モードが録音した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。 (➜ P.74)

● SD カードへの録音と再生

症状	考えられる原因	対処方法
録音した SD カードが再生できない。	録音データ（kenwood.direct.rec フォルダのデータ）またはコンテンツデータベース（_ContentsDB フォルダのデータ）を編集または変更した。	録音データ（kenwood.direct.rec フォルダのデータ）またはコンテンツデータベース（_ContentsDB フォルダのデータ）を編集または変更すると本機で再生できなくなります。編集や変更はしないでください。
	再生モードがパソコンで保存した SD カードの再生になっている。	再生モードを切り替えてください。（➜ P.74）
音楽 CD を SD カードに録音できない。	SCMS によるコピー制限がかかっている音楽 CD を録音しようとした。	コピー制限がかかっていない音楽 CD を使用してください。

● Bluetooth オーディオ / ハンズフリー

症状	考えられる原因	対処方法
Bluetooth 機器が登録できない。	パスキーまたは PIN コードが合っていない。	Bluetooth 対応機器によっては、パスキーまたは PIN コードが固定されている場合があります。Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの取扱説明書にパスキーまたは PIN コードが記載されている場合は、そのコードを設定してください。記載されていない場合は“0000”を試してください。（➜ P.130）
Bluetooth オーディオプレーヤーの音が途切れる。	本機と Bluetooth 対応オーディオプレーヤーの距離が遠すぎる。	Bluetooth 対応オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他の Bluetooth 機器が通信を妨げている。	他の Bluetooth 機器の電源をオフにしてください。または、他の Bluetooth 機器を遠ざけてください。
	他の Bluetooth 機器と通信中、または、他のプロファイルで通信中。たとえば、電話帳や「KENWOOD Drive Info.」のデータ受信中などは音が途切れる場合がある。	ご利用の Bluetooth 機器の再生品質の設定を変更すると改善される場合があります。
ハンズフリー通話の受話が小さい。	音量調整が小さくなっている。	通話中に調整してください。
スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにしてオンにすると本機と接続できない。	スマートフォンの Bluetooth 設定をオフにした場合、再度オンにしても本機からは認識できない。	スマートフォンの Bluetooth 接続機器から本機を選び直してください。
Bluetooth 機器が接続できない。	ソフトアップデート等により接続機器の登録情報が更新された。	Bluetooth 機器の登録をいったん削除して、再度登録し直してください。

メッセージ

次のメッセージが表示された場合は、一覧に従って対処してください。

● 共通

メッセージ	対処
システムの起動ができませんでした。 カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
暗証番号が違います。もう一度入力してください。	正しい暗証番号を入力してください。暗証番号を思い出せない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
スピーカー配線に異常があります。 接続を確認してください。問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
地デジアンテナに異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
GPS アンテナに異常があります。 接続を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
車速パルスが検出できません。 車速検出コード（桃）の接続先及び接続状態を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ステアリングリモコンキーの学習ができませんでした。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
SD カードのフォーマットができませんでした。	SDカードが正しく入っているかを確認してください。他の SD カードを使用しても問題が解決されない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。
アプリケーションと通信できませんでした。スマートフォンを確認してください。	アプリケーションの起動を確認してください。 スマートフォンとの接続が正常か確認してください。

● ナビ

メッセージ	対処
ルートを探索できませんでした。	• ルート案内できない地点を「目的地」「経由地」にしています。 • 探索条件を「一般」以外にしてください。

● VICS

メッセージ	対処
電波が弱いか周波数が違うため、 VICS 情報を受信できません。	受信周波数を切り替えてください。または VICS 放送が受信できるところに移動し、受信するまでしばらくお待ちください。

● ETC

メッセージ	対処
ETC に異常が発生しました。 販売会社にお問い合わせください。(04)	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ETC 車載器との接続を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ETC カードが挿入されていません。 ETC カードが挿入されていません。(01)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
ETC カードが読めません。 ETC カードが読めません。(02)、(03)、(05)	• 差し込まれたカードが ETC カードかどうか確認してください。 • カードが正しい向きで差し込まれているか確認してください。 • カードの金属端子面をきれいに拭いてから差し込んでください。 問題が解決しない場合は、お買い上げの販売会社にご相談ください。
ETC がセットアップされていません。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ETC をご利用できません。 ETC をご利用できません。(06)、(07)	ETC カードを差し込みなおしてください。または料金所の係員の指示に従ってください。
中断しました。	故障ではありませんのでもう一度操作してください。

● ETC2.0

メッセージ	対処
ETC2.0 接続エラー	お買い上げの販売会社にご相談ください。

● カメラ

メッセージ	対処
走行中は調整できません。	バックアイカメラのガイド線調整は、安全なところに停車した状態で行ってください。

● **ドライブレコーダー(一体型ナビ連動タイプ / 前後方録画別体型ナビ連動タイプのみ)**

ナビ接続タイプドライブレコーダーについては、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

メッセージ	対処
ドライブレコーダーの SD カードにエラーが発生しました。ドライブレコーダーの SD カードを確認してください。	本機対応の microSD カードが挿入されているか確認してください。対応の microSD カードを挿入しても問題が解消されないときはお買い上げの販売会社にご相談ください。
ドライブレコーダーに SD カードが挿入されていません。SD カードを挿入してください。	ドライブレコーダー本体に microSD カードが正しく挿入されていない、または未挿入です。microSD カードが正しく挿入されているか確認してください。
ドライブレコーダーとの接続を確認してください。	お買い上げの販売会社にご相談ください。
ドライブレコーダーに異常があります。接続を確認してください。 問題が解消されない場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	
ドライブレコーダーが高温になったため録画を中止しました。温度が下がるまでしばらくお待ちください。	ドライブレコーダーの内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
SD カードの空き容量が不足しているため手動録画できません。 ドライブレコーダーの SD カードの内容を確認し不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	microSD カードの空き容量が不足している、または手動録画の録画ファイル数が上限に達しています。不要なファイルを削除してください。(➜ P.147)

メッセージ	対処
ドライブレコーダーの SD カードのパフォーマンスが低下しています。SD カードの大切な映像 / 画像をパソコンに移動してから初期化することを推奨します。	microSD カードのデータをパソコンに移動してから microSD カードを初期化してください。 大切なファイルはパソコンに移動してください。
ドライブレコーダーの SD カードの交換時期です。新しい SD カードへの交換を推奨します。	microSD カードには寿命があります。新しい microSD カードに交換してください。
SD カードの容量が不足しているため静止画を撮影できません。 大切な画像をパソコンに移動したり不要な画像を削除してください。	microSD カードの空き容量が不足しています。大切なファイルをパソコンに移動したり不要なファイルを削除してください。
静止画の最大ファイル数を越えたため静止画を撮影できません。 大切な画像をパソコンに移動したり不要な画像を削除してください。	
手動録画の最大ファイル数を越えたため手動録画できません。 大切な映像をパソコンに移動したり不要な映像を削除してください。	
ドライブレコーダーの SD カードの空き容量が少なくなっています。 ドライブレコーダーの SD カードの内容を確認し不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	
ドライブレコーダーの SD カードの空き容量が不足しているため、移動できません。 不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	
保存フォルダに同じファイル名のファイルがあるため移動できません。 保存フォルダのファイルを、パソコンに移動するか削除してください。	保存フォルダに同じファイル名があるため移動できません。大切なファイルをパソコンに移動したり不要なファイルを削除してください。
保存フォルダのファイル数が上限に達したため移動できません。 不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	保存フォルダのファイル数が上限に達したため移動できません。 大切なファイルをパソコンに移動したり不要なファイルを削除してください。
ドライブレコーダーの SD カードの初期化に失敗しました。 エンジンを再始動してからもう一度 SD カードを初期化するか、指定の SD カードに交換してください。	ドライブレコーダーの microSD カードの初期化に失敗しました。 エンジンを再始動してからもう一度 microSD カードを初期化するか、指定の microSD カードに交換してください。
調整できませんでした。平らな場所に停車し ACC のみ ON にしてやり直してください。	エンジンを再始動しても改善されないときは、お買い上げの販売会社にご相談ください。
録画を停止できませんでした。	
静止画を撮影できませんでした。	
手動録画を開始できませんでした。	
ドライブレコーダーのファイル数の取得に失敗しました。	
ドライブレコーダーのファイルリスト取得に失敗しました。	

メッセージ	対処
ドライブレコーダーのファイル削除に失敗しました。	エンジンを再始動しても改善されないときは、お買い上げの販売会社にご相談ください。
ドライブレコーダーのファイルアクセスエラーが発生しました。	

● AV（共通）

メッセージ	対処
再生可能なファイルがありません。	再生対応しているオーディオ / ビデオファイルかどうかを確認してください。（➜ P.175）
走行中は音声のみお楽しみください。	走行中は映像を見ることができません。
音声が再生できません。	音声が再生できない動画ファイルです。
ファイルが再生できません。	再生できないファイルです。再生可能な次のファイルへスキップします。
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。

● AV(DISC)

メッセージ	対処
ディスクが読めません。	読み込み不可のディスクを再生しようとしています。再生可能なディスクを挿入してください。
再生できないリージョンコードのディスクです。	ディスクのリージョンコードを確認してください。リージョンコード「2」（または 2 を含むもの）と「ALL」のディスクが再生できます。
ディスクがローディングできません。 / ディスクがイジェクトできません。	強制イジェクトを実行してください。（➜ P.86） または、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
録音可能なアルバム数の上限を 超えています。	録音できるアルバムは最大 999 枚までです。 不要なアルバムを削除してから録音してください。（➜ P.81）
録音を続行できないため、録音を中断しました。	再度録音しなおしてください。
空き容量不足のため、これ以上録音できません。	• 不要な楽曲を削除してから録音してください。（➜ P.81） 空き容量や残り録音可能時間は、録音設定画面で確認できます。（➜ P.76） • SD カードに録音する場合は、不要なファイルを削除するか、空き容量の大きい SD カードを使用してください。

● SMART USEN

メッセージ	対処
スマートフォンアプリケーションからエラーが通知されました。 スマートフォンを確認してください。	本機との接続を解除し、スマートフォン単体で「SMART USEN」アプリケーションがご利用できることを確認してください。
スマートフォンアプリケーションと通信できませんでした。	• 「SMART USEN」アプリケーションの起動を確認してください。 • スマートフォンとの接続が正常かを確認してください。 • Bluetooth 接続でご利用の場合は、［デバイス切替］から、ご利用の機器に [オーディオ / アプリケーション連携] を設定してください。
連続再生が 3 時間を超えたため停止しました。	過度のバッテリー消耗、通信容量増加を防止するため、3 時間以上の連続再生を制限しています。（アプリケーションの仕様） 再生ボタンをタッチするか、チャンネル選択をすることで引き続き再生できます。

● KENWOOD Music Info.

メッセージ	対処
アルバム情報はありません。	アルバム情報が登録されていない楽曲については、楽曲タイトル情報を取得できません。
サーバーに接続できません。	スマートフォンがインターネット接続できるところに移動し、再度操作してください。

主な仕様

● ナビゲーション部

測位衛星システム受信衛星	GPS、QZSS(準天頂衛星)、SBAS
測位衛星システム受信周波数帯	L1
内蔵センサー	3D センサー (ジャイロ 1 軸＋加速度 3 軸)
VICS	FM 多重（内蔵）、VICS-WIDE 対応 /ITS スポット対応（別売）

● モニター部

画面サイズ	SKX-S805 8V 型ワイド VGA KXM-E505W/KXM-E505W2 7V 型ワイド VGA
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1,152,000個800H×RGB×480V
画素配列	RGBストライプ配列
タッチパネル	抵抗膜式タッチパネル
使用光源(照明方式)	LEDバックライト方式

● オーディオ部

最大出力	50W×4
スピーカーインピーダンス	4 ～ 8 Ω
バックアイカメラ専用映像入力	端子 : 専用 8Pin コネクタ× 1 (RCA に変換) 映像入力レベル : 1Vp-p/75 Ω
ドライブレコーダー映像入力	端子 : 専用 10Pin コネクタ× 1 映像入力レベル : 1Vp-p/75 Ω
ビデオ出力	端子 : RCA × 1 映像出力レベル : 1Vp-p/75 Ω

● 地上デジタルチューナー部

受信方式	地上デジタルテレビ放送方式（日本）（ワンセグ対応）
受信チャンネル	UHF13 ～ 52ch

● チューナー部

FM受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0MHz～99.0MHz (0.1MHz)
AM受信周波数範囲（周波数ステップ）	522kHz～1629kHz (9kHz)

● USB I/F 部

対応 USB	USB1.1/2.0（High Speed）
ファイルシステム	FAT16/FAT32/NTFS/exFAT
最大供給電流	DC5V ⎓ 1A

● SD カード部

対応 SD	SD/SDHC/SDXC
ファイルシステム	FAT16/FAT32/exFAT

● DVD/CD 部

信号方式	NTSC
対応ディスク	DVD-Video, DVD ± R/ ± RW/ ± R DL, CD-DA, CD-R/-RW, SACD（CD LAYER ONLY）
リージョン番号	2
サンプリング周波数	44.1kHz/ 48kHz/96kHz
量子化ビット数	16/20/24bit（直線）

● 対応メディア

DVD-Video		DVD-R,DVD-RWはVRモードも対応
CD-DA		8cmCD 非対応
CD/DVD	音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
USB/ SD	音声	MP3, WMA, AAC, WAV, FLAC, Vorbis
	映像	MPEG-4 Video, H.264/MPEG-4 AVC, WMV

● 電源 / 寸法 / 重量

電源電圧	14.4V (10.5V ～ 16V)
最大消費電流	15A
使用温度範囲	-10 ～+ 60℃
本体	外形寸法 (幅×高さ×奥行) : SKX-S805 197mm × 125mm × 183mm KXM-E505W/KXM-E505W2 206mm × 104mm × 176mm
	埋込寸法 (幅×高さ×奥行) : 178mm × 100mm × 159mm
	質量（重さ）: SKX-S805 : 2460g KXM-E505W/ KXM-E505W2 : 2370g
GPS アンテナ	外形寸法 : 36mm × 12.8mm × 33mm
	ケーブル長 : 3.5m
	質量（重さ）: 85g

● TVアンテナ（SKX-S805/KXM-E505Wのみ）

アンテナ形状	フィルム型
ケーブル長（アンテナケーブル）	4.0m
アンテナ部（エレメント外形寸法）	117.5mm×86mm
重量（重さ）（ケーブル含む）	約40g（一本あたり）

● Bluetooth部

対応プロファイル	HFP, PBAP, A2DP, AVRCP, SPP
対応コーデック	SBC/AAC
SCMS-T	対応

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

特許権 / 著作権 / 商標など

Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc.の登録商標で、株式会社 JVCケンウッドはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

「タウンページ」は、NTT 東日本および NTT 西日本の登録商標です。

Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Manufactured under license from Dolby Laboratories.
Dolby, Dolby Audio and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

DVD is a trademark of DVD format/Logo Licensing Corporation registered in the U. S. Japan and other countries.

Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.

Apple, iPhone, iPod, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K..

IOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。

This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.

This software is based in part on the work of the independent JPEG Group.
本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Group のソフトウェアを一部利用しております。

SDXC ロゴは SD-3C LLC の商標です。

MapFan はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

VICS および VICS WIDE は、一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

「NaviCon」は株式会社デンソーの登録商標です。

「マップクリップ」はインクリメント・ピー株式会社の登録商標です。

Android™ および Android ロゴ ™、Google Play™ は Google LLC の商標または登録商標です。

本製品には、株式会社ユビキタスが開発した高速起動ソリューション「Ubiquitous QuickBoot™」を搭載しております。
「Ubiquitous QuickBoot™」は、株式会社ユビキタスの商標です。
Copyright© 2018 Ubiquitous Corp. All rights reserved.

Ubiquitous

本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。

FontAvenue

本ソフトウェアは、株式会社日立製作所の音声合成技術を使用しています。「Ruby Talk」は株式会社日立ソリューションズ・テクノロジーの登録商標です。

Ruby Talk®
with
Hitachi Speech Synthesizer

「ETC」、「ETC2.0」は一般社団法人 ITS サービス高度化機構の登録商標です。

ITS スポットは国土交通省の登録商標です。

日本語変換は、オムロンソフトウェア (株) の compact Wnn を使用しています。
compact Wnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2017 All Rights Reserved.

Gracenote 及び Gracenote ロゴとロゴタイプは、米国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。

libFLAC
Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND ONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii)DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.
IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

索引

B

Bluetooth オーディオ機器の再生 136

D

DVD 再生..... 88

E

ECO 情報 107
ETC 車載器..... 155

G

GPS..... 124

I

iPod を再生する 68

K

K2テクノロジー..... 66
KENWOOD Drive Info.
（スマートフォンアプリ）..... 138
KENWOOD Music Info.
（スマートフォンアプリ）..... 138

N

NaviCon(スマートフォンアプリ)..... 138

P

PIN コード..... 130

U

USB 機器 /SD カードのファイル再生 70

V

VICS 情報 101

あ

アスペクト（画面表示サイズ）..... 67
案内音声の音量..... 108

い

一時停止案内 27, 55

え

エラーメッセージ..... 187

お

オートアンテナ..... 10, 120
オートペアリング..... 128
オートリルート..... 61
音楽 CD 再生 87

か

画質の調整 67
ガソリン価格情報..... 139
画面の操作 19

き

逆走注意喚起 56

け

経由地 58
経由地の削除 59
経由地の順番変更..... 58
現在位置の修正..... 111
現在地図画面 27
検索履歴の削除..... 44

こ

交差点案内図の表示..... 53
高速道分岐イラストの表示 53
高速道路でのルート案内 52
交通情報（TUNER）..... 97
コンパスボタン..... 27

さ

再生できるディスク..... 172
サウンド設定 114

し

自車マーク（地図）..... 28
システム設定 120
自宅に帰る 38
自宅の登録 37
シミュレーション..... 60
視野角 19
ジャンル検索 41
住所検索 44

す

ステアリングリモコン..... 120, 158
スピーカー構成..... 115
スマートフォン連携..... 138

そ

走行軌跡の表示 27, 108
操作音の出力 120
ソース切替画面 65
ソースレベル 119

ち

地図記号 164
地図更新サービスプログラム 126
地図の縮尺 28
チャンネルスキャン（地デジ） 93

て

ディスク挿入口 17
ディスクの出し入れ 86
ディスクメニュー 90
デモ走行 60
電源オン / オフ 18
電話帳 134
電話の着信 132
電話番号検索 45
電話をかける 132, 133, 134, 135

と

到着予想時刻 / 距離 51
登録機器の削除（Bluetooth） 130
登録地点の編集 63
時計 27

な

ナビ接続タイプドライブレコーダー 151
ナビ設定 108
ナビ連動タイプドライブレコーダー 142

に

日没ライト案内と警告 27, 56

の

ノースアップ 29

は

パーキング検出コード 124
バージョン情報 125
ハイウェイモード画面 52
パッセンジャースリープ 66
ハンズフリー通話 131

ふ

フェリーを利用した探索 110
フライビューマップ表示 108
フリーワード検索 140
フロントパネルの角度調整 18

ほ

方面看板 27, 109
ボタンの操作音 120

ま

マイルートアジャスター 112
マップクリップ 33

め

メッセージ 187

も

目的地 49
目的地の削除 59
目的地付近の地図表示 61
文字の入力 25

ゆ

ユーザーイコライザー 118

ら

ランドマーク情報の表示 28

り

リスニングポジション 116
リバース検出コード 124
履歴検索 39, 44

る

ルート案内の開始 49
ルート案内の終了 61
ルート全体 60
ルート探索方法の設定 49
ルートの再探索 57

れ

レーン情報 27

ろ

録音設定 76
録音データの再生 78
録音データの削除 81

保証とアフターサービス

保証について

● 保証書　この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売会社」等の記入をお確かめの上販売会社から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間　お買い上げの日より 3 年または、その期間内でも走行距離 60,000km までです。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについてはお買い上げの販売会社または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

＜問い合わせ先＞

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-977-846（ディーラーオプション専用窓口）
FAX 045-450-2308
住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付時間 月曜～金曜 9：30 ～ 18：00
（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

修理を依頼されるときは

「故障かなと思ったら」（➜ P.180）を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売会社または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売会社または JVCケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売会社または JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理　この製品は持込修理とさせていただきます。
製品を修理のために、お買い上げの販売会社または JVCケンウッドサービスセンターにお持ちになるときは、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。本機や一緒に持ち込まれるユニットなどがある場合は、ディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。

● 車両からの取り外し / 取り付けについて
修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売会社または JVCケンウッドサービスセンターにお持ちください。
なお、保証期間の内外に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）

技術料：　製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。
技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代：　修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。